

製シ各廳主任官吏若シハ仕拂命令官ヨリ還付ヲ受ケタル雜部金月計對照表(本文對照表ハ中央金庫直接ノ分ト中央金庫ニ屬スル支)及各地本金庫ヨリ送付セル雜部金月計對照表ヲ添付シ翌月十日迄ニ大藏省ヘ差出スヘシ其書式第三十九號ノ如シ

第七十八條 現金受拂差引表ハ現金種類別簿及各地本金庫內譯簿ニ據リ毎月調製シ翌月十日迄ニ大藏省ヘ差出スヘシ其書式第四十號ノ如シ

第七十九條 回送及振換受拂報告表ハ中央金庫現金種類別簿中央金庫回送金內譯簿中央金庫振換金受入內譯簿及各地本金庫內譯簿ニ據リ毎日調製シ翌日大藏省ヘ差出スヘシ其書式第四十一號ノ如シ

第八十條 收支金報告表ハ現金出納原簿中央金庫現金種類別簿及各地本金庫內譯簿ニ據リ毎日調製シ翌日大藏省ヘ差出スヘシ其書式第四十二號ノ如シ

第八十一條 現金出納原簿計算表ハ現金出納原簿ニ據リ毎日調製シ翌日大藏省ヘ差出スヘシ其書式第四十三號ノ如シ

第二款 本金庫

第八十二條 本金庫ニ於テハ第四十六條ノ諸帳簿ニ據リ左ノ計算報告表ヲ調製スヘシ

第一 税金領收日計表

第二 歲入金月計對照表

第三 歲入金每月計算表

第四 歲出金月計對照表

第五 歲出金每月計算表

第六 歲出仕拂未濟繰越金支出月計對照表

第七 歲出仕拂未濟繰越金支出毎月計算表

第八 雜部金月計對照表

第九 雜部金毎月計算表

第十 現金受拂差引表

第十一 回送及振換拂報告表

第十二 收支金報告表

第八十三條 税金領收日計表ハ歲入金各廳內譯簿ニ據リ毎日之ヲ調製シ收入官吏ヘ報告スヘシ其書式第三十一號ニ同シ

第八十四條 歲入金月計對照表ハ甲乙二葉トシ歲入金各廳內譯簿ニ據リ毎月之レヲ調製シ(其中ニ實際收入)翌月五日迄ニ收入官吏ヘ送付スヘシ其書式第三十二號ニ同シ

前項ノ乙號表ハ各當該官吏ノ證明ヲ受ケ還付ヲ請フヘシ

第八十五條 歳入金毎月計算表ハ現金出納原簿及歳入金各廳内譯簿ニ據リ毎月調製シ收入官吏ヨリ還付ヲ受ケタル乙號歳入金月計對照表ヲ(毎月出納内譯簿ニ對照ノ後)添へ翌月十五日迄ニ之ヲ中央金庫へ差出スヘシ其書式第四十四號ノ如シ

第八十六條 歳出金月計對照表ハ甲乙二葉トシ歳出金各廳内譯簿ニ據リ毎月之レヲ調製シ(帳簿登記ノ日付ニ拘ハラス案内仕拂命令受領額ハ該命令ニ記載スル月ノ區分ニ據リ之ヲ掲ケ仕拂高ハ實際該月中ニ本金庫ニ於テ支出セシモノヲ掲ク)現金交付濟ノ仕拂命令(集合仕拂命令ヲ除ク)及第十六條ノ受取人領收證書ヲ添へ翌月十五日迄ニ會計主務官へ送付スヘシ其書式第三十四號ニ同シ

前項ノ乙號表ハ當該官吏ノ證明ヲ受ケ仕拂濟ノ仕拂命令及受取人ノ領收證書ト共ニ還付ヲ請フヘシ

第八十七條 歳出金毎月計算表ハ現金出納原簿及歳出金各廳内譯簿ニ依リ毎月調製シ會計主務官ヨリ還付ヲ受ケタル乙號歳出金月計對照表ヲ(毎月出納内譯簿ニ對照ノ後)添へ翌月十五日迄ニ之ヲ中央金庫へ差出スヘシ其書式第四十五號ノ如シ

第八十八條 歳出仕拂未濟繰越金支出月計對照表ハ歳出仕拂未濟繰越金内譯簿ニ據リ毎月之レヲ調製シ(其中ニ實際支出セシモノヲ掲ク)現金交付濟ノ仕拂命令(集合仕拂命令ヲ除ク)及第十六條ノ受取人領收證書ヲ添へ翌月十五日迄ニ會計主務官へ送付スヘシ其書式第三十六號

ニ同シ

前項ノ月計對照表ハ當該官吏ノ證明ヲ受ケ仕拂濟ノ仕拂命令及受取人ノ領收證書ト共ニ還付ヲ請フヘシ

第八十九條 歳出仕拂未濟繰越金支出毎月計算表ハ現金出納原簿及歳出仕拂未濟繰越金内譯簿ニ據リ毎月調製シ會計主務官ヨリ還付ヲ受ケタル歳出仕拂未濟繰越金支出月計對照表ヲ(毎月出納内譯簿ニ對照ノ後)添へ翌月十五日迄ニ之ヲ中央金庫へ差出スヘシ其書式第四十六號ノ如シ

第九十條 雜部金月計對照表ハ雜部金内譯簿及雜部保管金案内引出切符差引簿ニ據リ毎月之レヲ調製シ(歳入及歳出月計對照表ノ挿註ニ同シ)現金交付濟ノ引出切符及第二十五條ノ返納告知書ヲ添へ翌月十五日迄ニ各廳主任ノ官吏及仕拂命令官へ送付スヘシ其書式第三十八號ニ同シ

前項ノ月計對照表ハ當該官吏ノ證明ヲ受ケ現金交付濟引出切符及返納告知書ト共ニ還付ヲ請フヘシ

第九十一條 雜部金毎月計算表ハ現金出納原簿及雜部金内譯簿ニ據リ毎月調製シ各廳主任官吏及仕拂命令官ヨリ還付ヲ受ケタル雜部金月計對照表ヲ(毎月出納内譯簿ニ對照ノ後)添へ翌月十五日迄ニ之ヲ中央金庫へ差出スヘシ其書式第四十七號ノ如シ

- 第九十二條 現金受拂差引表ハ現金種類別簿及回送金内譯簿ニ據リ毎月調製シ翌月十日迄ニ之レヲ中央金庫へ差出スヘシ其書式第四十八號ノ如シ
- 第九十三條 回送及振換拂報告表ハ現金出納原簿ニ據リ毎五十ノ日調製シ其翌日之レヲ中央金庫へ差出スヘシ其書式第四十九號ノ如シ
- 第九十四條 收支金報告表ハ現金出納原簿及收支金報告記入簿ニ據リ毎五十ノ日調製シ其翌日之レヲ中央金庫へ差出スヘシ其書式第五十號ノ如シ
- 第九十五條 本金庫ニ於テハ毎日現金出納原簿計算表ヲ調製シ備置クヘシ其書式第五十一號ノ如シ
- 第三款 支金庫
 - 第九十六條 支金庫ニ於テハ第五十九條ノ帳簿ニ據リ左ノ計算報告表ヲ調製スヘシ
 - 第一 税金領收日計表
 - 第二 歳入金月計對照表
 - 第三 歳出金月計對照表
 - 第四 歳出仕拂未済繰越金支出月計對照表
 - 第五 歳入金各廳内譯表
 - 第六 歳出金各廳内譯表

- 第七 歳出仕拂未済繰越金支出内譯表
- 第八 雜部金收支内譯表
- 第九 雜部金月計對照表
- 第九十七條 支金庫ニ於テ税金領收日計表歳入金月計對照表歳出金月計對照表歳出仕拂未済繰越金支出月計對照表及雜部金月計對照表ヲ調製スル手續等ハ第八十三條第八十四條第八十六條第八十八條及第九十條ニ同シ但本條ノ乙號月計對照表ノ還付ヲ受ケタルトキハ本金庫ニ屬スル支金庫ハ其本金庫へ中央金庫ニ屬スル支金庫ハ中央金庫へ直ニ送付スヘシ
- 第九十八條 支金庫ハ歳入金各廳内譯簿ニ據リ毎日歳入金各廳内譯表ヲ調製シ本金庫ニ屬スル支金庫ニ在テハ其本金庫へ中央金庫ニ屬スル支金庫ニ在テハ中央金庫へ送付スヘシ其書式第五十二號ノ如シ
- 第九十九條 支金庫ハ歳出金各廳内譯簿ニ據リ毎日歳出金各廳内譯表ヲ調製シ(案内命令ハ實際翌月ニ至リ金庫へ受領スルモ其命令ヲ發シタルハ前月ノ日付ナルトキハ之)本金庫ニ屬スル支金庫ニ在テハ其本金庫へ中央金庫ニ屬スル支金庫ニ在テハ中央金庫へ送付スヘシ其書式第五十三號ノ如シ
- 第一百條 支金庫ハ歳出仕拂未済繰越金内譯簿ニ據リ毎日歳出仕拂未済繰越金支出

内譯表ヲ調製シ本金庫ニ屬スル支金庫ニ在テハ其本金庫ニ中央金庫ニ屬スル支金庫ニ在テハ中央金庫ニ送付スヘシ其書式第五十四號ノ如シ

第一百條 支金庫ハ雜部金内譯簿ニ據リ毎日雜部金收支内譯表ヲ調製シ本金庫ニ屬スル支金庫ニ在テハ其本金庫ニ中央金庫ニ屬スル支金庫ニ在テハ中央金庫ニ送付スヘシ其書式第五十五號ノ如シ

第八章 決算整理

第一款 中央金庫

第二百二條 中央金庫ハ出納ノ計算ヲ證明スル爲メ左ノ計算書ヲ調製スヘシ

第一 毎年度出納計算書

第二 各地金庫毎日出納内譯表

第三 各地金庫毎月末現金殘高内譯書

第二百三條 毎年度出納計算書中受拂ノ部ハ現金出納原簿、各金庫歳入各廳内譯簿、各金庫歳出各廳内譯簿、各金庫歳出仕拂未済繰越金内譯簿、各金庫雜部金内譯簿、中央金庫回送金内譯簿、中央金庫振換金受入内譯簿ニ據リ調製シ毎月送付スル所ノ各金庫毎日出納内譯書ノ合計額ト對照シ又各地金庫毎年度末差引殘現在金内譯ノ部ハ(毎年度三月三十一日)中央金庫現金種類別簿中央金庫ニ屬スル支金庫ヨリ送付ス

ル現金殘高表及ヒ各地本金庫内譯簿並ニ各地本金庫ヨリ送付スル其本支金庫現金殘高内譯表ニ據リ調製シ之ヲ現金出納原簿ニ對照シ各證憑書類ヲ添ヘ會計検査院ニ提出ノ爲メ翌年度七月卅一日迄ニ大藏省ニ發送スヘシ其書式第五十六號ノ如シ
前項出納計算書ニハ各金庫検査員ノ檢定書ヲ取纏メ添付スヘシ
金庫出納役毎年度ノ出納計算書ニハ各金庫ニ於テ其年ノ四月一日ヨリ翌年三月三十一日迄ニ實際出納セシ金額ヲ掲シヘシ(皆ハ中央金庫ニ於テ現金出納原簿ニ登記セシハ翌三十一日以前ニ出納セシモノハ即チ其出納セシ年度ノ計算ニ組ミ入ルヘシ)
第四百條 各地金庫毎日出納内譯書ハ中央金庫及各本金庫毎ニ區分調製スヘシ
中央金庫毎日出納内譯書ハ中央金庫及之ニ屬スル支金庫ニ於テ一箇月中ニ出納セシ者ヲ現金出納原簿、各金庫歳入各廳内譯簿(帳簿登記ノ日附ニ拘ラス實際該月中ニ中央金庫各金庫歳出各廳内譯簿(帳簿登記ノ日附ニ拘ラス實際該月中ニ中央金庫及之ニ屬スル支金庫ニ於テ收入セシモノヲ掲クセシモノ)各金庫歳出仕拂未済繰越金内譯簿各金庫雜部金内譯簿(歳入及歳出各廳内)中ニ掲ク)中央金庫現金種類別簿中央金庫回送金内譯簿中央金庫振換金受入内譯簿ニ據リ之ヲ調製シ各廳證明濟ノ月計對照表ト對照シ會計検査院ニ提出ノ爲メ翌月十五日迄ニ大藏省ニ發送スヘシ其書式第五十七號ノ如シ
各本金庫毎日出納内譯書ハ各本金庫ヨリ中央金庫ニ送付セル各本金庫毎日出納内

譯書ヲ中央金庫ノ各帳簿ニ對照シ金庫出納役之ニ署名捺印シ直ニ會計検査院へ提出ノ爲メ大藏省へ發送スヘシ

第二百五條 各金庫毎月末現金殘高内譯表ハ第三百三條出納計算書中各地金庫毎年度末差引殘現在金内譯ノ部調製方ニ准シ毎月之ヲ調製シ現金出納原簿並ニ中央金庫ニ屬スル支金庫及各本金庫ヨリ送付セシ毎月末現金殘高内譯表ニ對照シ共ニ中央金庫へ備へ置クヘシ

第二款 本金庫

第一百六條 各本金庫ハ出納計算證明ノ用ニ供スル爲メ左ノ計算書ヲ調製スヘシ

第一 本金庫毎月出納内譯書

第二 本金庫毎月末現金殘高内譯表

第一百七條 本金庫毎月出納内譯書ハ各本金庫及之ニ屬スル支金庫ニ於テ一箇月中ニ出納セシモノヲ現金出納原簿、歳入金各廳内譯簿、(帳簿登記ノ日ニ拘ラス實際該月中ニテ掲)歳出金各廳内譯簿、(帳簿登記ノ日附ニ拘ラス案内仕拂命令受領額ハ該命令ニ記載スル月ノ区分ノ出セシモノ)歳出仕拂未済繰越金内譯簿、雜部金内譯簿、(歳入及歳出各廳内)同送金内譯簿ニ據リ之ヲ調製シ支金庫ヨリ送付セル支金庫毎月出納内譯書及各廳證明済月計對照表ニ對照シ翌月十五日迄ニ中央金庫へ送付スヘシ其書式第五十七號ニ同シ

毎年三月ノ出納内譯書ニハ各本金庫及之ニ屬スル支金庫検査員ノ檢定書ヲ取纏メ添付スヘシ

第一百八條 本金庫毎月末現金殘高内譯表ハ現金種類別簿及支金庫ヨリ送付スル現金殘高表ニ據リ調製シ之ヲ現金出納原簿ト對照シ本金庫毎月出納内譯書ニ添付シテ中央金庫へ送付スヘシ其書式第三百三條出納計算書中各地金庫毎年度末差引殘現在金内譯ノ部調製方ニ準ス

第一百九條 支金庫ヨリ送付スル支金庫毎月出納内譯書支金庫毎月末現金殘高表ハ各帳簿ト對照シ各本金庫ニ備へ置クヘシ

第三款 支金庫

第一百十條 各支金庫ハ出納計算證明ノ用ニ供スル爲メ左ノ計算書ヲ調製スヘシ

第一 支金庫毎月出納内譯書

第二 支金庫毎月末現金殘高表

第一百十一條 支金庫毎月出納内譯書ハ現金受拂簿歳入金各廳内譯簿(實際其月中ニ收入)歳出金各廳内譯簿(案内仕拂命令受領額ハ帳簿登記ノ日附ニ拘ラス該命令ニ記載スル)歳出金仕拂未済繰越金内譯簿(歳入及歳出各廳内)ニ據リ之ヲ調製シ翌月十日迄ニ本金庫ニ屬スル支金庫ニ在テハ其本金庫へ中央金庫ニ屬スル支金庫ニ在テハ中央

金庫へ送付スヘシ其書式第五十七號ニ準ス
 毎年三月ノ出納内譯書ニハ金庫検査員ノ檢定書ヲ添付スヘシ
 第一百十二條 支金庫毎月末現金殘高表ハ現金受拂簿ニ據リ之ヲ調製シ現金ト對照シ
 翌月十日迄ニ本金庫ニ屬スル支金庫ニ在テハ其本金庫へ中央金庫ニ屬スル支金庫
 ニ在テハ中央金庫へ送付スヘシ其書式第三百三條出納計算書中各地金庫毎年度末差
 引殘現在金内譯ノ部調製方ニ準ス (別紙書式略ス)

●各地金庫ニテ拂戻シタル保管金及即時拂戻シタル預
 金ノ元利金差出書式并ニ添附書類

明治二十三年五月
 大藏省訓令第八十九號
 金庫出納役

各地金庫ニ於テ保管金受渡事務順序ニ據リ拂戻シタル保管金及預金受渡事務順序ニ
 據リ即時拂戻シタル預金ノ元利金ハ毎月左ノ書式ノ對照表ヲ調製シ翌月三日迄ニ其
 取扱官廳へ差出シ證明ヲ受ケ置キ左ノ書類ハ月計對照表ニ添へ中央金庫ヲ經テ預金
 局長へ差出スヘシ但預金受渡事務順序第八條第二十條及第二十二條ノ拂戻報知書ハ
 預金局へ送致スルニ及ハス

●金庫出納事務規程書式中心得

明治廿三年七月
 大藏省訓令第九號
 金庫出納役

明治二十二年^{十二}月^{十二} 大藏省訓令第七十二號金庫出納事務規程附屬書式中租稅ト租稅外
 歳入トナ區別スヘシトアルハ内國稅ニ限ル儀ト心得ヘシ

●金庫検査規程

明治廿二年十二月
 大藏省令第十七號

金庫検査規程左ノ通り相定ム

金庫検査規程

第一條 金庫ノ検査ハ定時及臨時ニ之レヲ施行ス
 第二條 定時検査ハ毎年三月三十一日(當日ノ出納ヲ終了キ)臨時検査ハ金庫出納役及其
 代理人交替スルトキ若クハ大藏大臣必要ト認ムルトキニ於テ之ヲ施行スヘシ
 第三條 検査官吏中央金庫若クハ本金庫へ臨檢ノ節ハ出納役若クハ其代理人ヨリ其
 金庫現金出納原簿ノ計算表及現金殘高書ヲ徴シ之ヲ該原簿ノ各科目及各補助簿ノ
 員額ニ對照シ又現金科目ノ員額ト現金種類別簿ト其金櫃ニ保管スル所ノ現在金ト
 對查スヘシ
 支金庫へ臨檢ノ節ハ其出納役代理人ヨリ各帳簿ノ出納金額及現金殘高書ヲ徴シ之

ナ各帳簿ニ對照シ殘高書ノ金額ト現金受拂簿ノ殘金額ト金櫃ニ保管スル所ノ現在金ト對查スヘシ

検査官吏前各項ノ對查ヲ了シタルトキハ檢定書ニ通テ製シ金庫出納役若クハ其代理人ヲシテ之レニ署名捺印セシメ其一通(即甲)ハ金庫出納役若クハ其代理人へ交付スヘシ

第四條 検査官吏ハ金庫ノ検査ヲ了シタルトキハ検査報告書ヲ作り之レニ第三條第一項ノ現金出納原簿ノ計算表及現金殘高書同條第二項ノ支金庫各帳簿ノ出納金額及現金殘高書同條第三項ノ檢定書(即乙)ヲ添付シ定時検査ニ係ルモノハ其年四月三日迄ニ臨時検査ニ係ルモノハ直ニ其地ヲ發シ大藏大臣ニ送付スヘシ

第五條 検査官吏金庫へ臨檢ノトキハ大藏大臣ノ命令書ヲ携帶シ之ヲ金庫出納役若クハ其代理人ニ示スヘシ(書式略之)

●中央金庫及本金庫ニ屬スル支金庫設置場所

明治廿二年十二月
大藏省令第十八號

明治二十二年十月十二勅令第百二十六號金庫規則第三條ニ據リ明治二十三年四月一日ヨリ左ノ場所ニ支金庫ヲ設置ス

<p>明治二十二年十月十二勅令第百二十六號金庫規則第三條ニ據リ明治二十三年四月一日ヨリ左ノ場所ニ支金庫ヲ設置ス</p>												
<p>中央金庫及本金庫ニ屬スル支金庫</p>												
<p>支金庫設置場所</p>												
<p>中央金庫</p>			<p>及中央金庫</p>			<p>國名</p>			<p>郡市名</p>			
<p>山城</p>			<p>武藏</p>			<p>京都</p>			<p>攝津</p>			
綴喜郡	宇治郡	久世郡	乙訓郡	紀伊郡	葛野郡	愛宕郡	南葛飾郡	南足立郡	北豐島郡	南豐島郡	荏原郡	相樂郡
田邊	醍醐	淀	向日	伏見	太秦	田中	小松川	千住	板橋	澁橋	品川	木津
<p>丹波</p>			<p>丹後</p>			<p>船井郡</p>			<p>船井郡</p>			
島下郡	西成郡	東成郡	與謝郡	熊野郡	竹野郡	中郡	加佐郡	何鹿郡	天田郡	北桑田郡	南桑田郡	船井郡
茨木	曾根崎	天王寺	宮津	久美濱	網野	峰山	舞鶴	綾部	福知山	周山	龜岡	園部

明治二十二年(一)
 第十二號(當省令)
 第十支庫大阪本
 金庫支庫地名
 中會根崎ヲ上福
 島下改△

第六類 會計

大阪本金庫										橫濱本金庫																					
		武藏				和泉			河内							相模															
三浦郡	鎌倉郡	北多摩郡	西多摩郡	南多摩郡	都筑郡	橋樹郡	久良岐郡	南郡	大島郡	堺市	若江郡	石川郡	茨田郡	豐島郡	加古郡	明石郡	三原郡	津名郡	氷上郡	多紀郡	川邊郡	武庫郡	有馬郡	洵綾郡	高座郡	愛甲郡	足柄下郡	足柄上郡	津久井郡		
橫須賀	戸塚	府中	青梅	八王子	都田	神奈川	日下	岸和田	鳳	堺	八尾	富田林	枚方	池田	加古川	明石	市村	洲本	柏原	篠山	伊丹	西宮	三田	大磯	藤澤	厚木	小田原	松田	中野		
長崎本金庫																															
		肥前				豊後		對馬																							
南蒲原郡	東蒲原郡	西蒲原郡	中蒲原郡	北蒲原郡	岩船郡	下縣郡	石田郡	南高來郡	北高來郡	東彼杵郡	北松浦郡	南松浦郡	朝來郡	城崎郡	南蒲原郡	東蒲原郡	西蒲原郡	中蒲原郡	北蒲原郡	岩船郡	下縣郡	石田郡	南高來郡	北高來郡	東彼杵郡	北松浦郡	南松浦郡	朝來郡	城崎郡		
三條	津川	卷村	新津	新發田	村上	殿原	武生水	島原	諫早	大村	平戶	福江	枚田	豐岡	三條	津川	卷村	新津	新發田	村上	殿原	武生水	島原	諫早	大村	平戶	福江	枚田	豐岡		

第六類 會計

神戸本金庫															
但馬		播磨													
七美郡	出石郡	揖西郡	美栗郡	加西郡	印南郡	揖東郡	赤穂郡	佐用郡	神東郡	飾西郡	姫路市	多可郡	加東郡	美憂郡	
一二分	出石	龍野	山崎	北條	曾根	斑鳩	赤穂	佐用	田原	高岡	姫路	中村	社村	三木	
長崎本金庫															
		肥前				豊後		對馬							
南蒲原郡	東蒲原郡	西蒲原郡	中蒲原郡	北蒲原郡	岩船郡	下縣郡	石田郡	南高來郡	北高來郡	東彼杵郡	北松浦郡	南松浦郡	朝來郡	城崎郡	
三條	津川	卷村	新津	新發田	村上	殿原	武生水	島原	諫早	大村	平戶	福江	枚田	豐岡	

水月本金庫												千葉本金庫											
常陸						安房			下總			上總											
行方郡	新治郡	西茨城郡	那珂郡	鹿島郡	多賀郡	久慈郡	安房郡	海上郡	香取郡	東葛飾郡	印旛郡	望陀郡	山邊郡	長柄郡									
麻生	土浦	笠間	菅谷	鉾田	高萩	太田	北條	銚子	佐原	松戸	佐倉	木更津	東金	茂原									
奈良本金庫			宇都宮本金庫																				
大和			下野						下總														
葛上郡	式上郡	安蘇郡	足利郡	下都賀郡	上都賀郡	芳賀郡	那須郡	鹽谷郡	猿島郡	豐田郡	北相馬郡	眞壁郡	信太郡	筑波郡									
御所	三輪	佐野	足利	栃木	鹿沼	眞岡	太田原	矢板	境	宗道	取手	下館	江戸崎	谷田部									

浦和本金庫												新潟本金庫											
武藏						佐渡			越後														
兒玉郡	大里郡	入間郡	南埼玉郡	北埼玉郡	雜太郡	刈羽郡	中頸城郡	西頸城郡	東頸城郡	中魚沼郡	北魚沼郡	南魚沼郡	三島郡	古志郡									
本莊	熊谷	川越	岩槻	忍	相川	柏崎	高田	糸魚川	安塚	十日町	小千谷	六日町	興板	長岡									
前橋本金庫																							
上野																							
夷隅郡	南甘樂郡	北甘樂郡	綠野郡	碓氷郡	新田郡	邑樂郡	山田郡	佐位郡	西群馬郡	吾妻郡	利根郡	北葛飾郡	比企郡	秩父郡									
大多喜	神川	富岡	藤岡	安中	太田	館林	桐生	伊勢崎	高崎	中ノ條	沼田	杉戸	松山	大宮									

靜岡本金庫														
伊豆		遠江				駿河								
賀茂郡	君澤郡	引佐郡	磐田郡	周知郡	佐野郡	敷地郡	榛原郡	庵原郡	志田郡	富士郡	駿東郡	碧海郡	北設樂郡	南設樂郡
下田	三島	氣賀	見附	森町	掛川	濱松	川崎	興津	藤枝	吉原	沼津	知立	田口	新城
大津本金庫						甲府本金庫								
近江						甲斐								
飯田郡	犬上郡	甲賀郡	愛知郡	蒲生郡	高島郡	栗太郡	東山梨郡	西八代郡	東八代郡	北都留郡	南都留郡	中巨摩郡	北巨摩郡	南巨摩郡
長瀨	彦根	水口	愛知川	八幡	今津	草津	日下部	市川大門	石和	大原	谷村	龍王	河原部	鯉澤

渾本金庫														
紀伊		伊賀		伊勢										
南牟婁郡	北牟婁郡	名張郡	阿拜郡	多氣郡	度會郡	飯高郡	奄藝郡	一志郡	員辨郡	桑名郡	鈴鹿郡	三重郡	安濃郡	宇智郡
木本	尾鷲	名張	上野	相可	山田	松阪	白子	久居	大泉原	桑名	龜山	四日市	新町	五條
名古屋本金庫														
三河						尾張						志摩		
寶飯郡	幡豆郡	西加茂郡	東加茂郡	額田郡	八名郡	渥美郡	知多郡	海東郡	丹羽郡	中島郡	西春日井郡	東春日井郡	愛知郡	答志郡
御油	西尾	譽母	足助	岡崎	宮岡	豐橋	半田	津島	小折	稻澤	西枇杷島	勝川	熱田	烏羽

福島本金庫														
磐城						岩代								
田村郡	石川郡	東白川郡	西白河郡	宇多郡	岩瀬郡	安積郡	耶麻郡	河沼郡	大沼郡	南會津郡	北會津郡	伊達郡	安達郡	埴科郡
三春	石川	棚倉	白河	中村	須賀川	郡山	喜多方	阪下	高田	田島	若松	桑折	二本松	屋代
仙臺本金庫														
磐城		陸前												
稗貫郡	伊具郡	柴田郡	本吉郡	桃生郡	登米郡	遠田郡	牡鹿郡	栗原郡	黒川郡	志田郡	名取郡	宮城郡	磐前郡	楡葉郡
里川口	角田	大河原	本吉	飯ノ川	佐沼	涌谷	石巻	築館	吉岡	古川	茂夕崎	原ノ町	平	富岡

岐阜本金庫														
美濃														
惠那郡	土岐郡	加茂郡	可兒郡	郡上郡	大野郡	不破郡	多藝郡	下石津郡	本巢郡	山縣郡	羽栗郡	武儀郡	安八郡	伊香郡
中津川	土岐津	太田	御嵩	八幡	揖斐	垂井	高田	高須	北方	高宮	笠松	上有知	大垣	木之本
長野本金庫														
信濃														飛驒
南佐久郡	北佐久郡	小縣郡	北安曇郡	南安曇郡	諏訪郡	下伊那郡	上伊那郡	西筑摩郡	東筑摩郡	下高井郡	上高井郡	更級郡	下水内郡	大野郡
白田	岩村田	上田	大町	豊科	上諏訪	飯田	伊那	福島	松本	中野	須坂	鹽崎	飯山	高山

金澤本金庫												福井本金庫											
加賀				若狹				越前				陸中											
江沼郡	能美郡	河北郡	石川郡	三方郡	大飯郡	遠敷郡	敦賀郡	坂井郡	丹生郡	大野郡	南條郡	鹿角郡	由利郡	雄勝郡	湯澤								
大聖寺	小松	津幡	松任	八村	高濱	小濱	敦賀	三國	朝日	大野	武生	花輪	木庄										
松江本金庫						富山本金庫																	
石見				出雲				越中				能登											
美濃郡	那賀郡	色智郡	澁原郡	神門郡	大原郡	飯名郡	能義郡	磯波郡	高岡市	下新川郡	鳳至郡	珠洲郡	羽咋郡	鹿島郡	七尾								
益田	濱田	川本	大森	今市	大東	掛合	廣瀬	出町	高岡	魚津	輪島	飯田	羽咋										

青森本金庫												盛岡本金庫											
陸奥						陸奥		陸前		陸中													
南村山郡	三戸郡	下北郡	上北郡	弘前郡	北津輕郡	南津輕郡	西津輕郡	二戸郡	氣仙郡	西閉伊郡	東閉伊郡	膽澤郡	西磐井郡	南九戸郡	久慈								
上山	八戸	田名郡	七戸	弘前	五所河原	黒石	鯨ヶ澤	福岡	盛野	遠野	宮古	水澤	一ノ関										
秋田本金庫						山形本金庫																	
羽後				羽後		羽前																	
平鹿郡	仙北郡	山本郡	北秋田郡	南秋田郡	飽海郡	東田川郡	西田川郡	最上郡	西置賜郡	東置賜郡	米澤市	西村山郡	東村山郡	西村山郡	西村山郡								
横手	大曲	能代	瀬川	土崎	酒田	藤島	鶴岡	新庄	長井	高田	米澤	寒河江	大童	柳井	岡								

鳥取本金庫														
備前					伯耆			因幡		隱岐				
磐梨郡	和氣郡	兒島郡	上道郡	邑久郡	赤坂郡	津高郡	日野郡	久米郡	會見郡	高草郡	八上郡	海士郡	周吉郡	鹿足郡
小野田	片上	味野	富山	今城	輕部	金川	二部	倉吉	米子	吉岡	加茂	福井	西郷	津和野
岡山本金庫														
備中														
勝北郡	東北條郡	西四條郡	西北條郡	哲多郡	阿賀郡	川上郡	上房郡	後月郡	小田郡	淺口郡	下道郡	賀陽郡	窪屋郡	都字郡
廣庭	神野	大野	津山	上市	新見	東成羽	高梁	西江原	笠岡	玉島	岡田	高松	倉敷	撫川

廣島本金庫														
安藝					美作									
蘆田郡	御調郡	豐田郡	高田郡	安藝郡	高宮郡	賀茂郡	佐伯郡	真島郡	大庭郡	英田郡	吉野郡	久米北條郡	久米南條郡	勝南郡
府中市	尾ノ道	忠海	吉田	和庄	可部	四日市	廿日市	勝山	久世	大原	大原	倭文東	弓削	勝田
山口本金庫														
長門					周防									
名草郡	厚狹郡	美濃郡	豐浦郡	赤間關市	阿武郡	大津郡	大島郡	玖利郡	熊毛郡	都濃郡	佐波郡	三上郡	三次郡	深津郡
宮村	舟木	大田	長府	赤間關	萩	深川	屋代	岩國	室積	徳山	三田尻	庄原	三次	福山

福岡本金庫														
筑前														
三浦郡	御井郡	久留米市	遠賀郡	宗像郡	穂波郡	鞍手郡	夜須郡	志摩郡	御笠郡	糟屋郡	喜多郡	西宇和郡	東宇和郡	南宇和郡
大川	北野	久留米	蘆屋	東郷	飯塚	直方	甘木	今宿	大野	箱崎	大洲	八幡濱	宇和	城邊
大分本金庫														
豊後				豊前				筑後						
大野郡	直入郡	西國東郡	東國東郡	北海郡	南海郡	速見郡	上毛郡	田川郡	京都郡	企救郡	三池郡	山門郡	生葉郡	上斐郡
三重	竹田	玉津	國崎	白杵	佐伯	日出	八屋	香春	行橋	小倉	三池	柳河	吉井	福島

和歌山本金庫														
阿波						紀伊								
阿野郡	寒川郡	美馬郡	海部郡	那賀郡	三好郡	麻植郡	板野郡	名西郡	有田郡	日高郡	東牟婁郡	西牟婁郡	伊都郡	那賀郡
阪出	長尾西村	脇町	日和佐	宮岡	池田	桑川	撫養	石井	湯淺	御坊	新宮	田邊	妙寺	岩手
松山本金庫				高知本金庫				高松本金庫						
伊豫				土佐				讃岐						
北宇和郡	新居郡	宇摩郡	越智郡	上浮穴郡	伊豫郡	幡多郡	高岡郡	安藝郡	香美郡	長岡郡	吾川郡	小豆郡	豐田郡	那珂郡
宇和島	西條	川ノ江	今治	久万町	郡中	中村	須崎	安藝	赤岡	大徳	伊野	土庄	観音寺	丸龜

熊本本金庫												佐賀本金庫																	
肥後				肥前				豐前																					
八代郡	菊池郡	阿蘇郡	玉名郡	西松浦郡	東松浦郡	杵島郡	藤津郡	養父郡	神崎郡	小城郡	宇佐郡	下毛郡	玖珠郡	日田郡	八代郡	隈府	宮地	高瀬	伊万里	唐津	武雄	南鹿島	森木	神崎	小城市	四日市	中津	森	豆田
鹿兒島本金庫												宮崎本金庫																	
薩摩						日向																							
北伊佐郡	日置郡	出水郡	給黎郡	薩摩郡	西臼杵郡	東臼杵郡	北諸縣郡	西諸縣郡	東諸縣郡	兒湯郡	南那珂郡	上益城郡	天草郡	球摩郡	大	中伊集院	上出水	知覽	隈ノ城	高千穂	延岡	都	小林	高岡	高鍋	御船	町山口	八吉	

函館本金庫																							
後志				渡島				大隅															
壽都郡	久遠郡	龜田郡	檜山郡	松前郡	東壱岐郡	肝屬郡	始良郡	熊毛郡	大島郡	壽都郡	久遠郡	七飯	江刺	福山	岩川	鹿屋	加治木	北種子	金久				
根室本金庫						札幌本金庫																	
釧路			天鹽			石狩			後志			日高			膽振								
川上郡	厚岸郡	釧路郡	増毛郡	樺戸郡	空知郡	岩内郡	高島郡	浦河郡	室蘭郡	釧路	厚岸郡	釧路	増毛	月形	市來知	岩内	小樽	浦河	室蘭				
熊牛	海月	釧路	増毛	月形	市來知	岩内	小樽	浦河	室蘭	熊牛	海月	釧路	増毛	月形	市來知	岩内	小樽	浦河	室蘭				

●支金庫設置場所中移轉廢止

明治二十二年十二月十二日 當省令第十八號支金庫中左ノ箇所移轉及廢止ス

明治二十三年十一月 大藏省令第三十二號

移轉ノ分

神														横		大			
戸														濱		阪			
但	播													相	武		和	丹	
馬	磨													檜	藏		泉	後	
出	佐	揖	飾	印	多	加	美	録	部	久	大	熊	竹	綴					
石	用	東	西	南	可	西	靈	介	筑	瓦	鳥	野	野	喜					
郡	郡	郡	郡	郡	郡	郡	郡	郡	郡	郡	郡	郡	郡	郡					
出	佐	班	高	曾	中	北	三	戸	都	日	鳳	久	網	田					
石	用	鳩	岡	根	村	條	木	塚	田	下	美	濱	野	邊					

京	都	山	城	宇	久	乙	甚	愛	支	支
和	廣	岡	岐	靜	本	金	庫	名	國	名
歐	島	山	阜	岡	庫	名	庫	名	名	名
山	安	備	美	駿	名	庫	庫	名	名	名
紀	伊	備	美	駿	支	庫	庫	名	名	名
伊	伊	中	濃	河	庫	庫	名	名	名	名
伊	賀	賀	土	庵	支	庫	庫	名	名	名
部	茂	陽	岐	原	庫	庫	名	名	名	名
橋	竹	總	多	江	支	庫	庫	名	名	名
本	原	社	治	尻	支	庫	庫	名	名	名
妙	四	高	見	興	支	庫	庫	名	名	名
寺	日	松	土	興	支	庫	庫	名	名	名
市	市	上	岐	津	支	庫	庫	名	名	名
山	山	山	津	津	支	庫	庫	名	名	名

福岡		和歌山		岡山											
筑後		筑前		紀伊		山口		美作						備前	
御井郡	御笠郡	糟屋郡	名草郡	赤間市	真島郡	久米北條郡	吉野郡	勝北郡	東北條郡	西條郡	哲多郡	川上郡	下道郡	後月郡	
北野	大野	箱崎	宮村	赤間	勝山	倭文東	大原	廣戸	神庭	大野	上野	東成羽	岡田	西江原	

				金澤		福井		山形		仙臺		長野		岐阜		甲府		津		前橋	
		備前		加賀		若狹		羽前		陸前		信濃		美濃		甲斐		伊勢		上野	
都宇郡	邑久郡	磐梨郡	赤阪郡	河北郡	三方郡	南村山郡	桃生郡	宮城郡	埴科郡	不破郡	山縣郡	西八代郡	安濃郡	南甘樂郡							
撫川	今城	小野田	輕部	津幡	八村	上野山	飯ノ川	原ノ町	屋代	垂井	高富	市川大門	新町	神川							

●金庫出納事務規程ニ依リ金庫ヨリ証憑書等ノ送付ヲ

受ケタルトキ調査返付方

明治二十二年十二月
大藏省訓令第七十四號

出納官吏

明治二十二年十二月大藏省訓令第七十二號金庫出納事務規程ニ依リ金庫ヨリ歳入金
歳出金及雜部金月計對照表甲乙二葉並ニ各證憑書ノ送付ヲ受ケタルトキハ之レヲ調
査シ相違ナキモノハ甲號表ヲ留メ置キ乙號表ニ式ノ如ク證明シ若シ相違アルモノハ
其理由ヲ示シ(相違アルモノハ月計對)三日以内ニ金庫ヨリ送付セシ各證憑書共ニ金庫へ
返付スヘシ(照表甲乙二葉共返付)

●各金庫預金報告順序

明治二十三年四月
大藏省訓令第五十八號

金庫出納役

各金庫預金報告順序左ノ通り心得ヘシ
各金庫預金報告順序

第一章 中央金庫

第一條 中央金庫ニ於テハ金庫出納事務規程第三十二條ニ規定セラレタルモノノ外

各金庫預金報告ノ爲メ左ノ帳簿ヲ備ヘ其計算ヲ整理スヘシ

第一 各金庫預金部内譯簿

第二 各金庫預金拂戻部内譯簿

第二條 各金庫預金部内譯簿(書式第一)ハ各本金庫及中央金庫ニ屬スル支金庫ヲ區分
シ各地本金庫ヨリ毎五十ノ日ニ送付スル所ノ預金部報告表中「收入額即チ中央金
庫へ振替拂出額」ノ欄及中央金庫ニ屬スル支金庫ヨリ毎日送付スル所ノ預金受入
及拂戻報告表中受入額ノ欄ニ據リ其金額ヲ本簿受入額ノ欄ニ記入シ(各本金庫ニテ收
入ノ記帳ニテ中央金庫ニテ受入)セシモノニ振換チナシタルナリ)毎日第二號書式各金庫預金部報告表ヲ調製シ之レヲ預金
局長へ送付スヘシ

前項本簿受入額ノ欄ニ記載シタル金額ハ預金局長ヨリ第三號書式ノ領收證書ヲ得
テ之レヲ拂出シ(本文拂出シ直ニ預金局長ヨリ雜部保護預リトナシ更)ニ保管證書ヲ交付スルハ一般ノ雜部金順序ニ同シ)其金額ヲ本簿預金局長へ
拂渡シノ欄ニ記入シ決算ヲナスヘシ

第一項各金庫預金部報告表中「收入額即チ中央金庫へ振替拂出額」ノ欄ニアル金額
第二項預金局長へ拂渡シタル金額ハ毎日第四號書式ノ預金部收入支出報告表ヲ製
シ之レヲ大藏省へ送付スヘシ但各金庫預金部收入金ヲ中央金庫ヨリ回送トシテ振
換受入レタル報告ノ記帳並ニ回送及振換受拂報告表ニ記載スルハ金庫出納事務規

程ノ定ムル所ニ據ル

第三條 各金庫預金拂戻部内譯簿(書式第五)ハ各本金庫及中央金庫ニ屬スル支金庫ヲ區分シ各本金庫ヨリ毎五十ノ日送付スル所ノ預金拂戻部報告表中「拂戻額即チ中央金庫ヨリ振替受入額」ノ欄及中央金庫ニ屬スル支金庫ヨリ毎日送付スル所ノ預金受入及拂戻シ報告表中拂戻ノ欄ニ據リ金額ヲ本簿拂戻(現金拂)ノ欄ニ記入シ(各本金庫ニテ拂戻シタルモノヲ本文ノ記帳ニテ中央金庫ニテ拂戻シタルモノニ振替ヲナシタルナリ)毎日第六號書式各金庫預金拂戻部報告表ヲ調製シ之レヲ預金局ヘ送付スヘシ

前項本簿拂戻シノ欄ニ記載シタル金額預金局長ヨリ雜部預ケ金ノ引出切符ヲ以テ中央金庫ヘ戻シ入アリタルトキハ各金庫預金拂戻部内譯簿ノ預金局ヨリ戻シ入ノ欄ニ記入シ漸次決算ヲナスヘシ

第一項各金庫預金拂戻部報告表ノ金額第二項預金局長ヨリ中央金庫ヘ戻シ入ニナリシ金額ハ毎日第四號書式ノ預金部收入支出報告表ヲ製シ之レヲ大藏省ヘ送付スヘシ但各金庫預金拂戻金ヲ中央金庫ヘ回送トシテ振替拂出タル報告ノ記帳並ニ回送及振替受拂報告表ニ記載スルハ金庫出納事務規程ノ定ムル所ニ據ル

第四條 第二條預金受入ハ中央金庫現金出納原簿ヘ預金部ノ科目(貸)ヲ設ケ各金庫預金部内譯簿受入額ノ合計ヲ貸方ヘ又預金局長ヘ拂渡額ノ合計ヲ借方ヘ毎日登記

スヘシ

第五條 第三條預金拂戻ハ中央金庫現金出納原簿ヘ預金拂戻部ノ科目(借)ヲ設ケ各金庫預金拂戻部内譯簿ノ現金拂戻額ノ合計ヲ借方ヘ又預金局長ヨリ戻シ入レタル金額ノ合計ヲ貸方ヘ毎日登記スヘシ

第六條 預金受渡事務順序及保管金受渡事務順序ニ據リ各金庫ニ於テ預金ノ拂戻シヲナス爲メ各金庫(中央金庫)ヲ區別セシ預金即時拂ノ豫算額ヲ大藏大臣ヨリ令達セラルトキハ之レヲ各金庫預金拂戻部内譯簿ノ拂戻豫算額ノ欄ニ登記シ置キ實際現金拂戻額ト對查スヘシ

前項各金庫拂戻シ豫算額ノ基金ハ豫テ預金局長ヨリ中央金庫ヘ雜部保管預ケニセシ金額ヲ以テ之レニ充ツ預金局長ハ如何ナル場合ト雖トモ各金庫即時拂戻豫算額ニ相當スル金額ヲ中央金庫ヘ保管預ケトナスモノトス

第七條 中央金庫ハ現金出納原簿預金部(則收入)及預金拂戻部(則支出)ノ科目ニ據リ毎月第七號書式ノ預金部收支月計對照表甲乙二葉ヲ調製シ之レヲ翌月五日迄ニ預金局長ニ差出シ證明濟還付ヲ得テ之レヲ大藏省ヘ差出スヘシ

第八條 中央金庫ニ於テ第十一條ノ月計對照表ヲ受ケタルトキハ各金庫預金部内譯簿及各金庫預金拂戻部内譯簿ニ對照シテ後預金局ニ差出シ證明濟還付ヲ得テ之レ

ヲ大藏省へ差出スヘシ

第二章 本金庫

第九條 各地本金庫ニ於テ預金及保管金ヲ領收セシトキ及所屬支金庫ヨリ預金受入及拂戻報告表ヲ受ケタルトキハ現金出納原簿上特ニ預金部(貸方)ノ科目ヲ設ケ登記シ(貸方預金部)置キ而シテ毎五十ノ日(月末大ノ月ハ三十一日)ニ於テ之レヲ中央金庫へ回送トシテ拂出シ(貸方現金借)第八號書式ノ預金部報告表ヲ調製シ中央金庫へ差出スヘシ

前項回送拂出シノ記帳ト同時ニ該現金ハ中央金庫ヨリ回送ノ受入(貸方中央金庫ヨリ回シ且本文振換ハ本金庫原簿上ノ金額ヲ以テ轉記スヘキニ付支金庫ニ係ル分ハ自力)ノ帳記ヲナスヘシ但本文ノ場合ニ於テハ回送及振換拂報告表ヘ記載シ其摘要ヘ事由ヲ記入スヘシ
第十條 各地本金庫ニ於テ預金及保管金ヲ拂戻シタルトキ及所屬支金庫ヨリ預金受入及拂戻報告表ヲ受ケタルトキハ現金出納原簿上特ニ預金拂戻部(借方)ノ科目ヲ設ケ登記シ(預金拂戻部)置キ而シテ毎五十ノ日(月末大ノ月ハ三十一日)ニ於テ中央金庫ヨリ回送受入トシテ收入シ(貸方預金拂戻)第九號書式ノ預金拂戻部報告表ヲ調製シ中央金庫へ差出スヘシ
前項回送受入ノ記帳ト同時ニ該現金ハ中央金庫へ回送拂出(貸方現金借方中央金庫へ回金拂出トスヘシ支金庫ニ係ルモノハ

第九條挿註ニ同シ)ノ記帳ヲナスヘシ但本文ノ場合ニ於テハ回送及振換拂報告表ヘ記載シ其摘要ヘ事由ヲ記入スヘシ

第十一條 各地本金庫ニ於テ預金受入簿及預金拂戻簿ニ據リ第十號書式ノ月計對照表ヲ調製シ第十六條ニ據リ其所屬支金庫ヨリ送付スル月計對照表ト共ニ預金部毎月計算表ニ添へ中央金庫へ差出スヘシ

第十二條 各地本金庫ニ於テ現金出納原簿ニ據リ第十一號書式ノ預金部毎月計算表ヲ調製シ預金部月計對照表ト共ニ中央金庫へ差出スヘシ

第三章 支金庫

第十三條 各地支金庫ニ於テ預金及保管金ヲ領收セシトキハ現金受拂簿摘要中特ニ預金部ノ科目ヲ設ケ受ノ部ニ登記スヘシ

第十四條 各地支金庫ニ於テ預金及保管金ヲ拂戻シタルトキハ現金受拂簿摘要中特ニ預金拂戻部ノ科目ヲ設ケ拂ノ部ニ登記スヘシ

第十五條 各地支金庫ニ於テハ預金受入簿及預金拂戻簿ニ據リ毎日第十二號書式ノ預金受入及拂戻報告表ヲ調製シ本金庫ニ屬スル支金庫ニ在テハ其本金庫へ中央金庫ニ屬スル支金庫ニ在テハ中央金庫へ直ニ送付スヘシ

第十六條 各地支金庫ニ於テ預金受入簿及預金拂戻簿ニ據リ第十號書式ノ月計對照

表ヲ調製シ本金庫ニ屬スル支金庫ハ其本金庫へ中央金庫ニ屬スル支金庫ハ中央金庫へ直ニ送付スヘシ

附則

第十七條 預金月計對照表及預金部毎月計算表提出期限ハ金庫出納事務規程ニ同シ
(書式略之)

●金庫開庫時間

明治二十三年二月
大藏省告示第七號

金庫開庫時間ノ儀本年四月一日ヨリ左ノ通り相定ム

第一 中央金庫及大阪本金庫

毎年四月一日ヨリ七月十日迄及九月十一日ヨリ翌年三月三十一日迄ハ午前九時ヨリ午後一時迄トス

但土曜日ハ正午十二時限リ閉鎖ス

毎年七月十一日ヨリ九月十日迄ハ午前九時ヨリ正午十二時迄トス

第二 本金庫(大阪本金庫)及各支金庫

毎年四月一日ヨリ七月十日迄及九月十一日ヨリ翌年三月三十一日迄ハ午前九時ヨリ午後二時迄トス

但土曜日ハ正午十二時限リ閉鎖ス

毎年七月十一日ヨリ九月十日迄ハ午前八時ヨリ正午十二時迄トス

第三 各金庫派出員

右ハ總テ前各項ノ時間ニ據ルモノトス

●國庫金出納所事務順序

明治二十年二月
大藏省訓令第七號

應 府縣 日本銀行

國庫金出納所事務順序左ノ通相定メ本年四月一日ヨリ施行ス

但各廳現金管守順序中ノ諸書式類モ別紙諸式ノ通り相心得ヘシ

(書式ハ別ニ頒ツ) (書式略ス)

國庫金出納所事務順序

第一章 總則

第一條 國庫金出納所ハ歲入歲出出納規則、歲入取扱順序歲出取扱順序及管守順序ニ據リ其出納ヲ取扱フ所トス

第二條 國庫金出納本所及出納支所ノ位置區域ハ大藏大臣之ヲ定ム

第三條 國庫金出納本所及其出納支所ノ名稱ハ各其地名ヲ冠シ某地國庫金出納所又ハ某地國庫金出納所某地出納支所ト稱ス

第四條 國庫金出納所ノ事務ハ日本銀行ヲシテ之ヲ取扱ハシムルモノトス

第五條 國庫金出納所ニ於テ執行スル事務ヲ分チテ左ノ三部トス

第一 歳入部

第二 歳出部

第三 雜部

第六條 國庫金出納所ノ印章(即金庫印)ヲ定ムルコト左ノ如シ

一 印面 方五分

一 文字 又ハ某地國庫金出納所

一 字體 楷書 某地國庫金出納所某地出納支所

第七條 國庫金出納所ノ出納ハ臨時急施ヲ要スルカ又ハ納期ニ際シ事務輻湊スル如キ場合ヲ除クノ外總テ大藏大臣ノ指定スル開庫時間ニ限ル

第八條 國庫金出納所ニ於テ領收スル所ノ貨弊ハ納者ノ目前ニ於テ鑑査スヘシ若シ此際偽造變造ノ貨弊ヲ發見スルトキハ明治九年太政官第五十七號布告ニ照シ之ヲ處分スルモノトス

第九條 出納金取扱上ニ係ル電信ハ總テ官報ヲ以テ發スルモノトス

第十條 國庫金出納所ノ印章及事務取扱主任ノ姓名印章ハ出納局並ニ出納金ニ關係アル各官衙ヘ差出置クモノトス

第十一條 出納局長次長金庫局長次長及各廳會計主務官ノ印章ハ其關係アル國庫金出納所ヘ送付スルモノトス

第十二條 關稅及稅關諸收入ニ係ル取扱順序ハ別ニ定ムル所ニ據ル

第十三條 國庫金出納所ニ於テハ納者ヨリ徵稅令書又ハ納額告知書ヲ添ヘ現金ヲ納付スレハ之ヲ領收シ該令書告知書及正副上納書ヘ式ノ如ク領收及納濟ノ年月日ヲ記入シ取扱主任者及金庫ノ印ヲ捺シ其令書告知書ハ之ヲ納者ヘ還付シ上納正書ハ國庫金出納所ヘ留置キ上納副書ハ令書若クハ告知書ヲ發シタル廳ヘ送付スルモノトス

第十四條 國庫金出納所ハ現金取扱ノ各廳主任官ヨリ納付書ニ現金ヲ添ヘ納付スレハ之レヲ領收シ該納付書正副ヘ式ノ如ク領收及納濟ノ年月日ヲ記入シ取扱主任及金庫ノ印ヲ捺シ副書ハ國庫金出納所ニ留置正書ハ該主任官ヘ還付スルモノトス

第十五條 國庫金出納所ニ於テハ納者ヨリ分納書ヲ添ヘ現金ヲ納付スレハ之ヲ領收シ該徵稅令書若クハ納額告知書ノ裏面ニ式ノ如ク分納ノ金額年月日ヲ記入シ捺印シタル上之ヲ納者ニ還付ス但分納書ノ取扱ハ第十三條上納書ノ取扱ニ同シ

第十六條 前條ノ分納書爲シタル未完納ニ至ルトキ國庫金出納所ニ於テハ式ノ如ク

該徵稅令書若クハ納額告知書裏面ニ記載シタル領收濟ノ金額ヲ合計シテ之ヲ表面ニ移記シ其次行ニ最後領收ノ金額年月日ヲ記入シ上納書ノ取扱ハ第十三條ニ同シ

第十七條 第十五條ノ分納ヲナシタル未完納ニ至リ難キトキ其旨ヲ納者ヨリ國庫金出納所へ報告シ來ルトキハ式ノ如ク該徵稅令書若クハ納額告知書裏面ニ記シタル領收濟ノ金額ヲ合計シテ之レヲ表面ニ移記シ其次行ニ朱書ヲ以テ不納金額ヲ記載シ金庫ノ印ヲ捺シ該令書若クハ告知書ハ之ヲ納者ニ還付シ不納報告正書ハ國庫金出納所ニ留置其副書ハ令書若クハ告知書ヲ發シタル應へ送付スルモノトス

第十八條 不納處分中上納ノ税金ニ分納書ヲ添へ納付スルトキハ國庫金出納所ハ式ノ如ク領收ノ證箋ヲ製シ徵稅令書ノ下端ニ貼付シ契印ヲ捺シテ之ヲ納者ニ還付シ其分納書ノ取扱方ハ第十五條ニ同シ

第十九條 第二部歳入金ニシテ甲地ノ國庫金出納所へ現金ヲ預ケ入其預リ證書ヲ以テ乙地ノ官衙へ納付ヲ爲ストキ甲地ノ國庫金出納所ニ於テハ第五十六條ノ順序ニ據リ雜部金へ受入ノ手續ヲ爲スモノトス

第二十條 前條預リ證書ニ納付書ヲ添へ主管廳ヨリ乙地ノ國庫金出納所へ納付アルトキハ之レヲ受入證書トシテ領收シ第十四條ノ順序ニ據リ歳入部へ受入ノ手續ヲ爲スモノトス但金庫局預リ證書ヲ以テ納付アルトキノ取扱方モ總テ本文ニ同シ

第二十一條 乙地ノ國庫金出納所ニ於テ前條ノ預リ證書ヲ以テ歳入部へ受入タルモノハ送金ノ傳達ヲ俟タズ即日該證書ヲ甲地ノ國庫金出納所へ送付スルモノトス但金庫局ノ預リ證書ヲ以テ受入レタルモノハ即同局へノ送金トシテ之レヲ日本銀行へ送付シ同銀行ヨリ金庫局へ納付スルモノトス

第二十二條 甲地ノ國庫金出納所ハ彙ニ發セシ預リ證書ヲ乙地國庫金出納所ヨリ領受セハ之レニ對シ第三十二條ノ送金手續ニ據リ領收證書ヲ差出シ而シテ雜部金ヲ決算シ國庫科目へ受入ノ手續ヲナスモノトス

第二十三條 年度内ニ係ル各應既納ノ歳入下戻金ノ支拂ハ歳出金支拂ノ例ニ據ルモノトス

第二十四條 國庫金出納所ニ於テ領收スル所ノ現金ハ同所ノ支拂基ニ充ツルモノトス但時宜ニ寄リ金庫局又ハ他ノ出納所へ回送セシムルコトアルヘシ

第二十五條 前條收入金ヲ以テ支拂基ニ充テ尙不足ナルトキハ金庫局及其出張所若クハ他ノ國庫金出納所ヨリ送金ヲナサシムルモノトス

第二十六條 前條ノ場合ニ於テ金庫本局ヨリ國庫金出納所へ現金ヲ送付スルトキハ日本銀行へ交付シテ之ヲ送付セシム但金庫局出張所ノ現金ヲ交付スル場合ニ於テハ金庫本局ニ於テ拂出切符ヲ發シ之ヲ日本銀行へ交付スルモノトス

第二十七條 國庫金出納所ヨリ金庫局又ハ他ノ出納所へ送金セシムルトキハ出納局長ヨリ日本銀行へ通達ス同銀行ハ即時之ヲ國庫金出納所へ電信ヲ以テ傳達スルモノトス(電線架設ナキ地方ハ最寄電信分局迄通信シ夫レヨリ郵便ヲ以テ傳達スルモノトス)

第二十八條 前條ノ傳達ニ對シ金庫局へノ送金ハ爲替ヲ以テ送付スルモノトシ豫メ郵便到達及猶豫ノ日限ヲ量リ納付期日ヲ定メ日本銀行本支店ニ於テ完納スルモノトス

各地國庫金出納所へノ送金ハ參着拂ノ爲替ヲ以テ送付スルモノトシ其發送期限ハ送金ノ傳達ヲ受ケタル翌日迄トス

第二十九條 特ニ現金ノ遞送ヲナサシムルトキハ送金ノ傳達ヲ受ケタル日ヨリ三日以内ニ發送スヘキモノトス

第三十條 前條ノ送金ハ到着後其翌日迄ニ受授ヲ了スルモノトス但現送途中陸路事故アリテ一日十里詰ノ割合ヨリ延着セシトキハ其地戶長又ハ通運會社ノ書面ヲ以テ之レカ證明ヲ爲スモノトス

第三十一條 第二十八條第二十九條ニ據リ國庫金出納所ニ於テ回送金ヲ發送シタルトキハ即日之ヲ日本銀行へ電報シ該銀行ハ之レニ據テ集計表ヲ製シ翌日出納局へ報告スルモノトス

第三十二條 第二十六條及第二十八條ノ送金ヲ受タル國庫金出納所ニ於テハ之ヲ國庫ヨリ受入金トシテ計算スルモノトス

第二十八條ニ據リ國庫金出納所ヨリ送金ヲ受タルトキハ其發送先へ對シ第一號書式ノ領收證書ヲ差出スモノトス

第二十六條ニ據リ金庫局ヨリ現金又ハ支拂切符ヲ以テ日本銀行へ交付セシトキ該銀行ニ於テハ領收ノ證ヲ差出スモノトス

第二十八條ニ據リ日本銀行ヨリ金庫局へ納金セントキハ同局ヨリ領收ノ證ヲ交付スルモノトス

第三章 歳出部

第三十三條 國庫金出納所ニ於テ支出スヘキ經費金額ハ大藏大臣ヨリ日本銀行へ支出ノ命令ヲ爲ス日本銀行ニ於テハ之ヲ該出納所へ傳達スルモノトス但支出命令ニ要電信ノ符號アルモノハ即刻電信ヲ以テ傳達ス

第三十四條 國庫金出納所ニ於テハ前條ノ支出命令額ヲ基トシ各廳會計主務官ヨリ支拂ノ案内書ヲ得タルトキハ該支出命令額ニ對比シ支拂ノ準備ヲ爲スモノトス但案内書ノ金額支出命令額ニ超過スルトキハ即時其案内書ヲ返付シテ支拂難キ旨ヲ通知ス

第三十五條 第三十三條ノ支出命令額ニ對シ其月中ニ各廳會計主務官ヨリ送付スル處ノ支拂案内書ノ金額ト差引殘額アルトキハ之レヲ翌月ノ支出命令額ニ併算スルモノトス

第三十六條 國庫金出納所ニ於テハ各廳會計主務官ノ支拂切符ヲ以テ現金ノ支拂ヲ請求スルモノアルトキハ第三十四條ノ案内書ニ對照シ其金額ヲ支拂フモノトス但現金支拂濟ノ支拂切符及案内書ノ表面ニハ支拂濟ノ印ヲ捺ス

第三十七條 國庫金出納所ハ前條ノ支拂切符成規ニ違フトキ若クハ案内書ニ符合セサルトキハ直ニ其事由ヲ支拂切符持參者ニ告ケ其住所姓名ヲ尋問シ該切符ノ金員番號記名者ノ姓名ヲ記載シタル預リ證書ヲ與ヘ該切符ヲ留置キ即時其事由ヲ詳記シタル照會書ヲ該切符面記名ノ會計主務官ニ發スルモノトス但支拂期限ヲ經過シタル支拂切符ハ其支拂ヲ謝絶シ支拂切符ノ交換ヲ請求スヘキ旨ヲ該切符持參者ヘ告クヘシ

第三十八條 前條照會ニ據リ各廳會計主務官ヨリ該切符ノ正當ナルヲ保證シ其保證書ヲ送付セシトキハ國庫金出納所ハ曩ノ預リ證書ヲ引上ケ現金ノ支拂ヲ爲スヘシ若シ各廳會計主務官ニ於テ該切符ヲ其持參者ニ返付センコトヲ請求セシトキハ預リ證書ニ引換ヘ之ヲ還付スルモノトス

第二十九條 歳入歳出納規則第五十九條ニ據リ國庫金出納所ヨリ各廳ヘ直ニ現金ヲ交付スルトキハ第三十三條ノ支出命令ヲ得テ各廳會計主務官ノ領收證書引換ニ現金ヲ交付スルモノトス

第四十條 國庫金出納所ニ於テ陸軍歸休兵豫備役後備軍艦員兵員臨時召集旅費支拂ヲ要スルトキハ特ニ出納局長ヨリ電信ヲ以テ各出納所ヘ大藏大臣ノ支出命令ヲ傳達シ其支拂ヲ爲サシムルモノトス但本文支拂ノ手續ハ別ニ定ムル所ニ據ル

第四十一條 前條ノ場合ニ於テハ支出命令ヲ發スルト同時ニ其旨日本銀行ヘ傳達スルモノトス

第四十二條 各廳ニ於テ會計主務官ノ在勤セサル小支部局臨時ノ經費又ハ官吏出張先ヘ經費金ヲ送付スル爲メ該支拂切符ヘ其旨ヲ裏書シ遞送方ヲ請求スルトキハ國庫金出納所ハ支拂金ノ手續ニ依リ之ヲ拂出シ送金手形又ハ郵便爲換券ニ換ヘ該應ヘ交付スルモノトス但現金ヲ遞送スルトキハ第貳號書式ノ金員遞送證ヲ交付シ追テ受取人ノ領收證ト引換フルモノトス

第四十三條 前條但書ニ據リ現金遞送ヲナストキハ郵便金子入書狀又ハ内國通運會社便ヲ以テ遞送スルモノトス但本文兩便共ニ不便ノ場合ニアツテハ別仕立ヲ以テ

之ヲ現送シ執行ノ後日本銀行へ報告スヘシ

第四十四條 國庫金出納所ニ於テハ返納者ヨリ返納告知書ヲ添へ現金ヲ納付スレハ之レヲ領收シ該告知書及正副返納書へ式ノ如ク領收及納濟ノ年月日ヲ記入シ取扱主任及金庫ノ印ヲ捺シ其告知書ハ之ヲ返納者へ還付シ返納正書ハ國庫金出納所ニ留置返納副書ハ告知書ヲ發シタル應へ送付シ其返納額ハ第三十四條ノ支拂案内書ノ金額及第三十六條ノ支拂濟金額ヲ減スルモノトス

第四十五條 土地ヲ異ニスル各廳へ前條ノ返納金ヲ納付スルカ爲メ國庫金出納所へ現金ヲ納ルトキハ第五十六條ノ手續ニ據リ取扱フモノトス

第四十六條 前條預リ證書ニ返納告知書ヲ添へ返納者ヨリ其廳所在地ノ國庫金出納所へ返納スルトキハ受入證書トシテ之ヲ領收シ第四十四條ノ順序ニ據リ取扱フモノトス但本文預リ證書處分方ハ第二十一條第二十二條ニ準シ取扱フモノトス

第四十七條 金庫局ニ於テ支拂フヘキモノヲ各地國庫金出納所ニ於テ支拂ハントスルトキハ金庫局ハ第三號書式ノ送納金振換證書ヲ調製シ其甲號ハ各廳へ交付シ其乙號ハ出納局へ送付シ同局ハ之レニ送納令達ヲ付記シテ日本銀行へ交付ス日本銀行ハ之レヲ該國庫金出納所へ傳達スルモノトス

第四十八條 前條甲號證書ヲ受取人ヨリ該出納所へ持參シ現金ヲ請求スルトキハ之

レヲ乙號證書ニ對照シ甲號切符ニ引換現金ヲ交付スルモノトス

第四十九條 第四十七條振替金至急ヲ要シ乙號證書ニ電信渡ノ捺印アルモノハ出納局ハ直ニ電話ヲ以テ之ヲ日本銀行へ通達ス該銀行ハ即刻國庫金出納所ニ電信ヲ以テ傳達スルモノトス但本文ノ場合ニ在テハ甲號證書へ電信ニテ渡濟ノ旨ヲ記シ交付スルモノトス

乙號證書ハ出納局ニ於テ電話通達濟ノ印ヲ捺シ即日之ヲ日本銀行ニ送付スルモノトス

第五十條 國庫金出納所ニ於テハ前條電信ヲ得正當受取人ヨリ現金ヲ請求スルトキハ其請求者ヨリ請取人へ宛タル電信文ヲ閱覽其金額姓名等ヲ日本銀行ノ電信ニ對查シ符合セハ受取人ヨリ領收證書ヲ徵シテ現金ヲ交付シ其旨直ニ日本銀行へ電報スルモノトス但追テ正當受取人ヨリ甲號證書ヲ得テ本文領收證書ハ返戻スヘシ

第五十一條 第四十七條ノ振換金ヲシテ國庫金出納所ヨリ其請取先へ遞送セシムルトキハ乙號證書へ其遞送先等詳細記載シ之レヲ交付ス國庫金出納所ハ便宜爲換又ハ現金遞送ヲナシ甲號證書ト引換ユルモノトス但現金遞送ノ場合ニ在テハ第四十三條ニ準スルモノトス

第五十二條 支拂切符ノ支拂期限ヲ經過シテ尙支拂ノ請求ナキモノハ豫テ受入レ

タル案内書ヲ取纏メ其送付シタル廳へ還付ス但會計主務官ノ請求アルトキハ其都
度案内書ヲ還付スルモノトス

第五十三條 歳出支拂濟ノ支拂切符及案内書ハ一箇月分ヲ取纏メ帳簿上ノ支拂額ニ
照査シ之ニ第四號書式ノ仕譯書ヲ添へ國庫金出納所ニ保存スルモノトス

第四章 雜部

第五十四條 國庫金出納所ニ於テ管守順序ニ依リ取扱フヘキ各廳歳入出外雜部金ハ
各廳ノ請求ニ據リ其收入支出ヲ執行スルモノトス

第五十五條 各廳ヨリ現金ニ雜部納付書ヲ添へ送付スルトキハ國庫金出納所ハ之ヲ
領收シ該納付書ニ接續セシ領收證書ヲ用紙ニ第五號書式ノ如ク領收セシ金額及年
月日ヲ記入シ金庫ノ印ヲ捺シ領收證書ハ各廳へ送付シ納付書ハ國庫金出納所ニ留
置クモノトス

第五十六條 各廳へノ納金ヲ其納人ヨリ直ニ國庫金出納所へ納付スルトキハ該出納
所ハ預リ金トシテ之ヲ領收シ第六號書式ノ預リ證書ヲ調製シ其甲號ハ納人へ交付
シ其乙號ハ案内トシテ納先各廳へ送付スルモノトス

第五十七條 前條預リ證書ニ納付書ヲ添へ各廳ヨリ歳入金トシテ納付ヲ爲ストキハ
國庫金出納所ハ第十四條ノ順序ニ據リ取扱ヒ雜部金ヨリ歳入へ振換ノ計算ヲ爲ス

モノトス

第五十八條 第五十六條ノ納人へ交付セシ預リ證書ヲ以テ各廳ヨリ歳入出外雜部金
トシテ納付スルトキハ第五十五條ノ順序ニ據リ之ヲ領收スヘシ

第五十九條 各廳ニ於テ雜部金ノ支拂ヲ要スルトキハ支拂切符ヲ調製(本文ノ支拂切符
ヲ捺シ常用歲
出金ト區分ス)該切符ハ受取人ニ交付シ其案内書ハ國庫金出納所へ送付ス而シテ受取
人ヨリ支拂切符ヲ以テ現金ノ支拂ヲ請求スルトキハ該出納所ハ第三十六條第三十
七條第三十八條ノ順序ニ據リ取扱フモノトス

官報賣下代乘馬飼養料郵便爲換過超金等ノ如キ第五十五條ノ領收證書ヲ以テ主管
廳へ納付スルモノハ支拂切符ヲ用ヒス原領收證書ヲ以テ歳入金又ハ金庫局ノ現金
ト振替勘定ヲナスコトアリ此場合ニ於テハ出納局ヨリ日本銀行へ通知シ同行ヨリ
國庫金出納所へ通達シテ雜部金ノ決算ヲナスモノトス

第六十條 前條案内書ノ金額第五十五條若クハ第六十三條ノ順序ヲ以テ領收セシ金
額ニ超過スルトキハ即時案内書ヲ返付シテ支拂難キ旨ヲ通知ス

第六十一條 第五十六條ノ納人ヨリ直ニ領收セシ現金ノ返戻ヲ要スルコトアルトキ
ハ各廳ヨリ國庫金出納所ニ對シ下戻通知書ヲ發ス而シテ納人邊ノ預リ證書ヲ以テ
現金ノ下戻ヲ請求スルトキハ該通知書へ照査シ預リ證書引換ニ現金ヲ交付スルモ

ノトス

第六十二條 各廳ノ請求ニ據リ金庫局ニ領收セシ雜部ノ現金ヲ各地國庫金出納所ニ於テ支拂ヲ爲サシムルトキハ金庫局ヨリ送納金振替證書ヲ各廳ヘ交付ス其取扱ハ

第四十七條ノ順序ニ據ル

第六十三條 國庫金出納所ハ各廳ヨリ前條送納金振替證書ニ納付書ヲ添ヘ送付スレ

ハ第五十五條ノ順序ニ據リ之ヲ領收スルモノトス

第六十四條 前條ノ手續ニ依リ國庫金出納所ニ於テ受入レタル雜部金ハ預ケ先各廳

ノ請求ニ據リ第五十九條ノ順序ヲ以テ漸次支拂フモノトス

第六十五條 各廳ニ於テ其廳所在地外ヘ雜部金ノ遞送ヲ要求スルトキハ國庫金出納

所ハ第四十二條第四十三條ノ順序ニ據リ取扱フモノトス

第六十六條 雜部金支拂濟ノ支拂切符及案内書ハ各廳各科毎ニ一箇月分ヲ取纏メ帳

簿上ノ支拂額ニ照查シ之ヲ國庫金出納所ニ保存シ置クモノトス

第五章 計算報告

第六十七條 國庫金出納所ニ於テ取扱フ出納金原簿勘定科目ヲ定ムルコト左ノ如シ

原簿貸方科目

何年度歳入

雜部

國庫

原簿借方科目

現金

何年度歳出

回送

第六十八條 國庫金出納本所ニ於テ使用スヘキ帳簿左ノ如シ

(一) 日記簿

(二) 原簿

(三) 歳入金明細簿

(四) 歳出金明細簿

(五) 歳入金科目内譯簿

(六) 歳出金科目内譯簿

(七) 雜部金内譯簿

(八) 現金種類別簿

(九) 支出命令整理簿

(十) 支拂案内書差引簿
 (十一) 回送内譯簿
 (十二) 電信報告記入簿

第六十九條 出納支所ニ於テ使用スヘキ帳簿左ノ如シ

(一) 現金受拂簿
 (二) 歳入金明細簿
 (三) 歳出金明細簿
 (四) 雜部金内譯簿
 (五) 支出命令整理簿
 (六) 支拂案内書差引簿
 (七) 回送内譯簿

第七十條 日記簿ハ原簿勘定科目ニ隨ヒ歳入金明細簿及歳出金明細簿若クハ雜部金明細簿各證票ニ據リ記載スルモノトス其書式第七號ノ如シ但出納支所ノ收入支出ハ其報告表出納本所ヘ到着ノ日ニ於テ之ヲ記入シ實際出納支所ニ於テ收支シタル日ヲ摘要ニ記載スルモノトス

第七十一條 原簿ハ日記簿ヨリ轉記スルモノトス其書式第八號ノ如シ

七十二條 歳入金明細簿及歳出金明細簿ハ歳入金歳出金明細内譯ヲ記載スルモノトス其書式第九號ノ如シ

七十三條 歳入金科目内譯簿及歳出金科目内譯簿ハ大藏省ヨリ達シタル歳入歳出科目表ニ據リ款項目ニ區分シ歳入金歳出金明細簿ヘ記入ヲ了セシ證票ニ據リ其金額ヲ集計登記スルモノトス其書式第十號ノ如シ

七十四條 雜部金内譯簿ハ第五十四條ノ各部類ヲ區分シ各證票ニ據リ其金額ヲ集計登記スルモノトス其書式第十一號ノ如シ

七十五條 現金種類別簿ハ各部ノ金貨、壹圓銀貨、補助銀貨、兌換銀券、紙幣銅貨、受入證書ノ六種類ニ區分シ其收支ヲ登記スルモノトス其書式第十二號ノ如シ

七十六條 支出命令整理簿ハ支出命令額ヲ基トシ支拂案内書ニ據リ漸次扣除差引ヲナスモノトス其書式第十三號ノ如シ

七十七條 支拂案内書差引簿ハ支拂案内書ノ金額ヲ基トシ現金支拂濟ノ支拂切符ニ據リ漸次扣除シ未拂額ヲ整理スルモノトス其書式第十四號ノ如シ

七十八條 回送内譯簿ハ各證票ニ據リ其金額ヲ記載スルモノトス其書式第十五號ノ如シ

七十九條 電信報告記入簿ハ歳入歳出及雜部金等ヲ區分シ各證票ニ據リ其金額ヲ

- 登記スルモノトス其書式第十六號ノ如シ
- 第八十條 出納支所ノ現金受拂ニハ歳入金歳出金明細簿及各證券ニ據リ記載スルモノトス其書式第十七號ノ如シ
- 第八十一條 出納支所ノ歳入金明細簿歳出金明細簿雜部金内譯簿支出命令整理簿及支拂案内書差引簿回送内譯簿記載方ハ國庫金出納本所ノ式ニ同シ
- 第八十二條 國庫金出納本所ニ於テハ第六十八條ノ諸帳簿ニ據リ左ノ計表ヲ調製シ報告式ニ據リ日本銀行ヘ差出シ同銀行ハ之ヲ大藏省ヘ差出スモノトス
 - (一) 歳入科目内譯表
 - (二) 歳出科目内譯表
 - (三) 回送及振換拂報告表
 - (四) 雜部金收支内譯表
 - (五) 歳入歳出科目内譯附錄表
 - (六) 雜部金收支内譯附錄表
 - (七) 現金納拂差引表
 - (八) 支拂案内書差引表
 - (九) 歳入金毎月報告表

- (十) 雜部金出納報告表
- 第八十三條 出納支所ニ於テハ第六十九條ノ諸帳簿ニ據リ左ノ計表ヲ調製シ其出納本所ヘ送付スルモノトス
 - (一) 歳入科目内譯表
 - (二) 歳出科目内譯表
 - (三) 回送及振換拂報告表
 - (四) 雜部金收支内譯表
 - (五) 支拂案内書差引表
 - (六) 雜部金出納報告表
- 第八十四條 歳入歳出科目内譯表ハ歳入金科目内譯簿及歳出金科目内譯簿ニ據リ調製スルモノトス其書式第十八號ノ如シ
- 第八十五條 回送及振換拂報告表ハ原簿(出納支所ニ於テハ現金受拂簿)ニ據リ調製スルモノトス其書式第十九號ノ如シ
- 第八十六條 雜部金收支内譯表ハ雜部金内譯簿ニ據リ調製スルモノトス其書式第二十號ノ如シ
- 第八十七條 歳入歳出科目内譯附錄表及雜部金收支内譯附錄表ハ電信報告記入簿ニ

據り調製スルモノトス其書式第二十一號ノ如シ

第八十八條 現金納拂差引表ハ現金種類別簿ニ據リ二通ヲ調製シ日本銀行ヘ送付シ

其一通ハ該銀行ヘ留置其一通ハ大藏省ヘ送付スルモノトス其書式第二十二號ノ如シ

第八十九條 支拂案内書差引表ハ支拂案内書差引簿ニ據リ調製スルモノトス其書式

第二十三號ノ如シ

第九十條 歳入金毎月報告表ハ歳入科目内譯簿ニ據リ二通ヲ調製シ翌月初旬ニ其

地ヲ發シ一通ハ該廳收支命令官ヘ送付シ一通ハ日本銀行ヘ送付シ該銀行ハ之ヲ大

藏省ヘ送付スルモノトス其書式第二十四號ノ如シ但出納支所ノ收入報告モ併算ス

ルモノトス

出納支所ニ於テ收入セシ金額翌月ニ至リ國庫金出納本所ヘ報告表到着セシトキ此

金額ニ限リ前月ノ追加トシテ別ニ報告表ヲ製シ送付スルモノトス

第九十一條 雜部金出納報告表ハ雜部金内譯簿ニ據リ調製シ翌月初旬ニ其地ヲ發シ

該廳會計主務官ヘ送付スルモノトス其書式第二十五號ノ如シ

第九十二條 國庫金出納所ニ於テハ原簿日計表ヲ調製シ之ヲ備ヘ置クモノトス其書

式第二十六號ノ如シ

第九十三條 國庫金出納所ニ於テ其收入支出セシ金額ヲ報告式ニ依リ日本銀行ヘ電

報シ日本銀行ハ集計表ヲ製シ翌日(電報到着セシ)之ヲ大藏省ヘ送付スルモノトス

第九十四條 國庫金出納所及其出納支所ニ於テ使用スル帳簿ハ會計年度毎ニ之ヲ設

置スルモノトス

第九十五條 諸帳簿ニ記載ヲ了シタル各證書ニハ記帳濟ノ年月日ヲ記載シ保存スル

モノトス

● 金庫局及國庫金出納所ニ雜部預入レノ各廳官吏取扱

金整理順序

明治二十三年三月
大藏省訓令第二十六號

北海道廳 府縣

從來各廳官吏ニ於テ取扱ノ現金ヲ金庫局(金庫局大阪出張所共以下皆同)國庫金出納所(國庫金出納支所共以下皆同)ヘ

雜部金トシテ預ケ入レ金庫局及國庫金出納所ニ於テハ該官吏ノ仕拂切符ヲ以テ之ヲ

仕拂ヒ又ハ各廳ヘノ納金ヲ納人ヨリ直ニ金庫局及國庫金出納所ヘ雜部トシテ納付シ

タルモノ有之候處本年四月一日以降會計法施行ニ付出納官吏ノ資格アルモノニアラ

サレハ雜部金ノ保管預ケヲナシ又ハ現金ノ出納ヲ難取扱儀ニ付本年三月三十一日迄

ニ金庫局及國庫金出納所ヘ雜部預ケ入レニナセシ金額ハ左ノ順序ニ據リ整理スヘシ

第一條 各廳官吏ニ於テ取扱フ現金ニシテ本年三月三十一日迄ニ金庫局及國庫金出

納所へ雜部預ニセシ金額ノ内同日迄ニ仕拂切符ヲ發行シ其案内書ヲ金庫局及國庫金出納所へ送致濟ノ分ニ係ル金額ヲ扣除シ其殘額ハ雜部金引繼證書ヲ製シ(本文引ハ國庫金出納所事務順序第五十九條ノ雜部金仕拂切符ヲ用ヒ其書式文中「何之誰波」ニ日附後九十日限リ此切符持參人へ現金相渡ス可シトアルヲ朱線ヲ以テ抹殺シ更ニ「本行ノ金額ハ今般出納官吏何職何官氏名へ此證書ヲ以テ引繼候ニ付拙者預ケ金ハ決算有之度候也」ト記載シ大藏省)會計法規ニ據リ定ムル所ノ金庫局(何地現金仕拂所)トアルハ中央金庫(何地本支金庫)トスヘシ)會計法規ニ據リ定ムル所ノ出納官吏へ引繼シヘシ

前項ノ引繼證書ヲ發シタルト同時ニ案内書ヲ製シ(本文案内書ハ國庫金出納所事務順序第五十九條雜部金仕拂切符ニ附屬セル案内書ヲ用ヒ其書式文中「何之誰波」此仕拂切符本日提出ス「トアルヲ朱線ヲ以テ抹殺シ更ニ「本行ノ金額出納官吏何職何官氏名へ引繼キ即チ本日引繼證書相發ス」ト記載シ(金庫局長)(現金支拂所)トアルハ(中央金庫)(何地本支金庫)トスヘシ)中央金庫若クハ各地本支金庫へ報告スヘシ

第二條 第一條ノ引繼ヲ受ケタル出納官吏ハ引繼證書ヲ以テ明治二十二年十月大藏省令第十三號ノ順序ニ據リ中央金庫若クハ各地本支金庫へ保管預ケノ順序ヲナスヘシ

第三條 各廳へノ納金ニシテ納人ヨリ直ニ金庫局及國庫金出納所へ納入セシ分ノ本年四月一日へ越未決算ノ金額ハ其關係ノ各廳官吏ニ於テ國庫金出納所事務順序第五十六條第六號書式金庫領收證書(甲乙)ニ明細書ヲ添ヘ會計法規ニ據リ定ムル所ノ收入官吏へ引繼シヘシ(本年三月三十一日迄ノ金庫領收證書ニシテ四月一日以降各廳へ)前項ノ引繼ヲナシタル各廳官吏ハ引繼明細書ノ寫シヲ製シ之レヲ案内トシテ中央

金庫若クハ各地本支金庫へ送付スヘシ

第四條 本年三月三十一日以前ニ各廳官吏ニ於テ金庫局及國庫金出納所へ預ケ入レタル雜部金ニ對シ第一條ノ引繼證書ヲ發シタルモノ、外本年四月一日以降現金引

●金庫局及國庫金出納所ニ雜部預入レノ各廳官吏取扱金整理方制定ニ付各金庫ニ於ケル整理順序

明治二十三年三月
大藏省訓令第二十七號

大藏省金庫局 國庫金出納所 金庫出納役

明治二十三年三月三十一日迄ニ各廳ヨリ雜部金トシテ金庫局(金庫局大阪出張所共以下皆同シ)國庫金出納所(國庫金出納支所)へ預ケ入レタル金額及各廳へノ納金ニシテ納人ヨリ直ニ納入セシモノ、整理方今般當省訓令第二十六號ノ通相定メ候ニ付キ各金庫ニ於テ左ノ順序ニ據リ整理スヘシ

第一條 金庫局及國庫金出納所ハ本年三月三十一日迄ニ各廳ヨリ雜部金トシテ預リタル現金ニシテ本年四月一日へ越現在高ハ仕譯書ヲ添付シ之ヲ中央金庫若クハ各地本支金庫(國庫金出納支所ハ引)へ引繼シヘシ(續順序第五條ニ據リ)

前項仕譯書ニハ本年三月三十一日迄ニ各廳ヨリ仕拂切符發行ノ案内書ヲ受領シ現金未仕拂ニ係ルモノアレハ之ヲ區別シ該案内書ヲモ添付シ引續クヘシ(本年三月三十一日迄ニ發シタル案内書ニシテ四月一日以降ニ受領シタルモノ)アルトキハ追引繼トシテ本文ノ取扱ヲナスヘシ

第二條 第一條雜部預リ金ノ引繼ヲ受ケタル中央金庫若クハ各地本支金庫ハ舊雜部ノ科目ヲ以テ之ヲ受入レ整理スヘシ但中央金庫若クハ各地本支金庫ハ出納原簿上特ニ舊雜部ノ科目ヲ以テ整理スヘシ

各金庫ニ於テハ前項引繼ヲ受ケタル現金ノ内ニテ本年三月三十一日迄ニ各廳ニ於テ仕拂切符ヲ發シタル金額ヲ扣除シ(本文扣除セシ金額ヲ以テ本年三月三十一日迄ニ發シタル仕拂切符ニ對シ現金ノ仕拂ヲナスハ從前ノ取扱ヲヘシ)其殘額ハ本年三月當省訓令第二十六號第一條及第二條ニヨリ各廳ニ於テ會計法規ニ據リ定ムル所ノ出納官吏ヘ引繼キ更ニ各金庫ヘ保管預ケノ順序ヲナシタルモノニアラサレハ之レカ仕拂ヲナスヲ得ス

第三條 金庫局若クハ國庫金出納所ハ國庫金出納所事務順序第五十六條ニ據リ本年三月三十一日迄ニ各廳ヘノ納金ヲ納人ヨリ直ニ領收シ本年四月一日ヘ越未決算ニ係ル現金ハ仕譯書ヲ添付シ之ヲ中央金庫若クハ各地本支金庫(國庫金出納所ハ引繼順序第五條ニヨリ)ヘ引繼クヘシ

第四條 第三條ノ納人直納金ノ引繼キヲ受ケタル中央金庫若クハ各地本支金庫ハ舊

雜部金中特ニ納人直納金ノ科目ヲ設ケ之ヲ受入レ整理スヘシ

前項ノ納人直納金ハ本年四月一日以降各廳ニ於テ本年三月當省訓令第二十六號第三條ニ據リ收入官吏ヘ引繼キタル旨ノ案内ヲ受ケタル後該收入官吏ノ請求ニ依リ之レカ納拂ヲナスヘシ(本文納人直納金ノ拂方ハ收入官吏ヨリ拂込書ヲ以テ歳入ニナスカ又ハ收入官吏ノ請求ニ應ジ最前納人ヲナシタルモノヘ預リ證書引換ニ拂戻シヲナスノニ途アル)

●金庫局及國庫金出納所ニ雜部預入レノ各廳官吏取扱

金整理順序中心得方 明治二十三年五月 大藏省訓令第七十二號

北海道廳 府縣

本年三月大藏省訓令第二十六號第三條各廳ヘノ納人直納金ニシテ金庫ノ預リ證書(甲)ヲ未ダ納人ヨリ差出サ、ル前ト雖モ各廳ニ於テ金庫ノ通知書(乙)ヲ受入レアル分ハ其通知書ヲ同訓令第三條ノ引繼手續ヲ以テ會計法規ニ據リ定ムル處ノ收入官吏ヘ引繼クヘキ儀ト心得ヘシ

但本年當省訓令第二十六號第三條中領收證書トアルハ預リ證書ノコト、知ルヘシ

●納入告知書ニ依リ金庫ヘ現金納付ノ上納人ニ於テ收

入官吏へ領收証ノ檢印ヲ請ハサル者アルトキ取扱方

明治二十三年六月
大藏省訓令第九十八號
收入官吏 金庫出納役

納入告知書ニ依リ金庫へ現金納付ノ上納入ニ於テ收入官吏へ領收証ノ檢印ヲ請ハサルモノアル時ハ該官吏ニ於テハ收入未濟額トシテ處分シ其收入報告書ニハ金庫月計對照表ト不突合ノ事由ヲ備考欄内ニ記入シ乙號月計對照表ニハ證明文言ニ換フルニ不突合ノ事由ヲ詳記(若シ證明文言ノ坐ニ記載シ悉スチ得サルト)シテ金庫へ還付ス可シ但後日納入ニ於テ檢印ヲ申出テタル時モ亦同様取扱フ可シ

●金庫相互間回送金振換金取扱順序

明治二十三年二月
大藏省訓令第十五號

金庫出納役

金庫出納事務規程第三十條ニ據リ金庫相互間回送金振換金取扱順序左ノ通相定メ本年四月一日ヨリ施行ス
金庫相互間回送金振換金取扱順序

第一章 回送金

第一條 大藏大臣ハ國庫金運轉配賦ノ爲メ各金庫相互間ニ於テ回送金ヲ爲サシメトスルトキハ其回送金ノ拂出ヲ爲サシムヘキ金庫名金額及回送金ヲ受入ヘキ金庫名ヲ明記シタル令達書ヲ大藏省國庫主任ノ局長ヲシテ中央金庫へ達セシム

第二條 中央金庫ハ各地本金庫へ回送金ヲ爲スヘキ旨ノ令達ヲ受ケタルトキハ三日以内ニ送金手形又ハ參著拂ノ爲換手形ヲ以テ各地本金庫へ發送スヘシ

前項送金手形爲換手形ノ便ナキトキハ回送金ノ令達ヲ受ケタル日ヨリ三日以内ニ現金ヲ以テ發送スヘシ但シ銅貨ノ如キ荷造等ノ爲メ日子ヲ要スヘキ見込ノモノアラハ回送令達ヲ得サル前豫メ其旨申立許可ヲ受ケ置クヘシ

中央金庫ハ各地本金庫ヨリ中央金庫へ又ハ各地甲本金庫ヨリ乙本金庫へ回送金ヲ爲スヘキ旨ノ令達ヲ受ケタルトキハ直ニ之レヲ其回送金ヲ爲スヘキ各地本金庫へ達シ第三條ノ手續ニ據リ回送ヲナサシムヘシ(大藏省ノ令達ニ電信ヲ以テ發送スヘキ旨記入シアルモノハ中央金庫ニ於テ即日電達スヘシ)

第三條 各地本金庫ハ中央金庫ヨリ回送金ノ達ヲ受ケタルトキハ三日以内ニ送金手形又ハ參著拂ノ爲換手形ヲ以テ回送先ノ金庫へ發送スヘシ
送金手形爲換手形ノ便ナキトキハ回送金ノ達ヲ受ケタル日ヨリ三日以内ニ現金ヲ以テ發送スヘシ但シ銅貨ノ如キ荷造等ノ爲メ日子ヲ要スヘキ見込ノモノアラハ回送令達ヲ得サル前豫メ其旨申立許可ヲ受ケ置クヘシ

第四條 第二條第二項第三條第二項ノ現金ヲ以テ回送セシモノ回送先キ金庫へ到着セシトキハ即日授受ヲ了スヘシ(即日ニ貨幣鑑定ヲ了ラサルモノハ鑑定ヲ了セシ日ヲ以テ授受スヘシ)若シ回送金ノ到着金庫閉鎖ノ後ナルトキ並ニ金庫閉鎖ノトキ迄ニ鑑定ヲ了セサル場合ニ於テハ其金額ハ封印ノ儘受入ヘキ金庫へ保護預ケニ爲シ置キ其翌日必ス授受スヘシ
中央金庫ニ於テハ各金庫間里程ノ遠近ト運輸ノ便否ヲ量リ現金回送ノ途中ニ要スル日數ヲ豫定シ大藏省ノ認可ヲ受ケ置クヘシ若シ豫定日限ヨリ遅達セシトキハ其延著セシ事由ヲ證明セシムヘシ

第五條 回送金ヲ受入ルヘキ金庫ニ於テ第二條第一項第二項及第三條ノ回送金ヲ領収セシトキハ第一號書式ノ領収證書ヲ調製シ之レヲ回送金ヲ發送セシ金庫へ交付スヘシ

第六條 第二條第一項及第三條第一項ノ回送金ニシテ其手形拂込ノ期日ヲ經過シ尙ホ拂込ヲ爲サハルモノアルトキハ日本銀行ニ於テ其金額ヲ回送金ヲ受ケ入ヘキ金庫へ代納スヘシ

第七條 第二條第一項第二項及第三條ニ據リ回送金ヲ發送シタル中央金庫若シハ各地本金庫ハ回送先ノ金庫ヨリ領収證書ヲ得テ其責任ヲ免ル、モノトス

第二章 振換金

第一款 中央金庫ヨリ經費金振換仕拂

第八條 中央金庫ハ各地ノ受取人へ現金仕拂ノ爲メ各地本金庫ヲシテ振換拂ヲ爲サシメントスルトキハ其振換拂ヲ爲サシムヘキ各地本金庫名及金額ヲ大藏省へ申出許可ヲ受クヘシ

第九條 中央金庫ハ前條大藏省ノ許可ヲ受ケタルトキハ第二號書式ノ振換證書ヲ製シ其甲號ハ受取人へ送付シ(金庫出納事務規程第十五條ニ據リ)其乙號ハ振換拂ヲ爲サシムヘキ金庫へ案内トシテ送付スヘシ

本金庫ヲシテ其所在地外ノ受取人ニ向ケ振換拂ヲ爲サシムル場合ニハ甲乙號振換拂證書ニ其旨ヲ記入シ振換拂證書甲乙號共ニ之レヲ該本金庫へ送付スヘシ

第十條 各地本金庫ニ於テ中央金庫ノ乙號振換拂證書ヲ得タルトキハ之レヲ保存シ置キ追テ受取人ヨリ甲號振換拂證書ヲ以テ現金仕拂ノ請求アルトキ第九條第一項ノ乙號振換拂證書ニ對照シ正確ナルコトヲ認メ其金額ヲ交付スヘシ
各地本金庫ニ於テ第九條第二項ノ振換拂ヲ爲スヘキ金庫所在地外ノ受取人へ送金スヘキ甲乙號振換拂證書ヲ受ケタルトキハ送金手形、爲換手形、收入官吏ノ監守證若シハ現金ヲ以テ受取人へ交付シ受取人ヨリ金庫出納事務規程第十五條規定ノ領收證書ヲ徴シ之レヲ中央金庫へ送付スヘシ

第十一條 第九條ノ振換拂渡方至急ヲ要スルキハ中央金庫ヨリ電信ヲ以テ其旨ヲ本
 金庫へ通達スヘシ(本文ノ場合ハ仕拂命令官ヨリ受取人)但本文ノ場合ト雖モ中央金庫ニ於
 テ甲乙號振換拂證書へ電信ニテ渡濟ノ旨ヲ記入シ第九條第一項ノ順序ヲナスヘシ
 第十二條 第十一條ノ電信ヲ受ケタル本金庫ハ正當受取人ヨリ仕拂命令官ノ發シタ
 ル電信ヲ差出サシメ該電信ト中央金庫ヨリ發シタル電信ノ金額氏名トヲ對照シ正
 確ナリト認ムルトキハ受取人ヨリ假領收證書ヲ徵シテ現金ヲ交付シ退テ受取人ヨ
 リ甲號振換拂證書ヲ得テ假領收證書ヲ返戻スヘシ
 前項電信ニ對シ仕拂ヲ爲シタルトキハ即刻其旨ヲ中央金庫へ電報スヘシ

第二款 郵便爲替過超金振換納

第十三條 各地本金庫ハ郵便電信局又ハ郵便局ヨリ現金ニ第三號書式ノ振換納申込
 書ヲ添へ中央金庫へ振換納ノ申込アルトキハ之レヲ領收シ第四號書式ノ振換納入
 證書ヲ調製シ其甲號ハ振換納申込先キへ交付シ其乙號ハ中央金庫へ送付スヘシ

第十四條 各地本金庫ニ於テ第十三條ノ順序ニ據リ領收セシ現金ハ中央金庫ヨリ受
 入金トナスヘシ但本文ノ場合ニ於テハ回送及振換拂報告表へ其事由ヲ記入スヘシ
(本表ハ中央金庫ノ記帳對照ニ用ユルモノニテ中央
 金庫ハ之レヲ以テ記帳ノ材料ト爲スモノニアラス)

第十五條 中央金庫ニ於テ各地本金庫ヨリ送付スル乙號振換納入證書ヲ得タルトキ

ハ其金額ヲ郵便爲替振換金受入トシテ記入シ(即貸方)各地本金庫へ回送ノ記帳(即借
 目)ヲナスヘシ退テ逓信省爲替貯金局長ヨリ甲號振換納入證書ヲ以テ現金引替方
 請求アルトキハ乙號振換納入證書ニ對照シ正確ナリト認ムルトキハ甲號振換納入
 證書ト引替ニ現金ヲ交付スヘシ但本文郵便爲替振換金受入ノ内譯ハ書留簿ヲ設ケ
(書式
 適宜)整理スヘシ

前項現金ヲ交付セントキ郵便爲替振換金受入ヲ決算スヘシ

第十六條 中央金庫ニ於テ第十五條ノ各地本金庫ヨリ送付スル乙號振換納入證書ヲ
 受ケ振換金受入ノ記帳ヲ爲セントキ及甲號振換納入證書ト引替ニ現金ノ仕拂ヲ爲
 シタルトキハ回送及振換金受拂報告表へ式ノ如ク記載スヘシ但該報告表摘要へ其
 事由ヲ詳細記載スヘシ

第十七條 中央金庫ニ於テ第十九條ノ各地本金庫ヨリ電信ヲ得テ受入ノ記帳ヲ爲シ
 及仕拂ヲナシタルトキハ第十六條ノ順序ニ據リ回送及振換金受拂報告表へ式ノ如
 ク記載スヘシ但該報告表摘要へ其事由ヲ詳細記載スヘシ

第十八條 各地本金庫ニ於テ郵便電信局又ハ郵便局ヨリ第十三條ニ據リ受入タル金
 額ニ限リ其代リ金ヲ電信ヲ以テ中央金庫ニ於テ仕拂ヲ受ケタキ旨ノ請求アルトキ
 ハ振換納金受入レ先キノ局名金額振換納入證書ノ番號年月日トモ中央金庫へ電報

スヘシ
 前項電報ヲ爲シタルモノト雖トモ甲乙號振換受入證書ヲ製シ之レニ電信ニテ渡濟ノ旨ヲ記入シ其甲號ハ振換納申込先キヘ交付シ其乙號ハ中央金庫ヘ送付スヘシ
 第十九條 中央金庫ニ於テ第十八條ノ電信ヲ得タルトキハ該電信ヲ以テ乙號振換受入證書ト見做シ遞信省爲替貯金局長ノ領收證書ニ對シ現金ヲ交付スヘシ
 第二十條 各地本金庫ハ第十八條ニ據リ電信ヲ發シタルトキハ第十四條ノ順序ヲ爲スヘシ
 第二十一條 中央金庫ハ第十九條ノ電信ヲ得タルトキ及現金ヲ仕拂ヒタルトキハ第十五條ノ順序ヲナスヘシ
 第二十二條 中央金庫ニ於テ第十九條ニ據リ電信ヲ以テ現金ヲ仕拂フタル遞信省爲替貯金局長ノ領收證書ハ追テ同局長ヨリ送付スル甲號振換受入證書ト交換スヘシ
 第三款 海軍艦隊返納金振換納
 第二十三條 各港ニアル本金庫ニ於テハ海軍艦隊某官某ヨリ現金ニ第五號書式ノ振換納申込書ヲ添ヘ鎮守府所在地ノ金庫ヘ振換納ノ申込アルトキハ之レヲ領收シ
 第六號書式ノ振換受入證書ヲ調製シ其甲號ハ振換納申込先キヘ交付シ其乙號ハ鎮守府所在地ノ支金庫又ハ金庫派出所(鎮守府所在地ニアル金庫ハ支金庫又ハ本)ヲ總轄スル

本金庫ヘ送付ス該本金庫ハ之レヲ其支金庫若クハ金庫派出所ヘ轉送スヘシ
 第二十四條 各港ニアル支金庫ニ於テハ艦隊某官某ヨリ現金ニ振換納申込書ヲ添ヘ鎮守府所在地ノ金庫ヘ振換納ノ申込アルトキハ之ヲ領收シ(支金庫ニ於テ本文ノ受入細記帳シ之レヲ本金庫ヘ報告スヘシ)第二十三條ノ順序ニ據リ振換受入證書ヲ調製シ其甲號ハ振換納申込先キヘ交付シ其乙號ハ當該支金庫ヲ總轄スル本金庫ヘ送付ス該本金庫ハ之レヲ鎮守府所在地ノ支金庫又ハ金庫派出所ヲ總轄スル各本金庫ヘ送付ス該本金庫ハ之レヲ鎮守府所在地ノ支金庫若クハ金庫派出所ヘ轉送スヘシ
 第二十五條 各港ニアル本金庫ニ於テ第二十三條ニヨリ領收セシ振換納金ハ其本金庫ニ於テ又各港ニアル支金庫ニ於テ第二十四條ニヨリ領收セシ振換納金ハ該支金庫ヲ總轄スル本金庫ニ於テ(第二十四條各港ニアル支金庫ニシテ第二十三條ノ本金庫ニ屬シ本)鎮守府所在地ノ支金庫又ハ金庫派出所ヲ總轄スル本金庫ヨリノ回送金受入トナスヘシ但シ本文ノ場合ニ於テハ回送及振換拂報告表ヘ記載シ其摘要ヘ其事由ヲ記入スヘシ
 前項ノ領收セシ金額ハ特ニ第七號書式ノ通知書ヲ製シ其時々中央金庫ヘ送付スヘシ
 第二十六條 各鎮守府所在地ノ支金庫若クハ金庫派出所ニ於テ第二十三條第二十四

條ニ據リ其本金庫ヨリ乙號振換受入證書ヲ得タルトキハ該本金庫へ回送金トシテ
 一旦現金ヲ拂出シ更ニ該現金ヲ某艦團隊某官某ヨリ振換受入金トシテ記帳(雜部中
 金ノ一科)計算シ雜部金收支内譯表へ記載シ其摘要へ其事由ヲ記入シ之レヲ其本金
 庫へ報告スヘシ

前項振換受入金受拂ノ月計對照表ハ明治二十二年^{十二}月^{十二}大藏省訓令第七十二號第九
 十七條ニ據リ調製シ之レヲ該金庫所在地鎮守府在勤ノ會計主務官へ送付スヘシ
(本文振換受入金ノ整理ハ月計對照表ヲ鎮守府在勤ノ會計主務官へ送付
 スルノ外ハ總テ金庫出納事務規程中雜部金ノ取扱ニ異ナルコトナシ)

各本金庫ニ於テ第一項ノ報告ヲ得タルトキハ其金額ヲ振換受入證書發行先キノ金
 庫へ回送金トシテ支金庫ノ在高キ拂出シ(借)更ニ之レヲ某艦團隊某官某ヨリ支金
 庫へ振換受入金トシテ記帳(雜部中ニ受入金
 ノ一科目ヲ設ク)計算シ振換受入證書發行先キノ金庫へ回
 送トシテ拂出ノ分ハ回送及振換拂報告表へ記載シ其摘要へ其事由ヲ記入スヘシ某
 艦團隊某官某ヨリノ受入金ハ雜部金毎月計算表へ記入スヘシ

第二十七條 鎮守府所在地ノ支金庫又ハ金庫派出所ニ於テハ某艦團隊某官某或ハ其
 代理人ヨリ第二十三條第二十四條ノ甲號振換受入證書ニ返納告知書ヲ添へ納付ス
 ルトキハ乙號振換受入證書ト對照シ正確ト認ムルトキハ振換受入金ノ科目ヲ決算
 シ(貸方現金借方
 振換受入金)返納金額收(貸方返納受
 入借方現金)ノ記帳ヲナシ雜部金收支内譯表へ記載シ其摘

要へ其事由ヲ記入スヘシ

各本金庫ニ於テ前項ノ雜部金收支内譯表ヲ得タルトキハ第二十六條第三項某艦團
 隊某官某ヨリ振換受入金ヲ決算シ返納金受入ノ記帳ヲナシ(本文ノ場合ニ於テ原簿上
 貸借共雜部ノ科目ヲ用フ)雜
 部金毎月計算表へ記入スヘシ

第二十八條 第二十六條第三項ノ順序ヲナシタル本金庫ハ特ニ第八號書式ノ報告書
 ナ調製シ其時々中央金庫へ送付スヘシ

第二十九條 中央金庫ハ特ニ書留簿ヲ設置シ第二十五條第二項第二十八條ノ特別報
 告ヲ記入シ追テ第二十五條第一項第二十六條第三項第二十七條第二項ノ諸報告ヲ
 得テ之レカ整理ヲナスヘシ(書式略ス)

●遠隔ノ地方へ金庫員派出シ出納事務取扱フトキ計算
 整理方並ニ各金庫事務輻湊等ノタメ正式ニ登記シ能
 ハサルトキ特別取扱方

明治二十三年三月
 大藏省訓令第四十二號

金庫出納役

金庫ニ遠隔ナル地方へ金庫員派出シ出納事務ヲ取扱フ場合ニ於テ毎日其出納ヲ金庫
 ノ諸帳簿へ登記シ能ハサル場所ハ大藏大臣ノ許可ヲ得テ金庫出納事務規程第五十九

條ニ準シ其派出所ニ支金庫同様ノ帳簿ヲ備ヘ計算整理スヘシ

各金庫ニ於テ歳入各廳内譯簿歳出各廳内譯簿雜部金内譯簿ハ現金ヲ納拂セシ各證憑書ヲ以テ登記スヘキ規程ノ處各金庫ノ中出納ノ事務輻湊シ又ハ金庫員各廳ヘ派出シテ出納ヲ取扱フ節等ニシテ證憑書ヲ以テ直ニ各内譯簿ヘ登記ナシ能ハサル場合アル金庫ハ特ニ其事由ヲ大藏大臣ヘ具中シ其認可ヲ得テ左ノ明細簿ヲ設置スルコトヲ得

第一 歳入金明細簿

書式甲乙兩號ノ内(本文甲乙號書式ノ内金庫ノ都合ニヨリ其一ヲ撰ミ認可ヲ請フモノトス)主管廳取扱應收入官吏毎ニ口座ヲ設ケ各證憑書一葉毎ニ記入シ毎日ノ合計ヲ以テ毎日歳入各廳内譯簿ヘ移記スルモノトス

第二 歳出金明細簿

書式丙丁兩號ノ内(本文丙丁號書式ノ内金庫ノ都合ニヨリ其一ヲ撰ミ認可ヲ請フモノトス)主管廳支拂命令官毎ニ口座ヲ設ケ各證憑書一葉毎ニ記入シ毎日ノ合計ヲ以テ毎日歳出各廳内譯簿ヘ移記スルモノトス

第三 雜部金明細簿

書式歳入出金明細簿ニ同シ
出納官吏毎ニ口座ヲ設ケ預ケ入レタルトキ及拂戻シタルトキ各證憑書一葉

毎ニ記入シ毎日ノ合計ヲ以テ毎日雜部金内譯簿ヘ移記スルモノトス
但定額戻シ入ニ係ルモノハ直ニ雜部金内譯簿ヘ記入シ明細簿ハ設ケサルモノトス

第四 前二項ノ明細簿ハ歳入各廳内譯簿歳出各廳内譯簿ニ附屬セシメ一會計年度ノ完結ニ至ルマテ貫通登記スヘシ(書式略ス)

●官立學校及圖書館會計金庫出納事務規程

明治二十三年四月
大藏省訓令第六十九號
金庫出納役

官立學校及圖書館會計金庫出納事務規程左ノ通り心得ヘシ
官立學校及圖書館會計金庫出納事務規程

第一章 總則

第一條 金庫ハ此規程ニ據リ官立學校及圖書館會計規則第十八條ノ歳入金ヲ領收シ(歳入金領收ノ順序ハ總テ金庫出納事務規程ニ同シ)大藏大臣ノ令達ニ據リ既ニ領收セシ歳入金ヲ歳出ノ仕拂元金ニ組換ヘ及ヒ官立學校圖書館ノ歳出任拂命令官ノ仕拂請求書ニ據リ歳出ノ仕拂ヲナスヘシ

第二條 金庫ハ官立學校及圖書館歲出仕拂元金額ニ超過スル案内仕拂請求書ヲ受領スルヲ得ス

案内仕拂請求書ヲ受領セシトキハ其時々之レヲ歲出仕拂元金ノ殘高ニ對比シ若シ仕拂元金ノ殘高不足スルトキハ直ニ該案内仕拂請求書ヲ會計主務官ヘ返付スヘシ
第三條 金庫ハ毎年度ノ案内仕拂請求書ニシテ翌年度四月三十日迄ニ現金仕拂ノ請求ナキモノハ官立學校及圖書館仕拂命令官ノ請求ニ依リ翌年度ヘ繰越ノ順序ヲナスヘシ

第四條 官立學校及圖書館ノ歲入金ヲ歲出仕拂元金ニ組換ヲナストキハ大藏大臣ヨリ金額、收入官吏、仕拂命令官、年度、金庫ヲ區分シタル第一號書式ノ組換令達書ヲ金庫ヘ交付スヘキニ付當該金庫ニ於テ組換ノ順序ヲナスヘシ

第五條 金庫ニ於テ官立學校及圖書館歲入歲出金ノ出納ヲナスニ付此規程ニ記載ナキ計算整理及報告表提出期限等ノ條項ハ總テ金庫出納事務規程ニ據リ取扱フモノトス

第二章 帳簿及計算報告

第一款 中央金庫

第六條 中央金庫ハ金庫出納事務規程第三十二條ニ規定シタルモノ、外官立學校及

圖書館會計規則ノ歲入歲出金ヲ整理スル爲メ左ノ内譯簿ヲ備フヘシ

第一 各金庫官立學校及圖書館歲入金各應内譯簿

第二 各金庫官立學校及圖書館歲出仕拂元金各應内譯簿

第七條 各金庫官立學校及圖書館歲入金各應内譯簿ハ第二號書式ニヨリ各年度毎ニ之レヲ設ケ中央金庫及之レニ屬スル支金庫竝ニ各本金庫ヲ區分シ尙ホ各官立學校及圖書館毎ニ收入官吏ヲ細別シ中央金庫ニ係ルモノハ各證憑書(納入告知書、仕拂元金、^{組換令}、^{達書})中央金庫ニ屬スル支金庫ニ係ルモノハ該支金庫ヨリ毎日送付スル官立學校歲入金收支報告表本金庫ニ係ルモノハ本金庫ヨリ毎五十ノ日(月末大ノ月ハ三十一日二十九日以下、月ハ二十八日若クハ二十之ニ同シ)ニ送付スル官立學校歲入金收支報告表ヲ得テ之ヲ歲入額ノ欄ニ記入スヘシ

官立學校及圖書館ノ歲入金ヲ歲出仕拂元金ヘ組換ヘキ大藏大臣ノ令達ヲ受ケタルトキハ其中央金庫ニ於テ直接ニ領收セシ分ハ該令達ニ依リ直ニ本簿仕拂元金ヘ組換額ノ欄ニ記入シ中央金庫ニ屬スル支金庫及各本金庫ニ係ルモノハ當該各金庫ニ於テ組換ヲナシタル前項歲入金收支報告表ニ依リ本簿ヘ記入スヘシ

第八條 各金庫官立學校及圖書館歲出仕拂元金各應内譯簿ハ第三號書式ニヨリ各年度毎ニ之レヲ設ケ中央金庫及之レニ屬スル支金庫竝ニ各本金庫ヲ區分シ尙各官立

學校及圖書館毎ニ仕拂命令官ヲ細別シ中央金庫ニ係ルモノハ各證憑書(大藏大臣ヨリ)金(組換令達書案内仕)拂請求書仕拂請求書中央金庫ニ屬スル支金庫ニ係ルモノハ該支金庫ヨリ毎日送付スル官立學校歳出仕拂元金收支報告表本金庫ニ係ルモノハ本金庫ヨリ毎五十ノ日ニ送付スル官立學校歳出仕拂元金收支報告表ヲ得テ毎日之レヲ記入スヘシ

第九條 中央金庫ニ於テ現金出納原簿「某年度官立學校及圖書館歳入」「某年度官立學校及圖書館歳出仕拂元金」ノ科目ヲ設ケ第七條第八條各廳内譯簿ノ合計額ヲ以テ毎日之レヲ記入スヘシ

第十條 中央金庫ニ於テ現金出納原簿各金庫官立學校及圖書館歳入金各廳内譯簿各金庫官立學校及圖書館歳出仕拂元金各廳内譯簿ニ據リ毎日第四號書式甲乙ノ各金庫官立學校及圖書館歳入金收支報告表各金庫官立學校及圖書館歳出仕拂元金收支報告表ヲ調製シ翌日大藏省ヘ差出スヘシ

第十一條 中央金庫ニ於テ直接ニ官立學校及圖書館ノ歳入ヲ領收セシモノハ該歳入内譯簿ニ據リ毎月第五號書式ノ官立學校若クハ圖書館歳入金月計對照表ヲ調製シ之レヲ當該歳入官吏ヘ送付シ證明ヲ請フヘシ

又直接ニ官立學校及圖書館歳出仕拂元金ノ出納ヲナシタルモノハ該歳出内譯簿ニ據リ毎月第六號書式ノ官立學校若クハ圖書館歳出金毎月計對照表ヲ調製シ之レヲ

當該會計主務官ニ送付シ證明ヲ請フヘシ

第十二條 中央金庫ニ於テハ現金出納原簿及各金庫官立學校及圖書館歳入金各廳内譯簿ニ據リ第七號書式ノ官立學校及圖書館歳入毎月計算表ヲ調製シ又現金出納原簿及各金庫官立學校及圖書館歳出仕拂元金各廳内譯簿ニ據リ第八號書式ノ官立學校及圖書館歳出仕拂元金出納毎月計算表ヲ調製シ之レニ當該歳入官吏及會計主務官ヨリ返付ヲ受ケタル月計對照表及各地金庫ヨリ送付セル月計對照表ヲ添付シ大藏省ヘ差出スヘシ

第二款 本金庫

第十三條 本金庫ハ金庫出納事務規程第四十六條ニ規定シタルモノ、外官立學校及圖書館會計規則ノ歳入歳出金ヲ整理スル爲メ左ノ内譯簿ヲ備フヘシ

第一 官立學校歳入金各廳内譯簿
第二 官立學校歳出仕拂元金各廳内譯簿

第十四條 官立學校歳入金各廳内譯簿第二號書式ニ準シ各年度毎ニ之ヲ設ケ本金庫及支金庫ヲ區分シ各官立學校毎ニ收入官吏ヲ細別シ本金庫ニ係ルモノハ各證憑書(歳入告知書拂込書大藏大臣ヨリ)支金庫ニ係ルモノハ支金庫ヨリ送付スル官立學校歳入金收支報告表ニ據リ毎日之レヲ歳入額ノ欄ニ記入スヘシ

官立學校ノ歳入金ヲ歳出仕拂元金へ組換へキ大藏大臣ノ令達ヲ受ケタルトキハ其
本金庫ニ於テ直接ニ領收セシ分ハ該令達ニ依リ直ニ本簿仕拂元金へ組換額ノ欄ニ
記入シ支金庫ニ係ルモノハ支金庫ニ於テ組換ヲナシタル前項歳入金收支報告表ニ
ヨリ本簿へ記入スヘシ

第十五條 官立學校歳出仕拂元金各廳内譯簿ハ第三號書式ニ準シ各年度毎ニ之レヲ
設ケ本金庫及支金庫ヲ区分シ各官立學校毎ニ仕拂命合官ヲ細別シ本金庫ニ係ルモ
ノハ各證憑書(大藏大臣ヨリ歳入ヲ仕拂元金へ組換
令達書案内仕拂請求仕拂請求書)支金庫ニ係ルモノハ支金庫ヨリ毎日送
付スル官立學校歳出仕拂元金收支報告表ニヨリ毎日之レヲ記入スヘシ

第十六條 本金庫ニ於テ現金出納原簿へ「某年度官立學校歳入」「某年度官立學校歳
出仕拂元金」ノ科目ヲ設ケ第十四條第十五條各廳内譯簿ノ合計額ヲ以テ毎日之レ
ヲ記入スヘシ

第十七條 本金庫ニ於テハ現金出納原簿官立學校歳入金各廳内譯簿官立學校歳出仕
拂元金各廳内譯簿ニ據リ毎五十ノ日ニ第四號書式甲乙ニ準シ官立學校歳入金收支
報告表官立學校歳出仕拂元金收支報告表ヲ調製シ之レヲ中央金庫へ送付スヘシ
第十八條 本金庫ニ於テ直接ニ官立學校ノ歳入ヲ領收シ及官立學校ノ歳出仕拂元金
ノ出納ヲナシタルモノハ月計對照表調製方ハ第十一條ニ同シ

第十九條 本金庫ニ於テハ現金出納原簿官立學校歳入金各廳内譯簿官立學校歳出仕
拂元金各廳内譯簿ニ據リ第九號書式ノ官立學校歳入毎月計算表及第十號書式ノ官
立學校歳出仕拂元金毎月計算表ヲ調製シ之レニ當該歳入官吏及會計主務官ヨリ返
付ヲ受ケタル歳入歳出月計對照表及支金庫ヨリ送付スル月計對照表ヲ添付シ中央
金庫へ差出スヘシ

第三款 支金庫

第二十條 支金庫ニ於テ官立學校會計ノ出納ヲ取扱フトキハ現金受拂簿摘要中特ニ
左ノ科目ヲ設ケ其出納ヲ登記スヘシ

某年度官立學校歳入

某年度官立學校歳出仕拂元金

第二十一條 支金庫ニ於テ官立學校及圖書館會計規則ノ出納ヲ取扱フトキハ金庫出
納事務規程第五十九條ニ規定シタルモノハ外ニ左ノ内譯簿ヲ備フヘシ

第一 官立學校歳入金各廳内譯簿

第二 官立學校歳出仕拂元金各廳内譯簿

第二十二條 官立學校歳入金各廳内譯簿ハ第二號書式ニ準シ各年度毎ニ之レヲ設ケ
各官立學校毎ニ收入官吏ヲ区分シ納入告知書若シハ拂込書ニ據リ歳入額ノ欄ニ記

入シ退テ大藏大臣ヨリ仕拂元金へ組換ノ令達ヲ受ケタルトキ仕拂元金へ組換額ノ欄ニ記入スヘシ

第二十三條 官立學校歳出仕拂元金各廳内譯簿ハ第三號書式ニ準シ各年度毎ニ之レヲ設ケ各官立學校毎ニ仕拂命令官ヲ区分シ歳入ヨリ仕拂元金へ組換ノ令達ヲ受ケタルトキハ仕拂元金組換高ノ欄ニ記入シ退テ案内仕拂請求書ヲ受ケタルトキ案内仕拂請求書受領額ノ欄ニ仕拂請求書ニ據リ現金ヲ交付シタルトキ現金仕拂額ノ欄ニ記入スヘシ

第二十四條 支金庫ニ於テ官立學校歳入金各廳内譯簿官立學校歳出仕拂元金各廳内譯簿ニ據リ毎日第四號書式甲乙ニ準シ官立學校歳入金收支報告表官立學校歳出仕拂元金收支報告表ヲ調製シ本金庫ニ屬スル支金庫ニ在テハ其本金庫へ中央金庫ニ屬スル支金庫ニ在テハ中央金庫へ送付スヘシ

第二十五條 支金庫ニ於テ官立學校ノ歳入ヲ領收シ及官立學校歳出仕拂元金ノ出納ヲナシタルモノ、月計對照表調製方ハ第十一條ニ同シ但證明濟月計對照表ハ本金庫ニ屬スル支金庫ニ在テハ其本金庫へ中央金庫ニ屬スル支金庫ニ在テハ中央金庫へ差出スヘシ(書式略ス)

●各地金庫ニテ拂戻シタル保管金及即時拂戻シタル

預金證明方

明治二十三年五月
大藏省訓令第九十號

北海道廳 府縣

本年大藏省訓令第八十九號ニ由リ各地金庫ニ於テ拂戻シタル保管金及即時拂戻シタル預金ニ對シ其金庫ヨリ證明ヲ請フトキハ同訓令ノ書式通り證明スヘシ

●預金本局又ハ金庫ヨリ發シタル保管證書又ハ保管

金領收證書ニ對シ他ノ金庫ニ於テ拂戻チナストキ

取扱順序

明治二十三年五月
大藏省訓令第九十六號

金庫出納役

保管金ノ内預金本局又ハ金庫ヨリ發付シタル保管證書又ハ保管金領收證書ニ對シ他ノ金庫ニ於テ拂戻チナストキハ左ノ順序ニ據リ取扱フヘシ
一預金本局又ハ金庫ヨリ發シタル保管證書ヲ以テ他ノ金庫ヨリ拂戻チ受ケル爲メ取扱官廳ヨリ保管證書ニ事由書ヲ添ヘ當初拂込ミタル預金本局又ハ金庫へ差出シタルトキハ該證書ニ左ノ書式ノ如ク裏書チナス之ヲ返付シ同時ニ拂戻チナスヘキ金庫へ其拂戻ノ請求チナスヘキ取扱官廳名金額保管證書ノ記番號ヲ記入シタル書面

ヲ以テ通知スヘシ但證書扣ニ拂戻ヲナスヘキ金庫名及年月日ヲ記入シ金庫ニ於テハ事由書ヲ中央金庫ヲ經テ預金局ヘ送付スヘシ
(裏書書式)

表面金額何應ノ裏書證明ニ據リ拂戻スコトヲ何地何金庫ヘ通知セリ

預金局長氏名團

(又ハ何地何金庫)

- 一 前條ノ通知ヲ受ケタル金庫ニ於テ通知先ノ裏書及取扱官廳ノ裏書シタル保管證書ヲ以テ拂戻ノ請求ヲ受ケタルトキハ金額證書ノ記番號等ヲ通知書ニ照合シ其他ハ保管金受渡事務順序ニ據リ拂戻ヲナスヘシ
- 一 預金本局又ハ金庫ヨリ發シタル保管金領收證書ノ全部又ハ幾分ヲ他ノ金庫ヨリ拂戻ヲ受ケル爲メ取扱官廳ヨリ事由書ヲ當初拂込タル預金本局又ハ金庫ヘ差出シタルトキハ承諾ノ旨ヲ回答シ同時ニ拂戻ヲナスヘキ金庫ヘ其拂戻ノ請求ヲナスヘキ取扱官廳名金額領收證書ノ記番號ヲ記入シタル通知書ヲ送付スヘシ但證書扣ニ拂戻ヲナスヘキ金庫名及年月日ヲ記入シ金庫ニ於テハ事由書ヲ中央金庫ヲ經テ預金局ヘ送付スヘシ
- 一 前條ノ通知ヲ受ケタル金庫ニ於テ其拂戻金證明書ヲ以テ拂戻ノ請求ヲ受ケタルト

キハ領收證書ノ記番號及ヒ通知書ノ金額ニ超過セサルヤヲ照合シ其他ハ保管金受渡事務順序ニ據リ拂戻スヘシ

- 一 拂戻ヲナスヘキ金庫ニ於テハ取扱官廳ノ印鑑差出シナキモノハ之レヲ徵シ保管證書ノ裏書又ハ拂戻金證明書ノ印章ニ照合スヘシ

●金庫ヘ義務委託ヲ爲ストキ印鑑ニ付記方

明治二十三年六月
大藏省訓令第百一號

大藏省所管出納官吏

明治二十二年十月大藏省令第十三號出納官吏現金取扱規則第一章ニ據リ金庫ヘ義務委託ヲ爲ストキハ當該官吏印鑑ニ其所在地及義務委託ヲ爲スヘキ金庫名ヲ付記スヘシ

●現金受領ノ債主ヨリ金庫ヘ回送スル領收證書紛失

ノトキ代證書請求方
明治二十三年十月
大藏省訓令第百三十二號

會計主務官 金庫出納役

送金ヲ要スル仕拂命令及仕拂請求書ニ對シ金庫ヨリ現金送達ノ後ヲ債主ヨリ規定ノ領收證書ヲ金庫ニ向ケ回送ノ途中ニ紛失シタル場合ニ於テハ金庫ヨリ債主ニ向テ

更ニ適宜ノ領收證書ヲ請求シ之ヲ規定ノ領收證書ニ代用スルヲ得ル儀ト心得ヘシ

●行政裁判所ヨリ各金庫ヘ寄托スヘキ豫納金取扱方

明治二十三年十月
大藏省訓令第三百三十七號

金庫出納役

行政裁判所ヨリ各金庫ヘ寄托可相成豫納金ノ儀モ本年訓令第九十五號ニ據リ取扱フヘシ

●金庫ヲシテ大藏省預金局ノ保管ニ屬スヘキ金銭及

證券ノ取扱ヲナサシムルヲ得
明治二十三年十一月
勅令第二百七十三號

朕金庫ヲシテ大藏省預金局ノ保管ニ屬スヘキ金銭及證券ノ取扱ヲ爲サシムルノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

大藏大臣ハ各地金庫ヲシテ法律命令ニ依リ大藏省預金局ノ保管ニ屬スヘキ金銭及證券ノ取扱ヲ爲サシムルコトヲ得

●陸軍臨時召集旅費金庫支出取扱順序

明治二十三年十二月
大藏省訓令第五百十號

金庫出納役

陸軍臨時召集旅費金庫支出順序左ノ通心得フヘシ
陸軍臨時召集旅費金庫支出取扱順序

第一款 陸軍臨時召集旅費概算表

第一條 中央金庫ハ大藏省ヨリ毎年五月十一月ノ兩度ニ送付スル處ノ陸軍臨時召集旅費概算表ヲ得タルトキハ左ノ手續ヲナスヘシ

一中央金庫ニ於テハ陸軍臨時召集旅費支出概算金額書留簿(書式)ヲ備ヘ大藏省ヨリ送付スル處ノ概算表ニ依リ各金庫毎ニ區分登記スヘシ

但五月ニ送付セシ概算表ハ第二次即十一月ニ送付スル概算表ノ到著スル迄ハ有効ノ者トシ第二次ノ概算表到著スレハ第一次ノ概算表及書留簿ヲ無効トス

二中央金庫ニ於テ前項概算表ヲ帳簿ヘ登記シタルトキハ該表ヲ直チニ關係ノ各本金庫及中央金庫ニ屬スル支金庫ヘ送付スルモノトス(各本金庫ニ屬スル支金庫ノ分モ本金庫ヘ送付スヘシ)

第二條 各地本金庫ニ於テハ中央金庫ヨリ第一條第二項ノ陸軍臨時召集旅費概算表ノ送付ヲ受ケタルトキハ第一條第一項ニ準シ其取扱ヲナシ該概算表ハ各其支金庫

～送付スヘシ

第三條 各地支金庫ニ於テ第一條第二項第二條ニ據リ送付ヲ受ケタル陸軍臨時召集旅費概算表ハ第一條第一項ニ準シ其取扱ヲナスヘシ

第四條 各金庫ニ於テ第一條第二條第三條ニ依リ送付ヲ受ケタル陸軍臨時召集旅費概算表ノ金額ハ其期內ニ於ケル陸軍臨時召集旅費仕拂ノ豫令ト心得ヘシ

師團所在地外ノ本支金庫(仙臺名古屋大阪廣島熊本ノ五本金庫ニ於テハ第一條ノ陸軍臨時召集旅費概算表ノ金額ハ第八條ノ場合ニ於テ中央金庫若シハ師團所在地ノ金庫(名古屋大阪廣島熊本ノ五本金庫ヲ云フ以下皆同シ)ヨリ爲替拂ノ電報ヲ得タルトキハ該概算表ノ金額マテ直ニ該電報ノ差圖先キヘ仕拂フモノトス

第二款 陸軍臨時召集旅費仕拂豫算令達及現金支拂方

第五條 中央金庫ハ大藏省ヨリ送付スル處ノ陸軍臨時召集旅費仕拂豫算ノ令達ヲ受ケタルトキハ即刻金庫出納事務規程ニ據リ之レカ記帳ヲナシ各師團所在地ノ各本金庫ニテ支拂フモノハ該本金庫ヘ電信ヲ以テ傳達スヘシ

但本文發電後仕拂豫算令達本書ハ即刻郵便ニテ差立ツヘシ

第六條 師團所在地ノ各本金庫ニ於テハ第五條ノ仕拂豫算ノ電信令達ヲ受ケタルトキハ該電信ヲ仕拂豫算令達トシテ即刻金庫出納事務規程ニ據リ之レカ記帳スヘシ

第七條 中央金庫及師團所在地ノ各本金庫ニ於テ陸軍臨時召集旅費ノ仕拂命令ヲ受ケタルトキハ中央金庫及師團所在地ノ各本金庫ニテ直ニ仕拂ヲナスモノハ即刻仕拂ヲナスヘシ

師團所在地外ノ各本金庫及各支金庫ニテ支拂ヲ要スルモノハ直ニ其本支金庫ヘ電達シテ受取人ヘ爲替拂ヲナサシムヘシ(本文爲替拂ヲナス場合ニ限リ他ノ本支金庫ニ屬スル支金庫ヘシテ請求スヘシ)中央金庫及師團所在地ノ本支金庫ヨリ直接ニ電信ヲ以テ爲替

前項中央金庫及師團所在地ノ本支金庫ヨリ師團所在地外ノ本支金庫ヘ爲替拂ヲナス爲メ發スル電信ニハ支拂フヘキ金額受取ヘキ出納官吏ノ氏名若クハ送金セシムヘキモノナラハ其送金スヘキコト及出納官吏ノ住所地名番地共詳細ニ電報スヘシ但電報スヘキ事要大凡ソ左ノ如シ

事	由	金額	拂渡名宛
二十三年十二月大藏省訓令第百五十號陸軍臨時召集旅費	何回何拾何錢何厘		請求次第出納官吏何某ヘ仕拂フヘシ <small>(若送金スハキモノナラハ何郡區町村何番地出納官吏何某ヘ送金スヘシトスヘシ)</small>

第八條 師團所在地外ノ各本支金庫ハ第七條ノ陸軍臨時召集旅費爲替拂ノ電信ヲ受ケタルトキハ第二條及第三條ノ陸軍臨時召集旅費概算表ノ金額迄ハ即刻爲替拂ノ手續ヲ以テ現金ヲ拂出シ之レヲ指名ノ出納官吏ヘ交付シ之レカ領收證書ヲ徴スヘシ

但送金スヘキモノハ即刻別使ヲ以テ出納官吏ヘ送付スヘシ
 各支金庫ニ於テ前項ノ爲替拂ヲナシタルトキハ該金額ハ各其本屬ノ金庫ヘ送金ト
 シテ計算シ該出納官吏ノ領收證書ヲ其本屬金庫ヘ送付スヘシ
 各師團所在地外ノ各本金庫ハ各其本金庫ニテ直接ニ爲替拂ニナシタルモノ及其本
 金庫ニ屬スル支金庫ニテ爲替拂ニナシタルモノ、合金額ヲ爲替拂請求セシ中央金
 庫若シハ師團所在地ノ本金庫ヘ回金トシ拂出シノ計算ニ立テ出納官吏ノ領收證書
 ヲ爲替拂請求セシ金庫ヘ送付スヘシ
 但本文爲替拂ヲナシタル金額ノ計算方及出納報告等ハ總テ一般回送金ノ例ニ依
 リ陸軍臨時召集旅費ノ爲替拂ナル旨ヲ添記スルモノトス
 第九條 各金庫ニ於テ陸軍臨時召集旅費仕拂又ハ爲替拂ノ請求アルトキハ開庫時間
 ノ前後又ハ休暇日ト雖モ時刻ヲ違ヘス即刻仕拂又ハ爲替拂ヲナシ其送金スヘキモ
 ノハ之ヲ送金シ召集ニ差支ナキ様注意スヘシ
 第十條 各金庫ニ於テハ陸軍臨時演習召集旅費支出ノ取扱方モ第五條ヨリ第九條迄
 ノ手續ニ準據スルモノト心得フヘシ

○保管金

●保管金規則

明治二十三年一月 法律第一號

朕保管金規則ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

保管金規則

第一條 法律勅令又ハ從來ノ規則ニ依リ政府ニ於テ保管スル公有金私有金ハ左ノ計
 算法ニ從ヒ滿三十年ヲ過キテ拂戻ノ請求ナキトキハ政府ノ所得トス
 但別ニ法律ヲ以テ失權ノ期限ヲ定メタルモノハ各其定ムル所ニ依ル
 第一 保管義務解除ノ期アルモノハ其義務ヲ解除シタル翌日ヨリ起算ス
 第二 保管義務解除ノ期ナキモノハ保管ノ翌日ヨリ起算ス
 第三 訴訟事件ノ爲ニ拂戻ヲ請求スル能ハサル場合ニ於テハ裁判確定ノ翌日ヨ
 リ起算ス
 第二條 保管金ハ法律勅令又ハ從來ノ規則若シハ契約ニ依ルノ外利子ヲ付セス
 第三條 保管金ノ證書ハ賣買讓與又ハ書入質入スルコトヲ得ス
 第四條 保管金ノ受渡ニ屬スル證書ハ證券印税ヲ納ムルニ及ハス

●保管金取扱規程

明治二十三年三月 大藏省令第八號

本年勅令第二號ニ依リ預金局ニ寄托スル保管金取扱規程左ノ通知定ム

保管金取扱規程

- 第一條 明治二十三年勅令第二號ニ依リ預金局ニ寄托スル保管金ハ此規程ニ依テ取扱フモノトス但從來預金局ニ寄托シタルモノハ當分ノ内從前ノ取扱ニ依ル
- 第二條 保管金ノ受渡ハ東京市内ニ於テハ預金本局其他ハ各地本金庫又ハ支金庫ニ於テ取扱フモノトス
- 第三條 保管金ハ權利者ヨリ現金ヲ拂込ムモノト各廳ヨリ拂込ムモノトノ二種ニ分テ之ヲ取扱フモノトス
- 第四條 權利者ヨリ現金ヲ拂込ムトキハ總テ取扱官廳ヨリ寄托通知書ヲ得テ之ニ現金ヲ添ヘ預金本局又ハ各地ノ金庫ニ差出スヘシ但出納官吏身元保證金ヲ拂込ムトキハ寄托通知書ヲ要セス
- 第五條 取扱官廳ハ權利者ヲシテ現金ヲ拂込マシムルトキハ第一號書式ニ依リ寄托通知書ヲ製シテ之ヲ權利者ニ交付スヘシ
- 第六條 預金本局又ハ各地ノ金庫ハ第四條ノ拂込ヲ受ルトキハ第二號書式ノ保管證書ヲ製シテ之ヲ權利者ニ交付スヘシ

●保管金取扱規程改正ニ由リ仕拂請求ノトキ取扱方
 明治二十三年六月
 大藏省勅令第百號
 本大藏省令第十號
 五號ヲ以テ保管金
 取扱規程中改正ニ
 由リ權利者ヨリ保
 管金ヲ拂込ムニシ
 タルニキハ該請求
 書ニ其仕拂請求ヲ
 明記シテ之ヲ添ヘ
 預金本局又ハ各地
 ノ金庫ニ差出スヘ
 シ但從來預金局ニ
 寄托シタルモノハ
 當分ノ内從前ノ取
 扱ニ依ル

- 第七條 各廳ヨリ現金ヲ拂込ムトキハ主任官吏ニ於テ第三號書式ニ依リ保管金送付書ヲ製シ現金ト共ニ之ヲ預金本局又ハ各地ノ金庫ニ送付スヘシ
- 第八條 預金本局又ハ各地ノ金庫ハ前條ノ拂込ヲ受ルトキハ第四號書式ノ保管金額收證書ヲ製シテ之ヲ拂込官吏ニ交付スヘシ
- 第九條 本規程第五條第七條ニ據リ寄托通知書又ハ保管金送付書ヲ發スルモノハ豫メ取扱官廳ヨリ廳印及取扱主任官吏印ノ印鑑ヲ預金本局又ハ各地金庫ヘ送付スヘシ
- 應印ノ改正又ハ主任官吏ノ變更改印ノトキハ廳印又ハ主任官吏印ノ印鑑ヲ預金本局並ニ取扱金庫ヘ送付スヘシ
- 第十條 權利者ニ於テ其拂込タル保管金ノ拂戻ヲ請求セントスルトキハ取扱官廳ノ裏書ヲナシタル保管證書ヲ得テ之ヲ預金本局又ハ當初拂込チナシタル金庫ニ差出スヘシ
- 第十一條 取扱官廳ハ保管金ノ拂戻ヲ要スルトキハ保管證書ニ第五號書式ノ如ク裏書ヲナシ之ヲ權利者ニ交付スヘシ
- 第十二條 取扱官廳ハ保管金ノ政府ノ所得ニ歸シタル場合ニ於テハ保管證書ノ裏面ニ其事由ヲ記載シ收入官吏ヲシテ一般歳入トシテ之ヲ金庫ニ拂込マシムヘシ

第十三條 保管金領收證書ヲ發シタル保管金ニシテ失權ノ期限ニ至ルトキハ預金局ニ於テ一般歲入トシテ納付ノ手續ヲナシ其旨ヲ保管金ヲ寄託シタル官廳へ通知ス

第十四條 取扱官廳ハ保管金ノ幾分ヲ歲入トナシ其幾分ヲ權利者ニ拂戻スコトヲ要スルトキハ保管證書ニ事由書ヲ付シ保管證書ノ分割ヲ當初拂込ヲナシタル預金本局又ハ各地ノ金庫ニ請求スヘシ

第十五條 預金本局又ハ各地ノ金庫ハ前條ノ請求ヲ受ルトキハ新ニ二葉ノ保管證書ヲ製シテ舊保管證書ト交換スヘシ

第十六條 預金本局又ハ各地ノ金庫ニ於テ權利者ヨリ保管金拂戻ノ請求ヲ受ルトキハ保管證書ト引換ニ其金員ヲ權利者ニ交付スヘシ

第十七條 各屬ヨリ數人ノ權利者ニ屬スル保管金ヲ取纏メテ拂込ムトキハ保管金送付書ニ各權利者ノ金額氏名及期滿失効ノ年月日ヲ記シタル別紙ヲ添付スヘシ但權利者ノ不明ナルモノハ其旨ヲ保管金送付書ニ記入スヘシ

第十八條 權利者ニ於テ各官廳ヨリ拂込タル保管金ノ拂戻ヲ受ントスルトキハ其事由ヲ具シテ其取扱官廳ニ申出ヘシ取扱官廳ハ之ヲ調査シテ拂戻スヘキ理由アリト

●保管金取扱規程第二十一條
 中改正
 明治二十三年六月
 大藏省令第十五號
 本號
 本年大藏省令第八號
 改
 本號
 本年大藏省令第八號
 改
 本號
 本年大藏省令第八號
 改
 本號
 本年大藏省令第八號
 改

スルトキハ第六號書式ノ拂戻金證明書ヲ權利者ニ交付スヘシ
 權利者ハ拂戻金證明書裏面ニ式ノ如ク記名捺印シ之ヲ預金本局又ハ當初其官廳ヨリ拂込タル金庫ニ差出シテ其拂戻ヲ受ルヘシ

第十九條 預金本局又ハ各地ノ金庫ハ權利者ヨリ前條ノ請求ヲ受ルトキハ取扱官廳及主任官吏ノ印影ニ照合シ相違ナキモノハ領收證書ト引換ニ其金員ヲ權利者ニ交付スヘシ

第二十條 保管金ノ利子ハ毎年六月十二月ノ二期ニ分チ之ヲ計算スヘシ

第二十一條 保管金ノ利子ハ毎年七月一月預金局ニ於テ各權利者毎ニ第七號書式ノ保管金利子證券ヲ製シ取扱官廳へ送付スヘシ
 取扱官廳ニ於テ前項ノ證券ヲ受取タルトキハ取扱主任官吏ニ於テ式ノ如ク檢印シ之ヲ權利者ニ交付スヘシ

權利者ニ於テ保管金利子證券ヲ受取タルトキハ之ヲ以テ利子仕拂ヲ保管金利子證券ニ記載アル日本銀行本支店又ハ其代理店ニ請求スヘシ

第二十二條 日本銀行本支店又ハ其代理店ハ前條ノ保管金利子證券ト引換ニ現金ヲ仕拂フヘシ

第二十三條 保管證書ヲ亡失シタルトキ第十一條ノ裏書ヲナサ、ルモノハ再渡シ其

裏書ヲナシタルモノハ再渡セズ取扱官應ヨリ裏書同様ノ證明ヲ得尙保證人ヲ立テ
 シメ保管金ヲ拂戻スヘシ
 保管證書ヲ汚染毀傷シ證書ノ要點ヲ見認メ難キニ至リタルモノハ前項ニ準シテ證
 書ノ交換又ハ保管金ノ拂戻ヲナスヘシ

「第一號書式(寄託通知書)」

寄託通知書

「」ノ内及印章ハ執モ朱

府縣郡市町村番地

何 某

一金何圓也
 保管金ノ事由 「(何々工事受負身元保證金等)」

利率
 期限

右保管ノ爲メ納付セシメ候也

年 月 日

何 廳印

取扱主任

官氏名印

預金局長氏名殿

「(各地ナラハ何地何金庫)」

「第二號書式(保管證書)」

第何號

保管證書何年何月何日 (分割ノトキノ例)

第何號金何圓ノ内分割

何年何月何日第何號金何圓ノ (亡失又ハ汚染毀傷)

保管證書亡失(又ハ汚染毀傷)ニ付再渡(ハトキ再渡ノ例)

一金何圓也

府縣郡市町村番地

何 某

取扱官廳

保管金ノ事由

利率

期限

寄託年月日

拂戻年月日

印 割

第何號

保管證書

此證書ハ發賣譲與又ハ
書入質入スルヲ得ス

一金何圓也

取扱官廳

保管金ノ事由

利率

期限

右保管候也

年 月 日

何 某 殿

預金局長氏名

印

〔各地ハ何地何金庫〕

〔第三號書式(保管金送附書)〕

保管金送附書

一金何圓也

保管金ノ事由

權利者ノ氏名

〔數人ノ權利者ニ屬シ別紙ニ認ムルトキハ其旨記載スヘシ〕

期滿失効ノ年月日

右保管ノ爲メ及送附候也

年 月 日

何

應 印

取扱主任

官 氏 名

印

預金局長氏名殿

〔各地ナラハ何地何金庫〕

〔第四號書式(保管金領收證書)〕

第何號

一金何圓也

保管金ノ事由

權利者ノ住所氏名

期滿失効ノ年月日

領收ノ年月日

何 廳

官 氏 名

〔別紙ニ數人ノ氏名ヲ記ス
ルモノハ其旨認ムヘシ〕

割印

第何號

保管金領收證

一金何圓也

保管金ノ事由

期滿失効ノ年月日

右領收候也

年月日

預金局長氏名 印

〔各地ナラハ何地何金庫〕

何 官 氏 名 殿

〔第五號書式(保管證書表書)〕

表書金額何々ニ付府縣郡市町村番地某ニ於テ拂戻シテ受クヘキ事ヲ證ス

年月日

何 應 印

取扱主任

官 氏 名 印

〔第六號書式(拂戻金證明書)〕

拂戻金證明書

預金本局(又ハ何地)

(何金庫)

保管金領收證書

第何號

一金何圓也

保管金ノ事由

保管金領收證書ノ年月日

利率

前書ノ金額何々ニ付府縣郡市町村番地某ニ於テ拂戻シテ受クヘキ事ヲ證ス

年月日

何 應 印

取扱主任

官 氏 名 印

「裏書領收證式」
表書金額正ニ領收候也

年月日

「第七號書式(保管金利息證券)」

府縣郡市町村番地

氏名印

保管金利息證券

第 號

一金
利 子
取 扱 官 廳
權 利 者
現金仕拂場所
明治何年何月ヨリ 明治何年何月迄 何箇月分

「裏書式」
表書之金額正ニ領收候也

保管金利息證券

第 號

一金
利 子
取 扱 官 廳
權 利 者
現金仕拂場所
明治何年何月ヨリ 明治何年何月迄 何箇月分

右之利子此證券引換ニ現金可相渡候也

年 月 日

大藏省預金局長氏名

取扱主任官 氏 名 印

年月日

權利者

氏

名

印

●保管金取扱規程中拂戻證明書へ捺印セシムル場合

明治二十三年五月
大藏省訓令第九十四號

金庫出納役

本年大藏省令第八號保管金取扱規程第六號書式ノ拂戻證明書へハ權利者裏書調印ノ上拂戻ヲ受クヘキ成規ノ處在監人放免ノモノ印形所持セサルトキ取扱官廳ヨリ印形所持セサルノ證明書ヲ以拂戻ノ請求ヲ受クルトキハ本人ノ捺印ヲ捺捺セシメ拂戻ヲナスヘシ

●保管金取扱規程ニ據リ寄托ノ書類調印方

明治二十三年四月
大藏省訓令第五十六號

金庫出納役

保管金取扱規程ニ據リ寄托ニ關スル書類ニハ官廳ノ應印ヲ捺捺スル成規ニ候處應印ヲ置カサル官廳ニ於テハ其取扱應首席ノ官吏調印候條此旨心得ヘシ

●政府ニテ保管ノ義務ヲ有スル公有私有金寄托方

明治二十三年一月
勅令第二號

朕政府ニ於テ保管ノ義務ヲ有スル公有私有金ニ關スルノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
預金規則ニ定メタルモノ、外法律勅令又ハ從來ノ規則ニ依リ政府ニ於テ保管金ノ義務ヲ有スル公有私有金ハ總テ大藏省預金局ニ寄托スヘシ
法律勅令又ハ從來ノ規則ニ依ルノ外政府ハ公有私有金ヲ保管セス

●保管金受渡事務順序

明治二十三年三月
大藏省訓令第四十四號

金庫出納役

保管金受渡事務順序左ノ通相定メ本年四月一日ヨリ施行ス
保管金受渡事務順序

第一條 明治二十三年勅令第二號ニ依リ預金局ニ寄托スル保管金ハ各地本支金庫ニ於テ此順序ニ據リ取扱フヘシ

第二條 取扱官廳ノ寄托通知書(第一)出納官吏身元保ヲ以テ權利者ヨリ直チニ保管金ヲ寄托スルトキハ其現金ヲ領收シ保管證書(第二)ニ金員番記號等式ノ如ク記載調印

シ之ヲ交附スヘシ

第三條 各官廳ヨリ保管金送附書(書式第三)ヲ以テ保管金ヲ寄托スルトキハ其現金ヲ領收シ保管金領收證書(書式第四)ニ金員番記號等式ノ如ク記載調印シ之ヲ交附スヘシ

第四條 各官廳ヨリ保管金ヲ寄托スルニ由リ其官廳及取扱主任官吏ノ印鑑ヲ差出シタルトキハ爾後受渡ノ照合ニ供置スヘシ

第五條 寄托通知書及送附書ニハ受入濟年月日金庫各保管證書又ハ領收證書ノ番記號ヲ記入シ且數人ノ權理者ニ屬スル保管金ヲ取纏メテ寄托シタル分ニ係ル別紙アルトキハ之ヲ添へ中央金庫ヲ經テ預金局へ送致スヘシ

第六條 權理者ヨリ取扱官廳ノ裏書(書式第五)ヲシタル保管證書ヲ以テ拂戻ヲ要セハ其裏書ノ印章ヲ印鑑帳ニ照合シ相違ナキヲ認メ之レト引替ニ現金ヲ拂渡スヘシ但

其證書及證書扣ニ拂渡濟年月日ヲ記入スヘシ
第七條 各官廳ヨリ寄托シタル保管金ニシテ其官廳ノ拂戻金證明書(書式第六)ニ權利者ノ裏書ヲナシタルモノヲ以テ拂戻ヲ要セハ其證明書ノ印章ヲ印鑑帳ニ照合シ相違ナキヲ認メ之レト引替ニ現金ヲ拂渡スヘシ但證明書ニハ渡濟年月日ヲ記入シ置クヘシ

第八條 各官廳ノ收入官吏ヨリ取扱官廳ノ裏書ヲシタル保管證書ヲ以テ一般歳入

トシテ納入シタルトキハ預金ノ拂戻ニダテ歳入ノ手續ヲナスヘシ

第九條 取扱官廳ヨリ保管證書ニ事由書ヲ添へ該證書ノ分割ヲ要セハ新ニ保管證書ニ通テ調製シ舊證書ト引替フヘシ但シ舊證書及證書扣ニ引替濟年月日ヲ記入シ其事由書ニハ引替濟年月日金庫名保管證書ノ新番番記號ヲ記入シ之ヲ中央金庫ヲ經テ預金局へ送附スヘシ

第十條 取扱官廳ノ裏書ヲナサハル保管證書ヲ亡失シタルニヨリ更ニ證書ノ下渡シヲ請フトキハ其事由ヲ詳記セル書面ヲ差出サセ事實相違ナキヲ認メ新ニ保管證書ヲ製シ之レニ再渡ノ印章ヲ捺シ交附スヘシ但舊證書扣ニハ亡失ノ旨記載シ且再渡ノ年月日ヲ記入シ其書面ニハ再渡濟ノ年月日金庫名保管證書ノ新番番記號ヲ記入シ之ヲ中央金庫ヲ經テ預金局へ送附スヘシ

第十一條 取扱官廳ノ裏書ヲシタル保管證書ヲ亡失シタルニ由リ保證人ノ調印シタル本人ノ事由書ニ取扱官廳ノ證明書ヲ添へ指出セハ其證明書ノ印章ヲ印鑑帳ニ照合シ相違ナキヲ見認メ之レト引替ニ現金ヲ拂渡スヘシ但證書扣ニ亡失ノ旨記載シ且渡濟年月日ヲ記入シ其事由書ニハ渡濟年月日金庫名保管證書ノ番記號ヲ記入シ之ヲ中央金庫ヲ經テ預金局へ送附スヘシ

第十二條 保管證書ヲ汚染毀傷シ其要點ヲ見認メ難キニ至リタルモノハ第十條第十

何地何金庫

「第二書式(保管證書)」

第何號

保管證書何年何月何日(分割ノトキノ例)
 第何號金何圓ノ内分割
 何年何月何日第何號金何圓ノ
 保管證書亡失(又ハ汚染毀傷)ニ付再渡(ノトキ再渡ノ例) 府縣郡市町村番地
 一金何程也

取扱官廳
 保管金ノ事由
 利率
 期限

寄托年月日	
拂戻年月日	

第何號

保管證書

此證書ハ賣買讓與又ハ
 借入質入スルヲ得ス

何 某

何地何金庫印

「第二書式(保管金送附書)」

右保管候也

年月日

何 某 殿

保管金送附書

一金何程也

保管金ノ事由
 権利者ノ氏名(數人ノ權利者ニ屬シ別紙ニ認ムルトキハ其旨記載スヘシ)
 期滿失効ノ年月日

保管證書何年何月何日(分割ノトキノ例)
 第何號金何圓ノ内分割
 何年何月何日第何號金何圓ノ保
 管證書亡失(又ハ汚染毀傷)ニ付再渡(ノトキ再渡ノ例)

一金何程也

取扱官廳
 保管金ノ事由
 利率
 期限

<p>右保管ノ爲メ及送附候也</p> <p>年月日</p> <p>何應印</p> <p>取扱主任 官氏名印</p> <p>何地何金庫</p>	
<p>「第四書式(保管金領收證書)」</p>	
<p>第何號</p> <p>一金何程也</p> <p>保管金ノ事由</p> <p>權利者ノ住所氏名(別紙ニ數人ノ氏名ヲ記スルモノハ其旨認ムヘシ)</p> <p>期滿失効ノ年月日</p> <p>領收ノ年月日</p>	<p>何應</p> <p>官氏名</p>
<p>第何號</p> <p>保管金領收證</p>	<p>割</p> <p>印</p>

<p>一金何程也</p> <p>保管金ノ事由</p> <p>期滿失効ノ年月日</p> <p>右領收候也</p> <p>年月日</p> <p>何應</p> <p>官氏名殿</p> <p>何地何金庫</p> <p>何應印</p>	
<p>「第五書式(保管證書裏書)」</p>	
<p>表書金額何々ニ付府縣郡市町村番地某ニ於テ拂戻シテ受クヘキ事ヲ</p> <p>證ス</p> <p>年月日</p> <p>何應印</p> <p>取扱主任 官氏名印</p>	
<p>「第六書式(拂戻金證明書)」</p>	

拂戻金證明書

何地何金庫
保管金領收證書
第何號

一金何程也

保管金ノ事由

保管金領收證書ノ年月日

利率

前書ノ金額何々ニ付府縣郡市町村番地某ニ於テ拂戻シテ受クヘキ事
ヲ證ス

年月日

何應印

取扱主任

官氏名印

● 寄托金庫ヲ同クスル甲乙兩廳間ニテ保管金ノ移送ヲ

要スルトキ預金局ヘ届出方

明治二十三年十月
大藏省訓令第三百三十八號

金庫出納役

甲廳ヨリ寄托シタル保管金ヲ其甲廳所在地ノ乙廳ヘ移送ヲ要スルトキ寄托金庫ヲ同

シクスルモノハ甲廳ノ通知書及乙廳ヨリ成規ノ印鑑送付ヲ得テ寄托官廳移轉ノ旨ヲ
證書原符ニ記入シ乙廳ノ寄托トナシ其旨預金局ヘ届出ツヘシ

● 小林區署及派出所々屬ノ財産保管及責任

明治二十三年九月
農商務省訓令第五十三號

大林區署

小林區署及派出所所屬ノ財産^{家屋等}ハ其署所官舎居住官吏保管ノ責ニ任スヘシ但其
責任ハ事務授受ノ日ヲ以テ終始ス

○ 身元保證金

● 出納官吏身元保證金ノ件

明治二十三年一月
勅令第四號

朕出納官吏身元保證金ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 左ノ出納官吏ニシテ其取扱金額一箇年五百圓以上又ハ常時保管スル物品ノ
價格千圓以上ニ達スルモノハ身元保證金ヲ納ムヘシ

第一 現金ノ領收ヲ常職トスル官吏

第二 常時現金前渡ヲ受クル官吏

第三 物品會計官吏

第二條 身元保證金ハ就職ノ時納付スヘキモノトス但現ニ明治二十三年四月一日ニ在職セル出納官吏ニ限リ明治二十三年四月以後明治二十八年三月マテ五箇年間ヲ期シ其身元保證金額ヲ平分シ毎年四期又ハ毎月ニ之ヲ納付セシムヘシ
前項明治二十三年四月一日ニ在職セル出納官吏ニシテ土地若クハ公債證書ヲ以テ身元保證金ニ代用セントスル者ハ明治二十三年九月マテニ一時ニ納付セシムヘシ

第三條 身元保證金ニ代用セントスル公債證書ハ有利足ノモノヲ以テシ其價格ハ明治二十三年三月中東京取引所平均ノ相場ニ依リ爾後五箇年毎ニ其年三月中ノ同所平均相場ニ依リ其價格ヲ改定スヘシ但明治二十三年三月以後新ニ發行シタル公債證書ノ價格ハ身元保證金納付前月ノ東京取引所ノ平均相場ニ依リ爾後本條ノ期限ト同時ニ其價格ヲ改定スヘシ

第四條 身元保證金ニ代用セントスル土地ノ價格ハ總テ土地臺帳ニ登記ノ價格ニ依ルヘシ
第五條 會計規則第一百五條第二項ニ依リ身元保證金ニ代用シタル公債證書若クハ土

地ヲ公賣スルトキ其公賣公告入費ハ損失金ノ辨償ヲ命セラレタル出納官吏ヲシテ辨償セシムヘシ

第六條 出納官吏ノ身元保證金納入拂戻等ニ關スル取扱規則ハ大藏大臣ノ定ムル所ニ依ル

● 出納官吏身元保證金取扱規則

明治二十三年一月 大藏省令第二號

本年勅令第四號第六條ニ依リ出納官吏身元保證金取扱規則左ノ通り相定ム

出納官吏身元保證金取扱規則

第一條 出納官吏會計規則第三百三條ニ依リ現金ヲ以テ身元保證金ヲ納付セントスルトキハ其現金ヲ預金局預金ノ取扱所ニ預ケ入レ其保管證書ヲ得之ニ納付書ヲ添ヘ各省大臣ヲ經由シテ大藏大臣ニ納付スヘシ

第二條 出納官吏會計規則第三百三條但書ニ依リ土地ヲ以テ現金ニ代用セントスルトキハ各省大臣定ムル所ノ規程ニ依リ認可ヲ得タル後土地ノ所在地價格及登記ヲ受ケントスル日限ヲ記シタル請求書ニ通シ製シ各省大臣ヲ經由シテ大藏大臣ニ送付スヘシ

第三條 大藏大臣ハ前條ノ申出ニ依リ登記日限ヲ定メ土地所在地ノ北海道廳長官府

縣知事ニ命シ登記法第二十一條ノ手續ヲ代理セシムヘシ

第四條 北海道廳長官府縣知事ハ土地ノ登記ヲ了シタルトキハ其書入證書ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第五條 出納官吏會計規則第百三條但書ニ依リ現金ニ代用スル公債證書ハ記名トシ利札付ノマ、之ヲ金庫ニ預ケ入レ其保管證書ヲ得之ニ書入證書ヲ添ヘ各省大臣ヲ經由シテ大藏大臣ニ納付スヘシ

第六條 大藏大臣ハ前四條ニ依リ身元保證金ノ納付済トナリタルトキ其納付済證書ヲ製シ各省大臣ヲ經テ之ヲ出納官吏ニ交付スヘシ但シ明治二十三年勅令第四號第二條但書ノ場合ニ於テ大藏大臣ハ納付ノ都度其假納付證書ヲ交付シ完納ニ至テ納付済證書ト交換スヘシ

第七條 明治二十三年勅令第四號第二條但書ニ據リ身元保證金ヲ納付スルモノハ本年二月末日マテニ四期納付又ハ毎月納付ノ一ヲ選ミ各省大臣ヘ願出ツヘシ各省大臣ハ前項ノ情願ヲ認可シタルモノヲ取纏メ本年三月十五日マテニ之ヲ大藏大臣ニ通知スルモノトス

第八條 明治二十三年勅令第四號第二條但書ニ據リ身元保證金ヲ納付スルモノハ左ノ期限ニ依ル

四期納付ノ分

第一期 六月末日マテ

第二期 九月末日マテ

第三期 十二月末日マテ

第四期 三月末日マテ

毎月納付ノ分

毎月末日マテ

第九條 出納官吏土地若クハ公債證書ヲ以テ現金ニ代用シタル場合ニ於テ明治二十三年勅令第四號第三條及ヒ第四條ノ計算ニ依リ身元保證金額ニ對シ過剩ヲ生スルコトアルモ其儘納付スルハ妨ケナシ

第十條 出納官吏公債證書ヲ以テ身元保證金ニ代用シタル場合ニ於テハ其利子渡期ニ至リ前ニ公債證書ヲ預入タル金庫ニ於テ其利札ヲ受取ルヘシ

第十一條 會計規則第百十條ニ依リ身元保證金ノ拂戻ヲ要スルトキハ出納官吏ハ各省大臣ヲ經由シテ責任解除ヲ得タルコトヲ大藏大臣ニ證明シ身元保證金ノ拂戻ヲ請求スヘシ

第十二條 身元保證金ヲ拂戻ストキ現金及公債證書ハ大藏大臣ヨリ各省大臣ヲ經由シテ

保管證書又ハ書入證書ヲ出納官吏ニ返付スヘシ又土地ハ大藏大臣其書入證書ヲ北海道廳長官府縣知事ニ送付シ書入ノ解除ヲナス爲メ登記法第二十三條ノ手續ヲ代理セシメ書入證書ヲ出納官吏ニ返付セシムヘシ

前項保管證書又ハ書入證書ハ身元保證金ノ納付済證ト引換ニ之ヲ出納官吏ニ交付スヘシ

第十三條 前條ニ依リ北海道廳長官府縣知事ニ於テ土地書入解除ノ手續ヲ了シタルトキハ其旨大藏大臣ニ届出テ大藏大臣ハ其旨ヲ各省大臣ニ通知スヘシ

第十四條 會計規則第百五條ニ依リ出納官吏ノ身元保證金ヲ以テ損失金ノ辨償ニ充テントスルトキハ各省大臣ヨリ會計検査院判決書ノ寫ヲ添ヘテ其旨ヲ大藏大臣ニ照會スルモノトス

前項ノ場合ニ於テ大藏大臣ハ直ニ各省大臣ノ照會ニ應シ出納官吏ノ身元保證金(土地公債證書ハ公賣ノ後)ヨリ損失金ノ辨償ニ充ツヘキ金額ヲ差引シ其旨各省大臣及ヒ出納官吏ニ通知スヘシ

第十五條 大藏大臣ハ會計規則第百五條第二項ノ場合ニ於テ土地公債證書ヲ公賣シタルトキハ同時ニ出納官吏ニ向テ公賣公告入費ノ辨償ヲ命スヘシ

第十六條 會計規則第百五條第三項及ヒ第百六條ノ場合ニ於テ各省大臣ハ直ニ其辨

償追徴ノ手續ヲ履行シ其始末ヲ大藏大臣ニ通知スルモノトス

第十七條 會計規則第百八條ニ依リ各省大臣身元保證金ノ追納期限ヲ指定シタルトキ及ヒ會計規則第百九條第一項ニ依リ身元保證金ノ増納ヲ要スルトキハ各省大臣ヨリ其追納期限及ヒ増納期限起算日ヲ大藏大臣ニ通知スルモノトス

●出納官吏身元保證金取扱規則第七條期日延期

明治二十三年四月
大藏省令第十一號

本年當省令第二號出納官吏身元保證金取扱規則第七條第一項ノ期日ハ本年五月十五日迄同條第二項ノ期日ハ本年五月三十一日迄延期ス

●保管金取扱規程ニ據リ身元保證金ヲ寄托スルトキ拂

込書書式 明治二十三年三月
大藏省訓令第四十五號

出納官吏

本年大藏省令第八號保管金取扱規程ニ據リ身元保證金ヲ寄托スルトキハ現金ニ左ノ書式ノ拂込書ヲ添ヘ拂込ムヘシ

甲號書式(一時納ノ分)

「備考」(書式中何々トアルハ大藏省訓令第三十六號ノ備考ニ同シ)

拂込書

一金何程

右何々ヲ取扱フ爲メ身元保證金トシテ前書金額拂込候也

年月日

官氏名印

預金局長氏名殿(各地ハ何地何金庫)

乙號書式(分納ノ分)

拂込書

一金何程

右何々ヲ取扱フ爲メ身元保證金全額何圓ノ内前書金額拂込候也

年月日

官氏名印

預金局長氏名殿(各地ハ何地何金庫)

● 出納官吏身元保證金納付方

明治二十三年六月
大藏省訓令第百八號

出納官吏

現金領收、現金前渡、物品會計等ノ數職ヲ兼ヌル出納官吏身元保證金ハ各種類毎ニ區

別シ納付スヘシ

二人以上連帶責任ノ出納官吏ノ身元保證金ハ各其納金額ヲ各自ニ區別シ納付スヘシ
但シ納付書ニ何ノ誰連帶ノ旨ヲ附記スルモノトス

四期納ノモノ其納付金ヲ一回若シハ二回ニ前納シ毎月納ノモノ數箇月分ヲ併セテ前納シ又ハ納付殘額ヲ一時ニ皆納スルハ妨ケナシ此等ノ場合ニ於テハ納付書ニ其旨ヲ附記スルモノトス

● 出納官吏ノ身元保證金過誤納等ニ依リ拂戻ヲ要スル

トキ取扱方

明治二十三年十一月
大藏省訓令第百四十四號

北海道廳 府 縣

出納官吏、金庫出納役

出納官吏身元保證金ヲ預金本局又ハ各地金庫へ拂込ミ未タ其保證書ヲ主管廳ニ納付セサル前過誤納等ニ據リ拂戻ヲ要スル場合ニ於テモ保管金取扱規程第十條及第十一條ニ據リ取扱候儀ト心得ヘシ

● 出納官吏身元保證金ノ代用トシテ記名公債證書ヲ金

庫へ保管預ケ入レノ請求ヲナスモノアルトキ預リ順

序

明治二十三年二月
大藏省訓令第十六號

金庫出納役

明治二十三年一月大藏省令第二號出納官吏身元保證金取扱規則ニ據リ出納官吏ヨリ身元保證金ノ代用トシテ記名公債證書ヲ金庫へ保管預ケ入レノ請求ヲナスモノアルトキハ各金庫ニ於テ左ノ順序ニ據リ之レヲ保管預リニナスヘシ

第一條 出納官吏ヨリ身元保證金代用ノ爲メ金庫へ記名公債證書ヲ保管預ケヲナストキ(預ケ入ヘキ公債證書ノ種類番記號書ヲ)金庫ハ之レヲ領收記帳シ第一號書式ノ保管證書ヲ調製シ其甲號ハ公債證書ヲ預ケ入レタル出納官吏へ交付シ其乙號證書ハ第二條ノ順序ニ據リ大藏省へ送付スヘシ

第二條 中央金庫ニ於テ保管預リヲナシタル乙號保管證書ハ直ニ之レヲ大藏省へ差出スヘシ

中央金庫ニ屬スル支金庫ニ於テ保管預リヲナシタル乙號保管證書ハ之レヲ中央金庫へ送付シ中央金庫ハ之レヲ記帳シ該證書ヘ式ノ如ク捺印シテ之レヲ大藏省へ差出スヘシ

各本金庫ニ於テ保管預リヲナシタル乙號保管證書ハ之レヲ中央金庫へ送付シ中央金

庫ハ之レヲ記帳シ該證書ヘ式ノ如ク捺印シテ之レヲ大藏省へ差出スヘシ

各本金庫ニ屬スル支金庫ニ於テ保管預リヲナシタル乙號保管證書ハ之レヲ本庫ノ本金庫へ送付シ其本金庫ハ之レヲ記帳シ式ノ如ク捺印シ中央金庫へ送付スヘシ中央金庫ハ之レヲ記帳シ式ノ如ク捺印シテ大藏省へ差出スヘシ

第三條 第一條ニ據リ各金庫へ保管預リニセシ公債證書ノ利札ハ其利子渡期限ニ於テ出納官吏ノ請求アルトキハ各金庫ニ於テ之レヲ裁斷シ出納官吏ニ交付シ第二號書式ノ領收證書ヲ徴スヘシ

第四條 各金庫ニ於テ保管預リニセシ公債證書ヲ拂戻ストキハ乙號保管證書ニ裏書ヲナシ之レヲ大藏省ヨリ金庫へ返付ス但本金庫又ハ支金庫ヨリ發シタル保管證書ハ中央金庫本金庫ヲ經テ之レヲ返付スヘシ

前項ニ據リ大藏省ヨリ返付セラレタル乙號保管證書ト拂戻シヲ受クヘキ出納官吏ヨリ差出ス處ノ甲號保管證書ト對照ノ上公債證書ヲ返付スヘシ

第五條 各金庫ニ於テハ公債證書保管預リ書留簿(書式)ヲ設ケ其受拂ヲ記入スヘシ

第一號書式	「用紙適宜」 <small>「縦四寸五分ノモノ二枚 横四寸五分ノモノ一枚 横三寸八分ノモノ一枚 接續」</small>
第 一 何	號 出納官吏身元 某處出納官吏官氏名
	保 證 保 符 證 書

原	
一七歩利付公債證書額面「何程」	主印
一六歩利付公債證書額面「何程」	主印
一五歩利付公債證書額面「何程」	主印
「何々」	
「何々」	
「何々」	
明治「何」年「何」月「何」日	
金庫	
割印	

保

保	
甲 第「何」 號 「出納官吏身元保證保管證書」	
一七歩利付公債證書額面「何程」	主印
一六歩利付公債證書額面「何程」	主印
一五歩利付公債證書額面「何程」	主印
「何々」	
「何々」	
「何々」	
右ハ身元保證金代用ノ爲メ正ニ預リ保管候也	

管	
明治「何年」何「月」何「日」	「若クハ」
「中央金庫」印	「何地本金庫」印
「中央金庫又ハ何地本金庫」	「何地支金庫」印
「某應出納官吏官氏名宛」	
金庫	割印
乙第「何」號 出納官吏身元「某應出納官吏官氏名」 保証書	
一七歩利付公債證書額面「何程」 ノ主印	
一六歩利付公債證書額面「何程」 ノ主印	
一五歩利付公債證書額面「何程」 ノ主印	
「何々」	

書	
「何々」	「何々」
右ハ身元保證金代用ノ爲メ正ニ預リ保管致シ候也	
明治「何年」何「月」何「日」	「若クハ」
「中央金庫」印	「何地本金庫」印
「中央金庫又ハ何地本金庫」	「何地支金庫」印
「大藏大臣宛」	

「中央金庫記帳簿之印」
中央金庫ノ所屬支金庫及本金庫若クハ本金庫ニ屬スル支金庫分チ本金庫ヨリ差出シタル分ハ中央金庫ニテ記帳捺印ス
 主任印

「本金庫記帳簿之印」
支金庫ヨリ差出シタル分ハ本金庫ニテ記帳捺印ス
 主任印

乙號保管證書裏面

「表面ノ公債證書ハ返却ス」

「明治何年何月何日」

「大藏大臣」印

「第二號書式」

領收證

明治何年何月何日渡リ

一七歩利付公債證書面何程

但利札面何程 何何枚

同 一六歩利付公債證書面何程 何何枚

但利札面何程

同 一五歩利付公債證書面何程 何何枚

但利札面何程

同 一何々 何何枚

但利札面何程

但利札面何程

右者拙者身元保證金代用ノ爲メ保管預ケセシ公債證書之利札書面之通り正ニ領收候也

明治何年何月何日

中央金庫

若クハ何地本金庫宛

中央金庫又ハ何地本金庫

何地支金庫

某應出納官吏官氏名 印

●出納官吏身元保證金納付書以下書式中追加

明治二十三年十一月
大藏省訓令第三百四十六號
本年(三月)出納官吏身元保證金納付書式(中)官職部局名ノ数字ヲ追加ス

●出納官吏身元保證金取扱規則中納付書以下書式

明治二十三年三月
大藏省訓令第三百十六號

出納官吏

本年當省令第二號出納官吏身元保證金取扱規則中納付書以下書式左ノ通心得ヘシ

一規則第一條ノ納付書ニシテ一時納ノ場合ハ第一號書式中甲ニ分納ノ場合ハ同シク

乙ニヨル

一規則第二條ノ請求書ハ第二號書式ニヨル

一規則第四條ノ書入證書ハ第三號書式ニヨル

一規則第五條ノ書入證書ハ第四號書式ニヨル

一規則第六條ノ納付濟證ハ第五號書式中甲ニ同條假納付證ハ同シク乙ニヨル

第一號書式甲 用紙美濃判

「」ノ内及印章ハ孰モ朱

身元保證金納付書

一金何程

「備考」

「書式中何々トアルハ收入官吏ナレハ收入ノ二字現金前渡ヲ受ル官吏ナレハ仕拂ノ二字物品會計官吏ナレハ物品ノ二字ヲ記入スルモノトス以下書式皆同シ」

右何々ヲ取扱フ爲メ身元保證金トシテ何金庫第何號保管證書ヲ以テ相納候也

年 月 日

大藏大臣宛

官氏名印

第一號書式乙 用紙美濃判

身元保證金納付書

一金何程

但第何回分

右何々ヲ取扱フ爲メ身元保證金全額何圓ノ内何金庫第何號保管證書ヲ以テ相納候也

年 月 日

大藏大臣宛

官氏名印

第二號書式 用紙美濃判

請求書

一何地何坪
一何地何段

何府縣何郡市町村何番地
此土地臺帳登記價格金何程
何々
何々

右地所土地臺帳登記價格合計金何程

右ハ拙者身元保證金何程ニ代用納付ノ爲メ何年何月何日何登記所ニ於テ登記相受度候也

年月日

大藏大臣宛

官氏名印

第三號書式 用紙美濃判

印紙 土地書入之證

一何地何坪
一何地何段

何府縣何郡市町村何番地
此土地臺帳登記價格金何程
何々
何々

此土地臺帳登記價格合計金何程

右拙者所有ノ地所ニ有之候處何々ヲ取扱フ爲メ會計規則第百三條ニヨリ出納官吏身元保證金何程ノ代用トシテ書入候條會計規則第百五條ニ據リ公賣ニ付セラル、モ拙者ニ於テ聊故障無之爲後證如是候也

年月日

大藏大臣宛

官氏名印

第四號書式 用紙美濃判

印紙 公債證書書入之證

一何種公債證書
此價格金何程
一何種公債證書
此價格金何程
以上價格合計金何程

番號
此額面金何程

何々
何々

「備考」
書式中此價格金何程トアル金額明治二十三年勅令第四號第三條ニ依リ定ムル所ノモノヲ記入スヘシ

右拙者記名ノ公債證書ニ有之候處何々ヲ取扱フ爲會計規則第百三條ニ
 ヨリ出納官吏身元保證金何程ノ代用トシテ書入候條會計規則第百五條
 ニ據リ公賣ニ付セラル、モ拙者ニ於テ聊故障無之爲後證如是候也

年 月 日

大藏大臣宛

官氏名印

第五號書式甲

本納付證

身元保證金納付濟證	
第「何」號 者付納	「官 氏 名」
一 金「何圓也」 ○	
種 類	「現金」「債券」「土地」
種 類	「證書」

割印

第五號書式甲ノ

證 書 種 類	番 號	返 付 年 月 日
何金庫取扱預金局ノ保管證書	第 何 號	
何金庫公債證書保管證書	第 何 號	何年何月何日
何府(縣)何市(郡)何區(町村)土地登記書入證書	第 何 號	
何金庫公債證書保管證書	第 何 號	

右ハ「何々ヲ取扱フ爲メ」身元保證金全額納付濟ノ證ト
 シテ之ヲ付與ス

「何」年「何」月「何」日

大藏大臣 氏名印
 登記了了ス
 大藏省主管局長氏名印

「花紋」

裏面

第五號書式乙

符原

身元保證金假納付證書

第「何」號者付納

「何々」取扱出納官吏「何」官氏名納

高金「何」圓ノ内「何」圓也「何」課

第「何」圓分納

但「何」金庫取扱預金局第「何」號保管證書

「何」年「何」月「何」日發送

假納付發

局長

「花紋」

課長

身元保證金假納付濟證

第「何」號者付納者「何」官氏名

一「何」圓也「何」課

身元保證金「何」圓ノ内

但「何」金庫取扱預金局第「何」號保管證書

右ハ「何々」取扱ヲ爲メ「身元保證金之内」第「何」回分納ノ證トシテ之ヲ付與ス

「何」年「何」月「何」日
大藏大臣氏名印
大藏省「主管局長」氏名印

「花紋」

●身元保證金拂戻請求書書式

明治二十三年九月
大藏省訓令第三百三十號

出納官吏

二十三年大藏省令第二號出納官吏身元保證金取扱規則第十一條ニヨリ身元保證金ノ
拂戻ヲ請求セントスルトキハ左ノ書式ノ請求書ニ當省ヨリ交付シタル身元保證金納
付濟證ヲ添付シ本屬大臣ヲ經由シテ差出スヘシ
書式

身元保證金拂戻請求書

拙者儀(又ハ何ノ誰儀)何處何々出納官吏奉職ノ處明治何年何月何日退職(又ハ
死亡)何年何月何日會計検査院ノ検査判決ニ依リ責任解除相成候ニ付豫テ納付
ノ身元保證金御拂戻有之度依テ身元保證金納付濟證相添此段及請求候也

元何處何々出納官吏

年月日

官氏名印

(本人死亡ノ際ハ遺族ニ於
テ記名調印スヘシ)

大藏大臣宛

○物品

●物品會計規則

明治二十二年六月
勅令第八十四號

朕物品會計規則ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

物品會計規則

- 第一條 此ノ規則ニ於テ物品ト稱スルハ政府ニ屬スル器具器械備品消耗品動物其ノ
他一切ノ動産ヲ云フ但シ陸海軍ノ兵備ニ關ルモノハ各其ノ規則ニ依ル
- 第二條 物品ノ會計ハ總テ年度ヲ以テ區分シ毎年四月一日ヨリ翌年三月三十一日ニ
至ル十二箇月ヲ以テ一年度トス
- 第三條 物品ノ會計ハ現ニ其ノ出納ヲ執行シタル日ヲ以テ年度ノ所屬ヲ區分スヘシ
- 第四條 物品ヲ保管シ之カ出納ヲ掌ル者ヲ物品會計官吏トス
- 第五條 總テ物品ハ責任アル官吏ノ保管ニ付スヘシ
- 第六條 物品會計官吏ハ各省大臣ノ定メタル規程ニ據リタル命令アルニアラサレハ
物品ヲ出納スルコトヲ得ス
- 第七條 物品會計官吏ハ其ノ故意怠惰ニ由リ保管ノ物品ヲ亡失毀損シタルトキハ辨
償ノ責ニ任スヘシ
- 第八條 各省大臣ノ定メタル規程ニ據リ各官吏以下ノ使用ニ供シタル物品ノ亡失毀

損ニ就テハ物品會計官吏ハ合規ノ監督ヲ怠リタル場合ノ外ハ其責任ヲ免ルコトヲ得
第九條 物品會計官吏ハ各省大臣ノ命シタル代理官ノ所爲ニ就テハ其ノ責任ヲ免ル
コトヲ得

物品會計官吏ノ代理官ハ其ノ代理セル所爲ニ就テハ物品會計官吏タルノ責任ヲ免
ルコトヲ得

第十條 物品會計官吏ハ物品ノ出納帳簿ヲ備ヘ其ノ出納ノ事實ヲ登記スヘシ

物品ノ消耗賣拂亡失毀損生産ノ爲メノ消費及其他物品會計官吏ノ保管ヲ離ルハナ
出トシ買入生産及其ノ他其ノ保管ニ屬スルヲ納トス

第十一條 常時出納ヲナサ、ル倉庫若クハ貯藏所ノ物品ハ各省大臣ヨリ毎年一回若
クハ物品會計官吏交替ノ際検査ノ官吏ヲ命シ目錄ト現在品ノ照合ヲナサシメ其ノ
調査ヲ作ラシムヘシ

第十二條 在外各廳其ノ他特ニ主任ノ官吏ヲ置ク能ハサル支部局ニアル物品ハ各省
大臣ヨリ毎年一回若クハ物品會計官吏交替ノ際検査ノ官吏ヲ命シテ現在品及出納
ノ實況ヲ調査セシメ其ノ調査ヲ作ラシムヘシ

第十三條 第十一條第十二條ノ調査ニハ検査官吏及検査ヲ受タル物品會計官吏若ク
ハ特ニ命セラレタル立會人之ニ署名スヘシ

第十四條 各省大臣ハ一般ノ會計規則ニ據ルモノト特別ノ會計規則ニ據ルモノトヲ
區分シ毎年度間ニ買入生産及其ノ他政府ノ所有ニ歸シタル物品ト消耗賣拂亡失毀
損又ハ生産ノ爲メニ消費シ其ノ他政府ノ離權シタル物品ノ數量價格ヲ記シタル報
告書ヲ調製シ年度後六箇月以内ニ之ヲ大藏省ニ送付スヘシ但シ官有財産管理規則
ニ據リ送付スル計算書ニ掲クルモノヲ除ク

第十五條 物品會計官吏ハ會計検査院ノ検査判決ヲ受ル爲メ毎年度間ニ執行シタル
物品出納ノ計算書ヲ製シ年度後四箇月以内ニ證書類ヲ添ヘ之ヲ本屬大臣ニ差出
スヘシ

物品會計官吏交替ヲナシタルトキ前任官吏ハ前項ニ準シテ計算書ヲ差出スヘシ但
シ前任官吏死亡其ノ他ノ事故ニ由リ自身計算書ヲ調製スル能ハサル場合ニ於テハ
各省大臣ハ他ノ官吏ニ命シテ之ヲ調製セシムヘシ

第十六條 前條第二項但書ニ據リ調製シタル計算書ハ責任ヲ有スル物品會計官吏ノ
自身ニ調製シタルモノト同一ニ見做シ會計検査院ニ於テ検査判決ヲナスヘシ

第十七條 各省ノ部長若クハ特ニ監督ノ任アル官吏ハ第十五條計算書ノ下検査ヲ
執行シ其下検査書ヲ添付シテ之ヲ會計検査院ニ送付スヘシ

第十八條 常時出納ヲナサ、ル倉庫若クハ貯藏所ノ物品又ハ在外各廳其ノ他特ニ主

任ノ官吏ヲ置ク能ハサル支部局ノ物品ヲ保管スル物品會計官吏ハ第十一條又ハ第十二條ノ調書ヲ以テ第十五條ノ計算書ニ代ヘ責任ノ解除ヲ會計検査院ニ求ムルコトヲ得

第十九條 物品會計官吏ノ身元保證ニ關スル規則ハ總テ會計規則出納官吏身元保證ノ例ニ據ル

第二十條 物品出納ノ順序ハ各省大臣之ヲ定ムヘシ

第二十一條 官吏ノ執務上必要ナル物品ノ交付及其ノ交付ヲ受タル官吏ノ責任ニ就テハ各省大臣之ヲ規定スヘシ

第二十二條 此ノ規則ハ明治二十二年十月一日ヨリ施行ス

●林區署物品會計規程 明治二十二年九月 農商務省訓令第三十六號

明治二十二年六月勅令第八十四號ニ基キ林區署物品會計規程別冊ノ通相定ム但シ別冊ハ山林局長ヨリ送付スヘシ (別冊略ス)

●內務省所管物品出納規程 明治二十二年九月 內務省訓令第三十六號

警視廳 府 縣

集治監 假留監

當省所管物品出納規程別冊ノ通之ヲ定ム右訓令ス

但別冊ハ別ニ之ヲ頒ツ (別冊略ス)

附則

一 第一條所掲現物品ハ不用物品ト同一ノ方法ニ據リ賣却スヘシ但用品代料ノ支給ヲ受クヘキ資格アル官吏ニハ相當代價ヲ以テ賣却スルコトヲ得

●小林區署用品支給規則改正 明治二十三年九月 農商務省訓令第五十一號

大林區署

明治二十二年十月當省訓令第三十七號小林區署用品支給規則左ノ通改正シ本年十月一日ヨリ施行ス

但現行支給規則ニ據リ支給スヘキ本年八九兩月分ノ用品代料ハ本月末日ニ之ヲ支給スヘシ

●小林區署用品代料支給規則

第一條 此規則ニ於テ用品ト稱スルハ小林區署ニ於テ通常使用スル左ノ物品ヲ總稱

ス

桶類 鉢類 糊鍋 鐵瓶 土瓶 茶碗 茶盆 炭取 火箸 柄杓 五徳 十能
 箒 雪掻 塵取 雜巾 布巾 刷毛 草履 薪 炭 油 蠟燭 生麩
 付木 燈心

第二條 用品ハ現品ヲ以テ給セス左ノ三等ニ分チ代料ヲ小林區署官舎居住ノ官吏ニ支給ス

一等 一箇年金五圓

二等 一箇年金四圓五拾錢

三等 一箇年金四圓

第三條 大林區署長ハ事務ノ繁閑區員ノ多寡等ヲ酌量シ前條ノ等級内ニ於テ小林區署ノ等級ヲ定メ山林局長ニ届出ヘシ

第四條 用品代料ハ年額ヲ二分シ其年九月及翌年三月ノ兩度ニ之ヲ支給スヘシ但支給日ハ判任官俸給ト同日トス

第五條 用品代料ノ支給ヲ受クヘキ資格ヲ生シ又ハ其資格ノ止ミタル月ノ代料ハ月割ヲ以テ支給スヘシ但一大林區内ノ甲乙小林區署轉勤ノ場合ニ於テ彼此代料ノ異ナルトキハ其月分ノ代料ハ多キ方ヲ支給スヘシ

附則

- 一 本規則ハ派出所ニモ之ヲ適用ス
- 二 從來派出所ニ交付シアル本規則第一條ノ物品ハ不用品ト同一ノ方法ニ據リ賣却スヘシ但用品代料ノ支給ヲ受クヘキ資格アル當該官吏ニハ此際特ニ之ヲ拂下シルコトヲ得

●物品出納規程第二十五條ノ計算書調製程式

明治二十二年十月
 內務省訓令第三十九號

警視廳 府 縣
 集治監 假留監

本年當省訓令第三十六號物品出納規程第二十五條ノ計算書ハ別冊程式進達期限ハニ由リ調製スヘシ規定ノ通

但別冊ハ別ニ頒付ス(別冊略ス)

●工事又ハ物品購買ニ關スル諸契約締結方

明治二十三年三月
 大藏省訓令第四十一號

造幣局 各稅關
 北海道廳 府 縣

當省所管歲出支辨ニ屬スル工事又ハ物品購買ニ關スル諸契約ハ仕拂豫算ヲ以テ仕拂命令ヲ委任シタル金額内ニ係ルモノハ其被任者ニ於テ契約締結スルコトヲ得

●林產物公賣規程

明治二十三年五月
 農商務省告示第四號

林產物公賣規程左ノ通相定ム

林產物公賣規程

第一章 競争入札

第一條 林產物ノ公賣ハ入札方法ヲ用ヰテ施行ス可シ

第二條 林產物ヲ入札ニ付セントスルトキハ少クトモ入札期日ノ十五日以前ニ揭示

若クハ官報新聞紙及其他ノ方法ヲ以テ可成廣ク之ヲ公告スヘシ

公告ニハ左ノ各項ノ諸件ヲ揭示ス可シ

- 一 入札ニ付スヘキ物件
- 二 入札スヘキ場所
- 三 入札スヘキ日限及時刻

- 四 入札ノ保證金額
- 五 入札ニ付スヘキ物件ノ所在地
- 六 入札ニ付スヘキ物件ノ明細書標本 表示スルノ必要アルトキノ所在地林產物公賣規程及ヒ特別契約書案 林產物公賣規程ノ外特ニ契約ヲ要スル條件アルトキ 其他契約ヲ要スル條件等ヲ示ス場所
- 七 入札掛長ノ官氏名
- 第三條 入札ニ付スヘキ物件ノ豫定價額ハ之ヲ封書トナシ入札函ニ差入レ置クモノトス
- 第四條 左ノ諸項ノ一ニ觸ル、者ハ入札ヲナスコトヲ得ス
 - 一 林產物ヲ買受ケ其代金意納中ノ者
 - 二 官林ニ關スル損害賠償若クハ違約金ノ辨償ヲ終ヘサル者
 - 三 入札ニ付スヘキ物件ニ對シ罪ヲ犯シタル者
- 第五條 入札セント欲スル者ハ該物件若クハ其標本又ハ明細書及ヒ此規程並ニ特別契約書案其他該契約ニ必要ナル條件ヲ熟閱シ豫シメ不都合ナキ様心得置ク可シ入札人ハ第一號書式ニ依リ入札書ヲ作り入札保證金ト共ニ豫定ノ日時ニ入札所ニ持參シ入札掛員ノ面前ニテ右保證金ノ員數ヲ改メ之ヲ封シテ入札掛員ニ差出シタル上ニテ入札ス可シ

第六條 入札掛長前條ノ保證金ヲ受領シタルトキハ第二號書式ニ依リ預證ヲ作り入札人へ交付スヘシ

第七條 入札函ハ入札締切時限ニ達スルト同時ニ閉鎖スヘシ

第八條 左ニ掲クル入札ハ無効トス

- 一 入札書ノ要領不明ナルモノ
- 二 誤字脱字汚染塗抹其他ニ由リ金員及ヒ氏名ヲ認知シ難キモノ
- 三 開札ニ立會ハサルモノ、入札

第二章 開札再入札落札

第九條 入札ヲ終タルトキハ入札人ヲ開札所へ呼集シ入札掛長若クハ其代理者ハ入札人ノ面前ニ於テ入札函ヲ開キ先ツ入札書ト入札人トヲ一々照合シ入札書ヲ開封シ番號金額及氏名ヲ高ク讀上ケ入札掛員ヲシテ之ヲ筆記セシメ豫定代價以上ノ最高額入札人ヲ落札人ト定メ之ヲ各入札人ニ報告スヘシ

第十條 開札ノ上入札一モ豫定代價ニ達セサルトキハ其旨ヲ各入札人ニ報告シ再ヒ入札セント欲スルモノヲシテ即時ニ再入札ヲナサシム若シ再入札ノ望人ナキトキハ其公賣ハ取消スヘシ

第十一條 落札トナルヘキ同價額ノ入札人二名以上アルトキハ其入札人ヲシテ即時

再入札ヲナサシメ尙同價ノ入札アルトキハ直ニ抽籤ヲ以テ落札人ヲ定ム

第十二條 落札人入札ヲ取消シタルトキハ遞次繰下ケ落札人ヲ定ムヘシ但其繰下ケハ豫定價額以上ニ止ルモノトス

第十三條 落札人定リタルトキ若クハ落札人ナク公賣ヲ取消タルトキハ入札掛長ハ即時ニ豫定價額ノ封書ヲ開封シ之ヲ各入札人ニ報告スヘシ

第十四條 落札人定リタル上ハ其場ニ於テ直ニ他ノ入札人へ保證金預リ證書ト引換ニ入札保證金ヲ還付シ落札人ニハ賣買契約締結後ニ之ヲ還付ス

第十五條 落札人定リタルトキハ即時ニ落札代金十分ノ一ニ當ル内金ヲ契約保證金トシテ拂込ミ第三號書式紙ニ據リ賣買契約書ヲ作り結約者雙方署名捺印シ各一通ヲ領收シ置ク可シ但シ落札人ハ其便宜ニ依リ落札代價十分ノ一以上ノ金額若クハ其全額ヲ即納スルコトヲ得

第三章 代價拂込、物件引渡

第十六條 落札人約定日限内ニ賣買代金ノ拂込ミヲ了リタルトキハ其落札物件ヲ管スル署所ニ出頭シ其拂込證(交付票ヲ受取リタルトキハ之レト備ニ)ヲ示シ之カ引渡ヲ請求ス可シ

第十七條 落札物件ハ其代價ノ幾分ヲ拂込ムトモ之ニ對スル内渡ヲナサルモノトス

渡ス可シ

第十八條 買受人物件ノ引渡ヲ受タルトキハ第四號書式紙ニ據リ領收證ヲ作り引渡掛員ニ差出シ約定ノ日限内ニ其物件ヲ所在地ヨリ搬出スヘシ

第十九條 物件ノ所有權ハ物件ノ引渡ヲ受ルニ隨ヒ買受人ニ移轉スルモノトス

第四章 違約處分、損害賠償

第二十條 左ノ場合ニ於テハ入札保證金ヲ還付セス

一 落札ノ上賣買契約ヲ落札人ニ於テ締結セサルトキ

二 開札後ニ入札ノ取消ヲナシタルトキ

第二十一條 左ノ場合ニ於テハ契約保證金ヲ還付セス締結ノ契約ハ解除スルモノトス

一 落札人賣買契約締結後代金ヲ約定ノ日限内ニ拂込マサルトキ

二 落札人賣買契約締結後代金拂込以前ニ契約ヲ取消シタルトキ

三 落札人約定ノ期限内ニ物件ノ引渡ヲ受ケサルトキ

第二十二條 落札人物件ノ引渡ヲ受ケタル後豫期外ノ障礙ニ遇ヒ之ヲ約定日限内ニ搬出シ了ルコトヲ得サルトキハ其事由ヲ具シ更ニ期限ヲ定メテ搬出日限ノ延期ヲ請求ス可シ此ノ場合ニ於テハ當該署所ハ左ノ割合ヲ以テ其間ノ該物件置場ニ係ル

借地料ヲ課シ之ヲ前納セシム可シ

一 落札代價金百圓以上ノモノハ一日ニ付其千分ノ一

二 落札代價金百圓未滿ノモノハ一日ニ付金十錢

但搬出延期ヲ要スルノ事由天災若クハ事變ニ屬スルトキハ特ニ右借地料ヲ免ス可シ

第二十三條 前條ノ場合ニ於テ落札人搬出延期ノ請求ヲナサシテ恣ニ約定日限ヲ過ルトキハ當該署所ハ前條ノ割合ニ二倍スルノ借地料ヲ取立ツ可シ

本條及ヒ前條ノ場合ニ於テ落札人右借地料ヲ納メサルトキハ當該署所ハ其搬出未済ノ物件ヲ差押ヘ本人ヲ立會ハシメテ之ヲ公賣ニ付シ其代金ヲ以テ借地料及ヒ差押公賣其他ノ諸入費ヲ支拂ヒ猶ホ殘金アルトキハ之ヲ還付シ若シ不足スルトキハ更ニ之ヲ要求ス可シ

第二十四條 落札人若クハ雇人落札物件ヲ伐採蒐集若クハ製造運搬等ノ際ニ於テ當該署所ニ損害ヲ與ヘタルトキハ當該署所ハ之ニ對スル賠償引當トシテ搬出未済ノ物件ヲ差押ヘ若クハ其事業ヲ中止シ期限ヲ定メ相當ノ賠償金ヲ要求ス可シ
落札人右賠償金ヲ承諾シタル上之ヲ期限内ニ納メサルトキハ第二十三條第二項ノ手續ニ依リテ之ヲ處分ス可シ

第五章 雜件

第二十五條 公賣物件入札後又ハ賣買契約締結後天災事變等ノ避クヘカラサルノ原因ニ由リ目的ノ事件ヲ亡失毀損シタル爲メ公賣ヲ取消シ之カ爲メニ入札人落札人又ハ買受人ニ於テ損害ヲ生スルモ當該署所其責ニ任セス

第二十六條 公賣物件ハ當初入札人ニ於テ熟覽シタルモノニ付落札後數量若クハ物質等ニ多少ノ差違アリ又ハ物件ノ内部ニ腐朽等アルモ當該署所ハ其責ニ任セス

第二十七條 立木竹公賣ノ場合ニ於テ其根株ハ公賣外ノモノトス但シ別段ノ契約アルモノハ此限ニアラス

第二十八條 入札人落札人又ハ買受人代理人ヲ以テ諸般ノ事項ヲ履行セシムルトキハ代理人ハ其委任狀ヲ當該署所ニ示スヘシ

第二十九條 落札人其物件ヲ搬出以前ニ於テ他ヘ賣買讓與シタルトキハ雙方連署シテ當該署所ニ届出テ認可ヲ受ク可シ

第一號書式

印紙

入札書

第 號

一何々(物件ノ名稱ヲ記入スヘシ) 何程(數量)

此代金何程

第 號

一何々 何程

此代金何程

(以下此例ニ準シ公告ニ掲載ノ物件概目ヲ一々記載スヘシ)

右代金ヲ以テ買受申度林產物公賣規程其他公示又ハ特別契約ノ條項ヲ承諾シ保證金相添ヘ入札書差出候也

年月日

住所 姓名 印

(代理人ナルトキハ代理人ノ住所姓名ヲ併記捺印スヘシ以下皆同シ)

入札掛長官姓名宛

第二號書式

第 號

<p>一金何程 證</p> <p>但何々入札保證金</p> <p>納人 姓 名</p>	
<p>右封ノ儘預置候也</p> <p>年月日</p> <p>入札掛長官 姓 名 印</p>	
<p>入札掛</p> <p>長對印</p>	
<p>第 號</p> <p>一金何程</p> <p>但何々預金保證金</p> <p>年月日</p>	<p>納人 姓 名</p>
<p>第三號書式</p> <p>賣買契約書</p>	

<p>印紙</p> <p>此印紙ハ賣人へ領收シ置クモノ、 ミニ買人ヨリ貼付スルモノトス、</p>	
<p>今般別紙入札書ノ通落札セシニ付林産物公賣規程及左記ノ條項ヲ承諾シ 賣買契約ヲ締結シ雙方署名ノ上各一通ヲ領收シ置クモノ也</p> <p>年月日</p>	
<p>賣人 入札掛長官 姓 名 印</p> <p>住所</p>	<p>買人 姓 名 印</p>
<p>一代價拂込何年何月何日限</p> <p>一物件引渡何年何月何日限</p> <p>一物件引渡ヲ請求スヘキ官署</p> <p>一物件引渡場所</p> <p>一何々</p> <p>契約ヲ要スル條件ヲ列記ス</p>	

第四號書式

印紙

證

第 號

第 號

一何々

一何々

右御引渡相成領收候也

年 月 日

住所

買人

姓 名 印

引渡掛員官姓名宛

●鑑札用品出納規程

明治二十三年五月
大藏省訓令第八十五號

北海道廳 府縣 主稅局

大藏省所管國稅ニ關スル鑑札用品出納順序左ノ通相定メ本年六月一日ヨリ施行ス但從前ノ訓令又ハ指令中此順序ニ抵觸スルモノハ同日ヨリ廢止ス

鑑札用品出納規程

第一條 鑑札用品ハ消耗品ノ一部トシ各地方長官ノ分任代理官ノ命令ニ由リ本廳屬ヲシテ之ヲ出納セシムヘシ

第二條 鑑札用品ハ毎年三月及ヒ九月兩度ニ豫算ヲ以テ各地方收稅部出張所長又ハ島司郡長ヨリ地方長官ノ分任代理官ニ請求スヘシ但臨時必要アル場合ニ於テハ隨時之ヲ請求スヘシ

第三條 前條鑑札用品ノ配付ハ鑑札下付主任官吏之ヲ收受シ其種類員數ヲ記載セル領收證書ヲ製シ會計官吏ニ差出スヘシ

第四條 各收稅部出張所又ハ島廳郡役所ニ於テ直ニ製造シ又ハ買入ル、所ノ鑑札用品ト雖トモ其出納上ニ於テハ第二條第三條ノ式ヲ追フヘシ

第五條 鑑札用品ノ支出ハ其請求書ニ命令官認印ヲ押捺スルヲ以テ命令ト傲ス鑑札用品ハ會計官吏ノ保管ヲ離ル、ヲ以テ出トシ鑑札下付主任官ノ領收證書ヲ以テ其支出ヲ完結スルモノトス

第六條 會計官吏及ヒ鑑札下付主任官吏ハ消耗品出納簿ヲ調製シ用品出納ノ事項ヲ

記載スヘシ

第七條 物品會計規則第十七條ノ計算書下検査ハ地方長官取纏メ之ヲ執行シ直チニ検査院ニ送付スヘシ

第八條 鑑札用品ノ大藏省製造ニ係ルモノ受拂報告書ハ適宜之ヲ取調ヘ差出スヘシ

●内國稅徵收費所屬物品會計規程

明治二十二年九月
大藏省訓令第六十號

府 縣

明治二十二年六月勅令第八十四號物品會計規則ニ基キ内國稅徵收費所屬物品會計規程別冊ノ通相定メ本年十月一日ヨリ施行ス
但別冊ハ主稅局ヨリ送付ス (別冊略ス)

●内國稅徵收費所屬物品會計規程中追加

明治二十三年三月
大藏省訓令第三十五號

明治二十二年九月大藏省訓令第六十號内國稅徵收費所屬物品會計規程中左ノ通追加シ本年四月一日ヨリ施行ス
一 第四條

但出張所派出所ヲ一構内ニ設置スル府縣ニアリテハ派出所ニ物品取扱主任ヲ置カス便宜出張所物品取扱主任ノ掌管ニ付シ合同取扱ハシムルコトヲ得

一 第十三條

但第四條但書ニ據リ合同取扱フ場合ニ於テハ某出張所某派出所ノ名義ヲ以テ一帳簿ニ合記スヘシ

一 物品出納報告書様式ニ左ノ凡例ヲ付ス
生産拂又ハ保管ノ轉換等ニヨリ支出アリタルトキハ拂ノ部「亡失毀損」ノ次ニ相當ノ欄ヲ設ケ之ニ記入スヘシ

○會計主務

●會計主務官心得

明治二十三年二月
大藏省訓令第十八號

會計主務官

會計主務官心得左ノ通定ム

會計主務官心得

第一章 總則

第一條 會計主務官ハ國庫ノ事務ヲ取扱フ官吏ニシテ大藏大臣ノ命ヲ承ケ會計法第

十四條ニ依リ仕拂命令ノ法律命令ニ反スルコトナキヤテ調定スルヲ以テ職務トス
會計主務官ハ專ラ仕拂命令ノ調定ヲ職務トスルモノニシテ明治十四年太政官第三
十六號達ヲ以テ定メラレタル會計主務官吏トハ異ナルモノトス

第二條 會計主務官ハ各省大臣所屬ノ官吏タリト雖トモ其職務執行ニ就テハ各省大
臣ニ對シ全ク獨立シ其干渉ヲ受クルコトナシ

第三條 會計主務官ハ會計法會計規則其他ノ命令ニ依リ付與セラレタル權限ヲ確守
シ仕拂命令官ノ權限ヲ犯スコトナシ事務ノ滯滞ヲ生セサル様注意スヘシ

第四條 會計主務官ノ職務ハ會計法第二十九條ニ依リ仕拂命令官ト相兼スルコトヲ
得ス然レトモ會計主務官ノ職務ヲ執ル官吏ニシテ同時ニ各省會計ノ事務ニ從事ス
ルモ妨ケナシ

第五條 會計規則第五十條ノ中央會計主務官ノ職務ハ各省本廳ノ經費ニ關スル仕拂
命令ヲ調定スル會計主務官ニ於テ取扱フモノトス

第二章 帳簿

第六條 會計主務官ハ會計規則第一百十六條ニ依リ明治二十二年大藏省令第十一號ニ
定メタル第十六號書式ノ支出簿ヲ備フヘシ
本條ノ帳簿ハ會計主務官ノ爲メニ最モ大切ナルモノニシテ仕拂命令ノ調定支出ノ

報告支出ノ證明ヲナスハ皆此帳簿ニ依ルモノトス

第七條 各省中央會計主務官ハ支出簿ノ外ニ會計規則第一百七條ニ依リ明治二十二
年大藏省令第十一號ニ定メタル第十七號書式ノ歳出簿ヲ備フヘシ
本條ノ帳簿ハ會計規則第一百十三條ニ依リ大藏省主計局ニ備フル所ノ主計簿歳出ノ
部ト連絡ヲ有スルモノトス

第八條 支出簿ニハ明治二十二年大藏省令第十一號ニ定メタル第十六號書式備考第
二ニ示ス如ク第一ニ大藏大臣ヨリ令達アリタル仕拂豫算額ヲ登記スヘシ
此仕拂豫算額ノ令達ハ明治二十二年大藏省令第十一號ニ定メタル第一號書式備考

第二ニ示ス如ク會計規則第十一條第十二條ニ依リ各省大臣ヨリ大藏大臣ニ送付シ
タル計算書二通ノ内一通ヲ大藏大臣ヨリ會計主務官ニ送付スルノ手續トス
仕拂豫算額ノ増減ハ前項ノ手續ニ依リ大藏大臣ヨリ令達アルヘキニ付其令達ヲ得
タルトキ登記スヘシ

會計規則第三十五條ニ依リ仕拂命令官ヨリ仕拂命令ノ送付ヲ受ケタルトキハ之ヲ
調定シ明治二十二年大藏省令第十一號ニ定メタル第十六號書式備考第三ニ示ス如
ク支出簿仕拂命令調定濟額ノ欄内ニ登記スヘシ
會計規則第六十三條ニ依リ大藏大臣ニ於テ定額ノ戻入ヲ檢視シタルトキハ戻入取扱
規程ハ明

治二十二年大藏省令第十六號ニ依ル明治二十二年大藏省令第十一號ニ定メタル第十一號書式ニ準シ定額戻入令達書ヲ作り之ヲ會計主務官ニ送付スヘキニ付會計主務官ハ明治二十二年大藏省令第十一號ニ定メタル第十六號書式備考第四ニ示ス如ク支出簿仕拂命令調定濟ノ欄内ニ定額戻入ノ金額ヲ登記スヘシ

第九條 明治二十二年勅令第九十五號會計年度開始前現金支出規則ニ依リ大藏大臣ニ於テ年度開始前支出ヲ檢視シタルトキハ其令達書ヲ作り之ヲ會計主務官ニ送付スヘキニ付會計主務官ハ令達書ノ金額ヲ支出簿^{開始セサル年度ノ分}ニ登記シ追テ仕拂命令官ヨリ仕拂命令ノ送付ヲ受ケタルトキ大藏大臣令達ノ金額ニ照シテ調定シ其調定濟額ヲ支出簿ニ登記スヘシ

第十條 支出簿ノ詳細ヲ明カニスル爲メ要スル所ノ補助簿ハ明治二十二年大藏省令第十一號ニ定メタル第十六號書式備考第五ニ示ス如ク會計主務官ニ於テ適宜之ヲ設クヘキモノトス今左ニ凡ソ必用ナル補助簿ノ種類ヲ示ス

- 一 概算渡前金渡線替拂ノ帳簿 此帳簿ニハ法律勅令ニ依リ概算渡前金渡線替拂ヲ許サレタル經費ノ支出ヲ登記シ其精算未精算ヲ調査スルノ用ニ供スルモノトス

二 歳出目別ノ帳簿 此帳簿ハ各項中各目ヲ區分シ經費ノ支出ヲ登記スルモノトス

ス

右ノ外明治二十二年十一月會計検査院ノ定メタル支出證明規程ニ依リ會計主務官ノ證明スヘキ諸計算ヲ作ルニ必要ナル帳簿

第十一條 中央會計主務官ノ備フル歳出簿ニハ歳計豫算ニ依リ各省所管經費各款各項ノ定額ヲ歳出簿定額ノ欄内ニ登記スヘシ

會計規則第五十七條ニ依リ大藏大臣ニ於テ繰越ヲ承認シタルトキハ繰越ノ令達書ヲ作り中央會計主務官ニ送付スヘキニ付中央會計主務官ハ其繰越金額ヲ歳出簿增加額ノ欄内ニ登記スヘシ

會計規則第二十二條ニ依リ第二豫備金支出ノ勅裁アリタルトキ及同規則第十九條ニ依リ大藏大臣ニ於テ第一豫備金支出ヲ承認シタルトキハ其令達書ヲ中央會計主務官ニ送付スヘキニ付中央會計主務官ハ其金額ヲ歳出簿增加額ノ欄内ニ登記スヘシ

歳出簿仕拂命令調定濟額ノ欄内ニハ中央會計主務官自身ノ作りタル支出報告書及ヒ他ノ會計主務官ヨリ送付ヲ受ケタル支出報告書ニ據リ其報告書仕拂命令調定濟額ノ欄内本月分ノ仕拂命令調定濟金額及ヒ定額戻入金額ヲ登記スヘシ

第三章 仕拂命令調定

第十二條 仕拂命令ニハ三種アリ即チ左ノ如シ

第一 通常ノ仕拂命令

第二 集合仕拂命令

第三 現金前渡仕拂命令

(第一) 通常ノ仕拂命令ハ一箇ノ債主ニ直接ニ現金ヲ交付スル爲ニ發スルモノトス

(第二) 集合仕拂命令ハ二人以上ノ債主ニ直接ニ現金ヲ交付スル爲ニ發スルモノトス

(第三) 現金前渡仕拂命令ハ會計法第十五條第二項ニ依リ官吏又ハ政府ノ命シタル銀行會計規則第四十二條ヲ見ヨニ現金ヲ交付シ更ニ右官吏又ハ銀行ヲシテ政府ノ債主ニ仕拂ヲ爲サシムルヲメニ發スルモノトス

第十三條 仕拂命令ノ様式ハ明治二十二年大藏省令第十一號ヲ以テ定メタル第六號書式甲乙丙ノ三種ニシテ各々輪廓ノ摸樣ヲ異ニセリ

第十四條 會計規則第三十五條ニ依リ仕拂命令官ヨリ仕拂命令ニ證憑書類ヲ添ヘ之ヲ會計主務官ニ送付シタルトキハ先ツ何年度所屬ニシテ何種ノ仕拂命令ナルヤヲ見定メ左ノ順序ニ從ヒ調定ヲ爲スヘシ

第一 仕拂命令ノ様式ニ違フコトナキヤヲ調査スルコト

第二 仕拂命令ト案内仕拂命令トヲ照合シ年度科目金額其他記載ノ事項相違スル所ナキヤヲ調査スルコト

第三 支出簿仕拂豫算ノ殘額ト仕拂命令ノ金額トヲ照合シ仕拂豫算ニ超過スルコトナキヤヲ調査スルコト

第四 仕拂命令ト仕拂命令ニ添付セル證憑書類トヲ照合シ仕拂命令ニ依リ仕拂フヘキ經費ハ正當ニシテ仕拂ノ方法規則ニ違フコトナキヤ年度科目計算ニ誤ナキヤ其他法律命令ニ牴觸スルコトナキヤヲ調査スルコト

第十五條 前條第一第二ノ調査ヲナシ不都合ヲ發見スルトキハ直チニ仕拂命令ヲ仕拂命令官ニ返付シ改正ヲ求ムヘシ

前條第三ノ調査ヲナシ不都合ヲ發見スルトキハ直チニ仕拂命令ヲ仕拂命令官ニ返付シ改正ヲ求メ若シ仕拂命令官改正ヲ承諾セサルトキハ事由ヲ本屬大臣ニ申立ヘシ而シテ本屬大臣會計主務官ノ意見ニ同意セサルトキハ會計主務官會計規則第三十七條第二項但書ニ依リ事由ヲ具シ大藏大臣ノ指揮ヲ請フヘシ

前條第四ノ調査ヲナシ不都合ヲ發見スルトキハ直チニ仕拂命令ヲ仕拂命令官ニ返付シ改正ヲ求メ若シ仕拂命令官改正ヲ承諾セサルトキハ事由ヲ本屬大臣ニ申立ヘ

シ而シテ本屬大臣會計主務官ノ意見ニ同意セサルトキハ會計主務官會計規則第三十七條第二項ニ依リ特命調定ヲナシ直チニ事由ヲ詳具シ大藏大臣ニ報告スヘシ

第十六條 本訓令第十四條第四ノ調査ヲナストキ通常ノ仕拂命令ハ左ノ順序ニ依ルヘシ

第一 仕拂命令ニ依リ仕拂ハントスル經費ハ債主權ノ確定シタルモノナルヤ否ヤヲ調査シ若シ債主權ノ未確定ノモノナルトキハ何レノ法律勅令ニ依リ概算渡前金拂ヲナスヤヲ確カムヘシ

第二 仕拂命令ニ依リ仕拂ハントスル經費繰替拂ナルトキハ何レノ法律勅令ニ依リ繰替拂ヲナスヤヲ確カムヘシ

第三 各年度ニ屬スル經費ニシテ會計規則第四十四條ニ依リ翌年度四月一日以後六月三十日マテニ發シタル仕拂命令ノ送付ヲ受ケタルトキハ其仕拂命令ニ依リ仕拂フ經費ハ年度内ニ債主權ノ確定シタルモノニ相違ナキヤヲ確カムヘシ

第四 過年度ノ支出ニ係ル仕拂命令ナルトキハ會計規則第六十條ニ依リ大藏大臣承認ヲナシタルトキ其令達書ヲ會計主務官ニ送付スヘキニ付之ニ照合スヘシ

第五 仕拂命令ニ記入シタル年度ノ相當ナルヤヲ會計規則第二條ニ照シ調査スヘシ

第六 仕拂命令ニ記入シタル科目ノ相當ナルヤヲ仕拂豫算ノ科目ト證憑書トニ照シ調査スヘシ

第七 仕拂命令ニ記入シタル金額ノ違算ナキヤヲ確カムル爲メ證憑書ニ照シ計算スヘシ

第八 正當ニ政府ノ經費ナルヤヲ證憑書ニ照シ調査スヘシ

第九 政府ノ工事及物件買入借入ニ係ル經費ノ仕拂命令ナルトキハ競争契約ナルヤ隨意契約ナルヤヲ證憑書ニ照シ調査シ隨意契約ナルトキハ會計法第二十

四條但書何レノ場合ニ該當セルヤヲ證憑書ニ照シ確カムヘシ

第十 會計規則第六十七條ニ依リ工事ノ既済部分又ハ物品ノ既納部分ニ對シ完済前ニ代價ノ一部分ヲ仕拂ハントスル仕拂命令ナルトキハ會計規則第六十七條ノ制限ヲ超過スルコトナキヤヲ證憑書ニ照シ確カムヘシ

第十七條 本訓令第十四條第四ノ調査ヲ爲ストキ集合仕拂命令ハ左ノ順序ニ依ル

第一 會計規則第三十三條但書六種費目中何レニ該當スルヤヲ確カムヘシ

第二 金額氏名表ノ金額ト仕拂命令ノ金額ト相違ナキヤヲ確カムヘシ

- 第三 仕拂命令ニ記入シタル年度ノ相當ナルヤチ會計規則第二條ニ照シ確カム
- 第四 仕拂命令ニ記入シタル科目ノ相當ナルヤチ仕拂豫算科目ト證憑書トニ照シ確カムヘシ
- 第五 仕拂命令ニ依リ仕拂ハントスル經費ハ債主權ノ確定シタルモノナルヤ否ヤヲ調査シ若シ債主權未確定ノモノナルトキハ何レノ法律勅令ニ依リ概算渡前金拂チナスヤチ確カムヘシ
- 第六 金額氏名表ノ金額氏名ニ相違ナキヤチ證憑書ニ照シ確カムヘシ
金額ハ計算ニ付シ確カシム
- 第七 仕拂命令ニ依リ仕拂ハントスル經費ハ正當ニ政府ノ經費ナルヤチ證憑書ニ照シ確カムヘシ
- 第十八條 本訓令第十四條第四ノ調査ヲ爲ストキ現金前渡仕拂命令ハ左ノ順序ニ依ル
 - 第一 會計法第十五條第二項何レノ場合ニ該當スルヤチ確カムヘシ
 - 第二 政府ノ命シタル銀行ニ現金ヲ交付セントスル仕拂命令ナルトキハ會計規則第四十二條ノ範圍内ナルヤチ確カムヘシ

- 第三 會計規則第三十九條ノ各項ニ照シ仕拂命令ノ金額同條ニ定メタル制限ニ超過スルコトナキヤ又必用ナルヨリモ餘分ノ現金前渡ナルコトナキヤチ確カムヘシ
- 第四 一度現金チ前渡シタル主任官吏ニ更ニ現金チ前渡セントスル仕拂命令ハ會計規則第四十條ニ照シ同條ニ定メタル制限ニ超過スルコトナキヤチ確カムヘシ
- 第五 仕拂命令ニ記入シタル年度ノ相當ナルヤチ會計規則第二條ニ照シ確カムヘシ
- 第六 仕拂命令ニ記入シタル科目ノ相當ナルヤチ仕拂豫算ノ科目ト證憑書トニ照シ確カムヘシ
- 第十九條 仕拂命令ノ調査チナスニ必要ナル證憑書ハ會計規則第三十五條ニ依リ仕拂命令官ヨリ會計主務官ニ送付スヘキ義務アルモノニ付若シ證憑書不完全ナルトキハ會計主務官ハ仕拂命令官ニ向テ事實チ確カムルニ充分ナル証憑書ヲ送付センコトヲ要求スヘシ
- 第二十條 本訓令第十六條第十七條ノ調査ヲ爲スニ必要ナル證憑書ノ種類ハ凡ソ左ノ如シ

第一 債主ノ請求書若クハ請求書ニ代ハルヘキ書類

第二 規則又ハ契約ニ依リ一定シタル經費ニシテ債主ノ請求書ヲ徴セスシテ仕拂命令ヲ發スルモノハ規則書又ハ契約書及ヒ負債ヲ確カメ得ヘキ書類

第三 一項中數目ヲ合セタル仕拂命令ニシテ各目ノ金額分明ナラサルモノハ各目ノ仕譯書

第四 工事及物件ノ購買借入ニ關スル仕拂命令ハ其各種契約書其他事實ノ確實ヲ證スル書類

第五 會計規則第六十七條ニ依リ工事ノ既濟部分又ハ物品ノ既納部分ニ對シ完濟前ニ代價ノ一部分ヲ仕拂ハントスル仕拂命令ナルトキハ同條ニ依リ検査ノ官吏ノ作リタル調書

第六 明治二十二年十一月會計検査院ニ於テ定メタル支出證明規程第十一條第十二條第十四條第十五條第十六條第十七條第十八條第十九條第二十條第二十一條ノ事項ヲ調査スルニ必要ナル書類

第二十一條 本訓令第十八條ノ調査ヲ爲スニ必要ナル證憑書ノ種類ハ凡ソ左ノ如シ

第一 會計法第十五條第二項ノ第一ニ當ル場合ハ國債元利ノ計算ヲ明ニセル書類

第二 會計法第十五條第二項ノ第二第三第四第五第六第七第八ニ當ル場合ハ經費支出ノ必要ヲ確カムヘキ書類

第二十二條 仕拂命令ノ調定ヲ了リ會計主務官之ヲ正當ト認メタルトキ若クハ會計規則第三十七條第二項ニ依リ特命調定ヲ爲シタルトキハ式ノ如ク支出簿ニ登記シ然ル後仕拂命令ト案内仕拂命令ト切離シ受取人ヨリ領收證書ヲ徴シ仕拂命令ヲ受取人ニ交付シ同時ニ案内仕拂命令ヲ金庫ニ送付スヘシ

支出簿ニ登記セサル前ニ仕拂命令ヲ受取人ニ交付シ若クハ仕拂命令ヲ受取人ニ交付セサル前ニ案内仕拂命令ヲ金庫ニ送付タルトキハ行違ヲ生シ易キヲ以テ必ス前項ノ手續ヲ怠ルヘカラス

毎月末日受取人ニ交付スル仕拂命令ノ案内仕拂命令ハ其日ノ開庫時間内ニ金庫ニ到著スル様發送スヘシ若シ案内仕拂命令ノ送付方遅延シ金庫ニ於テ之ヲ翌月ノ計算ニ組込トキハ月計對照表上差違ヲ生スヘキニ付必ス本項ノ注意ヲ怠ルヘカラス

第二十三條 會計規則第三十三條但書及第三十六條但書ニ依リ集合仕拂命令ヲ以テ債主ニ仕拂チナストキ又ハ仕拂命令ヲ當テタル金庫即チ仕拂命令官所在地ノ金庫所在地ノ外ニ於テ仕拂チ爲ヌタメ送金ヲ要スルトキハ式ノ如ク支出簿ニ登記シ集合仕拂命令ハ其本命令案内仕拂命令及金額氏名表共又通常ノ仕拂命令ハ其本命令及案内仕拂命令

共之ヲ金庫ニ送付スヘシ

前項ノ場合ニ於テ會計主務官ハ本訓令附屬書式ノ領收證書用紙ニ式ノ如ク記入捺印シ之ヲ受取人ニ交付シ金庫ハ明治二十二年大藏省訓令第七十二號金庫出納事務規程第十五條第十六條ニ據リ本項ノ領收證書ト引替ニ現金ヲ受取人ニ交付シタル後ヲ其領收證書ヲ會計主務官ニ送付スルモノトス

前項ニ依リ金庫ヨリ領收證書ヲ會計主務官ニ送付シタルトキハ元ト切離シタル領收證書ノ原符ニ照シ「何年月日仕拂濟」ノ印ヲ原符ニ捺シ金庫出納事務規程第十六條第二項ノ領收證書ハ本訓令第廿四條第二十五條ニ依リ之ヲ金庫ニ返付スヘシ

本條第一項ニ依リ集合仕拂命令ヲ金庫ニ送付シタルトキハ金庫ヨリ其領收證書ヲ徵スヘシ此領收證書ハ會計検査院ニ向テ支出ノ證明ヲナストキハ正當受取人ノ領收證書ニ代ハリ證據トナルモノトス但シ支出ノ證明ヲナストキハ別ニ集合仕拂命令ニ添附セル金額氏名表ノ謄本ヲ作り之ヲ添ユヘシ

第二十四條 金庫出納事務規程第七十二條第八十六條第九十七條ニ依リ金庫ヨリ歳出金月計對照表現金交付濟仕拂命令及同事務規程第十六條ノ受取人ノ領收證書ノ送付ヲ受ケタルトキハ速ニ調査シ不都合ナキトキハ金庫出納事務規程第三十四號書式ニ示ス如ク月計對照表ニ記入捺印シ甲號表ハ之ヲ留置キ乙號表ハ仕拂濟ノ仕

拂命令及受取人領收證書ト共ニ明治二十二年大藏省訓令第七十四號ニ依リ三日以内ニ之ヲ金庫ニ送付スヘシ

第二十五條 金庫出納事務規程第七十四條第八十八條第九十七條ニ依リ金庫ヨリ歳出仕拂未濟繰越金支出月計對照表現金交付濟仕拂命令及同事務規程第十六條ノ受取人ノ領收證書ノ送付ヲ受ケタルトキハ速ニ調査シ不都合ナキトキハ金庫出納事務規程第三十六號書式ニ示ス如ク月計對照表ニ記入捺印シ仕拂濟ノ仕拂命令及受取人領收證書ト共ニ三日以内ニ之ヲ金庫ニ送付スヘシ

第四章 支出報告

第二十六條 會計規則第四十九條ニ依リ會計主務官ノ調製スル毎月支出報告書ハ毎月末日支出簿ノ締高ニ依リ明治二十二年大藏省令第十一號ニ定メタル第七號書式ニ從ヒ之ヲ調製シ本屬大臣ノ定メタル期限ニ左ノ參照書類ト共ニ之ヲ中央會計主務官ニ送付スヘシ

一 歳出金月計對照表 甲號表

二 前項ノ外大藏省主計局長及中央會計主務官ヨリ要求スル參照書類

第二十七條 會計規則第五十條ニ依リ中央會計主務官ノ調製スル毎月支出總報告書ハ中央會計主務官自身ニ作リタル毎月支出報告書及他ノ會計主務官ヨリ送付ヲ受

ケタル毎月支出報告書ノ金額ヲ集計シ集計ノタメ補助簿ヲ設クルヲ便トス明治二十二年大藏省令第十一號ニ定メタル第八號書式ニ從ヒ之ヲ調製シ會計規則第五十條ノ期限内ニ左ノ參照書類ト共ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

- 一 毎月支出報告書中央會計主務官ノ作リタル分及他會計主務官ヨリ送付ヲ受ケタル分トモ
- 二 歳出金月計對照表甲 對表ノ分ニシテ中央會計主務官自身ノ分及ヒ他會計主務官ヨリ送付ヲ受ケタル分トモ
- 三 前二項ノ外大藏省主計局長ヨリ要求スル參照書類

第二十八條 會計主務官ハ毎月支出報告書及毎月支出總報告書ノ送付方定期ニ後レサル様嚴密ニ注意スヘシ萬一其送付方定期ニ後ル、トキハ其事故ヲ取調會計主務官ヲ相當處分ニ及フコトアルヘシ

會計主務官ヨリ中央會計主務官ニ送付スル毎月支出報告書定期ニ後レタルトキハ遲延ノ事由ヲ具シ中央會計主務官ヨリ之ヲ大藏大臣ニ報告スヘシ
毎月支出報告書ノ送付定期ニ後レタルカ爲メ毎月支出總報告書ノ提出定期ニ後ル、ノ恐アルトキハ中央會計主務官ハ既著ノ毎月支出報告書ニ依リ毎月支出總報告書ヲ作り其旨ヲ大藏大臣ニ報告シ延著ノ毎月支出報告書ハ之ヲ取纏メ毎月支出總報告書ノ式ニ準シ追加報告書ヲ作り大藏大臣ニ送付スヘシ

第五章 支出證明

第二十九條 會計規則第四十四條ノ期限經過スルトキハ會計主務官ハ直チニ支出簿ヲ締切リ會計規則第九十五條ノ計算書ノ調製ニ著手スヘシ

本條計算書ノ書式ハ明治二十二年十一月會計検査院ニ於テ定メタル支出證明規程第一章ニ依ル

本條計算書ハ毎年度經過後五箇月以内ニ之ヲ所屬大臣ノ指定シタル下検査官吏ニ送付スヘシ
本條計算書提出ノ期ニ際シ若シ概算渡ノ精算ニ至ラサルモノアルトキハ支出證明規程第二章ニ依ル

會計規則第九十五條ニ依リ本條ノ計算書ニ添付スヘキ證憑書類ハ支出證明規程第六條ニ依リ之ヲ下検査官吏ニ送付スヘシ但其證憑書類ハ支出證明規程第二章ノ各條第九條ヨリ第二十五條ニ至ルニ定ムル所ニ依ル

一 仕拂豫算中敷局課ヲ包含スルモノアルトキハ支出證明規程第五條ニ依リ俸給仕拂額ヲ各目ニ區分セル明細書ヲ本條ノ計算書ニ添付スヘシ
支出證明規程第八條ノ事項中會計主務官限リニテ取調ヲナシ得ヘカラサルモノハ仕拂命令官ヨリ通知ヲ受クヘシ

第三十條 中央會計主務官會計規則第四十四條ノ期限マテノ毎年度毎月支出報告書

ナ悉皆受領シ之ヲ歳出簿ニ登記シタルトキハ歳出簿ヲ締切り支出證明規程第四條ノ計算表ヲ調製シ前條ノ計算書ニ添付スヘシ

第三十一條 會計主務官交替ヲ爲シタルキハ其責任ニ屬スル證明未済ノ會計事務計算書ヲ調製シ會計規則第九十九條ノ期限内ニ本訓令第二十九條ノ手續ヲナスヘシ

第三十二條 一會計年度中會計主務官ノ交替アリタルトキハ後任會計主務官ノ證明スヘキ本訓令第二十九條ノ計算書ニハ支出證明規程第三條ニ依リ前任會計主務官ノ支出調定額ヲ併算スヘシ

第三十三條 本訓令第二十九條ニ依リ會計主務官ノ提出シタル計算書ハ會計規則第一百一條ニ依リ修正變更ヲ許ルサス但シ會計検査院法第二十條ニ依リ會計検査院ヨリ正誤ヲ命シタル場合ハ此限りニアラス

〔書式〕

〔備考〕

「第一」領收證書用紙ニハ領收スヘキ金額番號仕拂命令ノ番號金庫名及受取人ノ欄内へ住所(金庫ノ調査上必要ナキ場合ニ於テハ住所ノ記入ヲ略スルモ妨ケナシ)氏名共會計主務官ニ於テ記入スルモノトス
「第二」受取人ニ於テ現金ヲ領收ノ際年月日ヲ記入シ署名捺印シテ之ヲ金庫へ交付スルモノトス

用紙適宜 縦四寸五分ノモノニ枚接續

「」ノ内及印章ハ孰モ朱

<p>原 符</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>第 [何] 號</p> <p>某年度(集合)仕拂命令第[何]號(ノ内)</p> <p style="text-align: center; font-size: 1.2em;">一金[何]程</p> <p>明治[何]年[何]月[何]日</p> </div> <p style="text-align: right; margin-top: 10px;">第 [何] 號</p> <p style="text-align: right;">某</p> <p style="text-align: right; font-size: 0.8em;">受取人 [何府(縣)下何地]</p>	<p>領</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>第 [何] 號</p> <p>某年度(集合)仕拂命令第[何]號(ノ内)</p> </div> <p style="text-align: right; margin-top: 10px;">第 [何] 號</p> <p style="text-align: right;">某</p> <p style="text-align: right; font-size: 0.8em;">受取人 [何府(縣)下何地]</p>
<p>會計主務官印</p>	
<p>會計主務官ノ印</p>	

領收證書 書 證 收 領

一金「何程」

右領收候也

明治「何」年「何」月「何」日

「受取人」

「何」

「某」

印

「何地金庫宛」

此領收證書用紙ハ會計主務官ニ於テ調製シ受取人へ交付スヘシ
受取人ニ於テ金庫ヨリ現金領收ノ際表面へ其年月日ヲ記入シ署
名捺印シテ之ヲ金庫へ交付スヘシ

●會計主務官心得中證券印紙ヲ貼用スヘキ領收證書ニ

記入捺印方

明治二十三年四月
大藏省訓令第六十八號

會計主務官 金庫出納役

本年「二」大藏省訓令第十八號附屬ノ領收證書ニシテ證券印紙ノ貼用ヲ要スヘキモノヘ
ハ會計主務官ニ於テ其旨ヲ記入又ハ捺印ノ上現金受取人へ交付スヘシ
金庫ハ前項ノ記入又ハ捺印アルヲ認メ現金受取人ニ印紙ヲ貼用セシメ其領收證書ヲ
徴スヘシ

●會計主務官心得第二十三條中領收證書ニ就キ心得方

明治二十三年四月
大藏省訓令第七十號

會計主務官 金庫出納役

明治二十三年「二」大藏省訓令第十八號會計主務官心得第二十三條第二項ニ領收證書用
紙ヲ受取人ニ交付スルノ手續相定有之候處在外國ノ受取人へ送金ヲナス場合ハ規定
ノ領收證書ノ送付ヲ要セス特ニ其受取人ヨリ差出ス所ノ適宜ノ領收證書ヲ徴收シ差
支ナキ儀ト心得ヘシ

●會計主務官ヨリ金庫へ送付スル案内仕拂命令書同請
 求書へ記入方支出簿支出報告書へ登記方及仕拂命令
 交付方心得
 明治二十三年五月
 大藏省訓令第七十五號

會計主務官

會計主務官ヨリ提出スル支出報告書ノ金額ト金庫出納役ヨリ差出スヘキ歳出金月計
 對照表ノ金額トナ毎月末ニ符合セシムル爲メ會計主務官ヨリ金庫へ送付スル案内仕
 拂命令案内仕拂請求書へ仕拂命令仕拂請求書ヲ受取人若クハ金庫へ交付セシ年月日
 記入方支出簿支出報告書へ調定濟額登記方及毎月末仕拂命令交付方共左ノ通相定候
 條此旨心得ヘシ

一 毎月ノ計算整理ノ爲メ仕拂命令及仕拂請求書ヲ受取人へ交付シ又ハ金庫へ送付ス
 ルハ其月二十八日(二月十二月ハ)限リトス
 但規則上仕拂日限ノ定リシモノ及急施ヲ要スル仕拂ハ此限ニアラス

一 會計規則第三十八條ニ據リ會計主務官ヨリ仕拂命令仕拂請求書ヲ受取人へ交付シ
 又ハ金庫へ送付スルトキハ金庫へ送付スヘキ案内仕拂命令案内仕拂請求書ノ欄外
 下段ニ「何年何月何日交付済」ト記入スヘシ

但「何年何月何日交付済」ノ印ヲ押捺スルモ妨ナシ

一 會計主務官ノ仕拂命令仕拂請求書ニ調定濟ヲ記入スルハ仕拂命令又ハ仕拂請求書
 ナ受取人へ交付シ又ハ金庫へ送付スルトキニ之ヲ行フヘキ筈ニ付支出簿中仕拂命
 令調定濟額ノ欄内ニハ仕拂命令仕拂請求書ヲ受取人へ交付シ又ハ金庫へ送付スル
 トキニ於テ之レカ記入ヲナスヘシ

一 會計主務官ヨリ毎月提出スル支出報告書中支拂命令調定濟額ノ本月分欄内ニハ實
 際其月中ニ受取人へ交付シ又ハ金庫へ送付セシ仕拂命令仕拂請求書ノ金額ヲ記入
 スヘシ

●會計主務官手續錯誤アルニ付附箋證明方

明治二十三年五月
大藏省訓令第八十號

會計主務官 金庫出納役

會計主務官ニ於テ本年四月中仕拂命令官ヨリ受領セシ仕拂命令ヲ五月ニ至リ調定ノ
 上受取人へ交付シ之レカ案内仕拂命令ヲ金庫へ送付シタル向モ有之趣ノ處金庫ニ於
 テハ金庫出納事務規程第七十二條等割註ニ示セシ如ク該案内仕拂命令ニ記載アル月
 ノ計算ニ組込ミ歳出金月計對照表ヲ調製スヘキニヨリ之レカ金額ハ會計主務官ヨリ

提出スル毎月支出報告書ノ金額ト符合セス計算整理上差支テ生シ候ニ付本年四五兩月分ノ月計對照表ヘハ會計主務官ニ於テ右符合セサル金額ニ對シ詳細ニ其事由ヲ記シタル附箋ヲ以テ證明ヲナシ金庫ハ之ニ依リ會計検査院ニ向テ證明ヲナスヘキ儀ト心得ヘシ

●會計主務官ヨリ金庫ニ送付セル仕拂命令同請求書ニ

シテ受取人ヘ現金交付前誤拂過渡發見ノトキ整理手

續 明治二十三年十月 大藏省令第二十七號

會計規則第三十六條但書ニヨリ會計主務官ヨリ金庫ニ送付シタル仕拂命令及仕拂請求書ニシテ受取人ニ現金交付前ニ於テ誤拂過渡ニ出タルコトヲ發見シタルトキ整理手續左ノ通り定ム

第一條 仕拂命令官ヨリ仕拂命令及仕拂請求書ノ金額誤拂過渡ニ付歳入ニ編入ノ儀金庫ヘ令達方大藏大臣ヘ請求スヘシ但仕拂命令及仕拂請求書ノ金額一部分誤拂過渡ナルトキハ其一部分ヲ受取人ニ交付シ殘額ハ歳入ニ編入ノ儀金庫ヘ令達方ヲ請求スヘシ

第二條 前條ノ請求書ニハ左ノ事項ヲ詳記スヘシ

一 仕拂命令及仕拂請求書ノ金額、番號、年度、科目、振出日付、仕拂命令官會計主務官官氏名、仕拂フヘキ金庫名、受取人氏名

一 誤拂過渡トナリタル事由

一 誤拂過渡ヲ歳入トスヘキ歳入ノ主管廳名(北海道廳府縣ノ歳入ハ其廳府縣名)取扱廳名、收入官吏官氏名、歳入ノ年度

第三條 仕拂命令官第一條ノ請求ヲ爲シタルトキハ同時ニ誤拂過渡ノ金額歳入ニ編入ノ儀ヲ歳入調定官ニ通知シ歳入ノ調定官ハ其金額、歳入科目、年度等ヲ收入官吏ニ通知スヘシ

第一條但書ノ場合ニ於テハ仕拂命令官ヨリ大藏大臣ヘ請求ノ趣ヲ會計主務官ニ通知シ會計主務官ハ正當ニ交付スヘキ金額ノ規定領收證書ヲ作り之ヲ債主ニ交付シ前ニ交付シタル規定領收證書ハ取上ケ廢棄スヘシ

第四條 第一條ノ請求ニ依リ大藏大臣ヨリ金庫ニ向テ令達ヲナシタルトキハ金庫ハ誤拂過渡ノ金額ヲ歳出ノ手續ヲ以テ拂出シ直チニ之ヲ令達書ニ指定ノ歳入主管廳取扱廳及收入官吏ノ收入トシテ歳入ニ受入ルヘシ此場合ニ於テ金庫ハ直チニ其趣ヲ會計主務官及收入官吏ニ通知スヘシ

第五條 前條ニ依リ金庫ヨリ會計主務官ニ送付スル通知書ニハ第二條一項ノ事項ヲ

記入スヘシ但仕拂命令及仕拂請求書ノ金額一部分誤拂過渡ノ場合ニハ其誤拂過渡ニ係ル金額ヲモ記入スヘシ

前條ニ依リ金庫ヨリ收入官吏ニ送付スル通知書ニハ第二條一項及三項ノ事項ヲ記入スヘシ

第六條 收入官吏ハ第三條調定官ノ通知ニ依リ調定濟ノ記帳ヲ爲シ第四條金庫ノ通知ニ依リ收入濟ノ記帳ヲ爲スヘシ

第七條 本年大藏省令第十七號ニ依リ定メタル書式ノ仕拂命令及仕拂請求書ニシテ本令ノ場合ニ係ルトキ其國庫納金引去高ハ總テ本年勅令第百二十五號官吏遺族扶助法納金收入規則ニ依リ當該主管廳取扱應ノ歳入ニ立テ其他ハ本令ニ依リ收支ノ手續ヲナスヘシ

○歳入歳出

●歳入歳出豫算概定順序

明治二十二年三月 閣令第十二號

各官廳

歳入歳出豫算概定順序

第一條 歳入ノ事務管理廳ハ毎年度歳入概算書ヲ調製シ前々年度三月三十一日マテニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第二條 歳入概算書ハ經常ト臨時トニ大別シ更ニ之ヲ款項目ニ區分シ前年度ノ豫算ニ比シ増減ノ理由ヲ説明スヘシ

第三條 各省大臣ハ毎年度歳出概算書ヲ調製シ前々年度三月三十一日マテニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第四條 歳出概算書ハ各省ノ所管經費ヲ經常ト臨時トニ大別シ更ニ之ヲ款項ニ區分シ前年度ノ豫算ニ比シ増減ノ理由ヲ説明スヘシ

第五條 大藏大臣ハ各廳ノ歳入概算書及歳出概算書ヲ檢案シ歳入出ヲ對照調理シ歳入出總概算書ヲ調製シ前年度四月十五日マテニ之ヲ閣議ニ提出スヘシ

第六條 歳入出總概算書ハ歳入出共ニ經常ト臨時トニ大別シ更ニ之ヲ款項ニ區分シ前年度ニ比シ増減ノ理由ヲ説明スヘシ

第七條 内閣ニ於テハ前年度四月三十日マテニ歳入出總概算書ヲ決定スヘシ

第八條 各省大臣ハ内閣ニ於テ決定シタル各省所管經費毎項ノ概算額以內ニ於テ節約ヲ旨トシ毎年度ノ各省豫定經費要求書ヲ調製シ前年度六月三十日マテニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第九條 歳入概算書及歳出概算書ノ様式ハ大藏大臣之ヲ定ムヘシ
 第十條 明治二十三年度豫算ニ限り前各條ノ期限ヲ一箇月間延スコトヲ得

●歳出豫算概定順序

明治二十二年四月
 内務訓省令第十七號

警視廳 府 縣
 集治監 假留監

歳出豫算概定順序左ノ通相定ム

- 第一條 警視總監府縣知事集治監假留監典獄ハ毎年度歳出概算書ヲ調製シ前々年度二月二十八日限リ其應ヲ發シ當省ヘ進達スヘシ
- 第二條 歳出概算書ハ各廳ノ經費ヲ經常ト臨時トニ大別シ更ニ之レヲ款項ニ區分シ前年度ノ豫算ニ比シ増減ノ理由ヲ説明スヘシ
- 第三條 當省於テハ各廳ノ歳出概算決定額ヲ前年度五月七日迄ニ達スヘシ
- 第四條 警視總監府縣知事集治監假留監典獄ハ當省於テ決定シタル各廳ノ經費毎項ノ概算額以內ニ於テ節約ヲ旨トシ毎年度ノ豫定經費要求書ヲ調製シ前年度五月三十一日限リ其應ヲ發シ當省ヘ進達スヘシ
- 第五條 歳出概算書ハ別冊ノ様式ニ據リ調製スヘシ

但別冊ハ別ニ頒附ス又豫定經費要求書ノ様式ハ追テ達スヘシ

第六條 明治二十三年度豫算ニ限り第三條ノ期限ヲ六月七日第四條ノ期限ヲ六月三十日迄延期ス

但該年度概算書ニ限り進達ニ及ハス

●政府ニ屬スル歳入歳出外ノ現金ヲ取扱フ出納官吏ニ

關スル規則準據方

明治二十三年三月
 勅令第三十五號

朕政府ニ屬スル歳入歳出外ノ現金ヲ取扱フ出納官吏ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

政府ニ屬スル歳入歳出外ノ現金ヲ取扱フ出納官吏ニ關スル規則ハ會計規則第八章及第九章中現金ヲ領收スル收入官吏ニ關スル各條ニ準據ス

●明治二十二年會計特別整理

明治二十三年二月
 法律第十一號

朕明治二十二年會計特別整理ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 明治二十二年會計特別整理ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
 二十二年會計ニ屬スヘキ歳入歳出ハ左ノ區分ニ據リ年度所屬ヲ定ムヘシ

第一條 入ハ明治二十三年三月三十一日マテニ現金ヲ金庫ニ納付済ノモノヲ以テ明治二十二年所屬トシ其四月一日以後ニ納付スルモノハ總テ明治二十三年所屬トス

第二條 出ハ明治二十三年三月三十一日マテニ仕拂切符ヲ發スルモノヲ以テ明治二十二年所屬トシ其四月一日以後ニ支出スルモノハ總テ明治二十三年所屬トス

第三條 明治二十二年所屬ノ歳計剩餘ハ會計法第二十條ニ準據シ總テ明治二十三年所屬トス

第四條 明治二十二年所屬ノ歳計剩餘ハ會計法第二十條ニ準據シ總テ明治二十三年所屬トス

第五條 明治二十二年所屬ノ歳計剩餘ハ會計法第二十條ニ準據シ總テ明治二十三年所屬トス

第六條 明治二十二年所屬ノ歳計剩餘ハ會計法第二十條ニ準據シ總テ明治二十三年所屬トス

第七條 明治二十二年所屬ノ歳計剩餘ハ會計法第二十條ニ準據シ總テ明治二十三年所屬トス

第八條 明治二十二年所屬ノ歳計剩餘ハ會計法第二十條ニ準據シ總テ明治二十三年所屬トス

第九條 明治二十二年所屬ノ歳計剩餘ハ會計法第二十條ニ準據シ總テ明治二十三年所屬トス

第十條 明治二十二年所屬ノ歳計剩餘ハ會計法第二十條ニ準據シ總テ明治二十三年所屬トス

第十一條 明治二十二年所屬ノ歳計剩餘ハ會計法第二十條ニ準據シ總テ明治二十三年所屬トス

由テ示スヘシ但國債元利ノ繰越計算ニハ債主ヲ區分セズ公債ノ種類ヲ區分シ仕拂遅延ノ事由ヲ示スヘシ

第六條 明治二十二年所屬ノ豫算定額ニシテ會計法第二十一條第二十二條ニ該當スルモノアルトキハ同條ニ準據シテ明治二十三年所屬ニ繰越シ使用スルコトヲ得

第七條 前條ニ據リ繰越ヲサントスルトキハ會計規則第五十七條第五十八條ノ手續ニ準據スヘシ

第八條 明治二十二年所屬ノ繰越ニ係ル歳入歳出ハ明治二十三年所屬ノ分ト明ニ區分テ立テ之ヲ整理スヘシ

第九條 大藏大臣ハ本規則第四條第六條ノ繰越ヲ承認シタルトキハ之ヲ會計検査院ニ通知スヘシ

第十條 明治二十二年所屬ノ經費ヨシテ明治二十三年一月一日以後ニ仕拂切符ヲ發シ同年三月三十一日マテニ現金ノ仕拂ヲ了ラサルモノハ會計規則第四十七條ニ準據シ國庫ニ於テ資金ヲ繰越シ明治二十三年四月一日以後滿五箇年間ハ仕拂切符所有者ノ請求ニ應ジ金庫ニ於テ仕拂フヘシ

第十一條 明治二十二年所屬以前ノ國債元利恩給ノ仕拂元金及明治十八年度以前ノ經費ニ係ル引出切符ニシテ明治二十三年三月三十一日マテニ債主ニ仕拂ヲ了ラサル

モノハ會計規則第四十七條ニ準據シ國庫ニ於テ資金ヲ繰越シ整理スヘシ

●二十二年內ニ收入ヲ了セサル歳入豫算金額ヲ二十三年度ニ於テ收納セシモノ、整理取扱方

明治二十三年二月
大藏省令第四號

今般法律第十一號ヲ以テ二十二年會計特別整理ノ件公布相成候ニ就テハ二十二年
度ノ歳入豫算ニ編入シタルモノニシテ本年三月三十一日迄ニ收入ヲ了セサル金額ヲ
二十三年度ニ於テ收納セシモノ、整理取扱方左ノ通り之ヲ定ム

第一條 明治二十二年所屬ノ徵稅令書及ヒ納額告知書ヲ發シタルモノニシテ現金
ヲ本年三月三十一日マテニ金庫ニ收納セサルモノハ該令書告知書ヲ取消シ更ニ二
十三年度所屬ノ徵稅令書及ヒ納入告知書ヲ發スヘシ

第二條 歳入事務管理廳ハ曩ニ二十二年豫算ニ編入シタル歳入金ヲ前條ニ據リ本
年四月一日以後ニ調定シテ徵稅令書納入告知書ヲ發シタル場合ニハ其科目金員事
由ヲ收入官吏ニ通知スヘシ

第三條 歳入事務管理廳及ヒ收入官吏ハ曩ニ二十二年豫算ニ編入シタル歳入金ヲ
本年四月一日以後ニ徵收シタルトキハ適宜ニ補助簿ヲ設ケテ該科目金員ヲ記載ス

ヘシ(二十三年度ノ歳入簿及ヒ收入簿ノ登記ヲ爲
スハ會計規則ノ通りタルコト勿論ナリトス)

第四條 收入官吏ハ前條補助簿ニ據リ明治二十二年大藏省令第十一號第四號書式ニ
準シタル歳入計算書ヲ製シ翌月七日迄ニ之ヲ事務官理廳ニ送付スヘシ

第五條 歳入事務管理廳ハ前條ニ據リ收入官吏ヨリ送付スル所ノ歳入計算書ニ據リ
毎月歳入總計算書ヲ調製シ翌月中ニ之ヲ大藏省ニ送付スヘシ

●内務省所管ニ屬スル歳入收納ノ順序適用方

明治二十三年三月
内務省訓令第十三號

北海道 廳府縣

本年四月一日以降當省所管ニ屬スル歳入收納ノ順序ハ明治二十二年大藏省訓令第六
十六號諸收入收納順序第三條已下ノ各條ヲ適用ス

但毎月ノ收入報告書差出シ方及其期日ハ本年當省訓令第十號ノ通心得ヘシ

●内務省所管歳入收入官吏交替ノトキ證明計算書々式

明治二十三年六月
内務省訓令第二十二號

廳府縣 集 治 監

收入濟額						未収入額	備考
前年度未収入ノ分		本年度分		計			
円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0

第一號書式

當省所管ノ歳入ヲ取扱フ收入官吏交替ノトキ證明スヘキ計算書々式左ノ通心得ヘシ

(一)内ハ朱書

假留監 衛生試験所

明治何年度何款

收入計算書

二二二

「凡例」
 本計算書ニ附帶セル明細書ハ追テ定ムルマテハ從前ノ仕譯書ヲ添付スヘシ
 本計算書收入額中現金ヲ領收スル收入官吏ニ於テ領收セシ金額アルト
 キハ總計ノ備考ニ於テ其金額ヲ掲記スヘシ
 用紙ハ支出計算書ト同様ノモノヲ用ユヘシ

應 名 (又ハ支部局)

明治何年度何款收入計算書面之通相違無之候也

明治何年何月何日 收入官吏氏名印

會計検査院長宛

調 定 濟 額						目 番 號	摘 要
前 年 度 未 收 入 高		本 年 度 納 額 告 知 高		計			
円	銭	円	銭	円	銭		
							第何項 何々
							何々(目) 何々(、)
							第何項計
							第何項 何々
							何々(目) 何々(、)
							第何項計
							總計